
大田区 文化に関する意識調査

報告書

令和7年3月

大田区

目次

第1章 アンケート調査について	1
1. 調査概要	1
(1) 調査名称	1
(2) 目的	1
(3) 調査対象	1
(4) 調査期間	1
(5) 調査方法	1
(6) 回収率	1
2. 報告書の見方	2
3. 用語の説明	2
第2章 調査結果概要	3
1. 個人向け調査	3
(1) 文化・芸術の鑑賞について	3
(2) 文化・芸術活動について	4
(3) 区の文化振興に関する取り組みについて	4
(4) 子どもの文化・芸術の鑑賞や活動について	5
2. 団体向け調査	6
(1) 団体の活動について	6
(2) 区の文化施設や施策について	7
第3章 個人向け調査集計結果	8
1. あなた自身について	8
2. あなたの文化・芸術の鑑賞について	11
3. あなたの文化・芸術活動について	17
4. 区の文化振興に関する取り組みについて	23
5. 子どもの文化・芸術の鑑賞や活動について	28
第4章 団体向け調査集計結果	30
1. 貴団体について	30
2. 貴団体の活動について	33
3. 区の文化施設や施策について	44
第5章 分析編	46
1. 性別・年代別等による分析	46
(1) 文化・芸術の関心度	46
(2) 文化・芸術の鑑賞・活動	48
(3) 区の文化施設の利用・認知度	53
(4) 区の文化・芸術を振興していくために重要なもの	60
(5) 区が文化・芸術施策に力を入れることで期待する変化	61
(6) 子どもが文化・芸術に親しむための取り組みへの期待	62

2. 鑑賞・活動による分析.....	63
(1) 文化・芸術の鑑賞・活動.....	63
(2) 区の文化の保存継承や魅力発信の取り組みの充実度.....	66
(3) 区の文化・芸術を振興していくために重要なものの.....	70
(4) 区が文化・芸術施策に力を入れることで期待する変化.....	72
(5) こどもの文化・芸術に関する鑑賞や体験・活動の有無.....	74
3. 地域別による分析.....	75
(1) 文化・芸術の鑑賞.....	75
(2) 文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることによる影響.....	76
(3) 区の文化施設の利用・認知度.....	79
(4) 区の文化の保存継承や魅力発信の取り組みの充実度.....	84
参考1 自由回答一覧.....	87
参考2 調査票.....	90
1. 個人向け調査表.....	90
2. 団体向け調査.....	98
第6章 ヒアリング調査について.....	104
1. 調査概要	105
(1) 目的.....	105
(2) 調査対象.....	105
(3) 調査期間.....	105
(4) 調査方法.....	105
2. 調査結果	106
(1) 活動を通じた地域とのつながり（地域住民や企業との連携など）について ..	106
(2) 国際交流やパラアートなど、インクルーシブな取り組みについて....	109
(3) 今後の展望や活動継続する上での課題について.....	112
(4) 区の文化施策への期待について	114

第1章 アンケート調査について

1. 調査概要

(1) 調査名称

大田区 文化に関する意識調査

(2) 目的

区民の文化に対する関心やニーズを把握し、区の文化施策に活用していくための基礎資料とするため。

(3) 調査対象

①個人向け調査

大田区に住民登録がある満18歳以上の2,900人を無作為に抽出

②団体向け調査

大田区に団体登録をしている100団体を無作為に抽出

(4) 調査期間

令和6年11月29日（金）～令和7年1月8日（水）

(5) 調査方法

調査①・②とも郵便にて発送、郵便及びWEBによる回収

(6) 回収率

調査名称	発送数	回収数	回収率
①個人向け調査	2,900件	1,189件 (うち郵便799件、 WEB 390件)	41.0%
②団体向け調査	100件	79件 (うち郵便62件、 WEB 17件)	79.0%

2. 報告書の見方

- ①図表内の「N」は、各設問の回答者数を示す。
- ②集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ③複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を分母として選択肢ごとの割合を算出しているため、回答比率の合計が100.0%を上回る場合がある。
- ④図表中の選択肢の表記は、場合によって語句を一部簡略化している。
- ⑤クロス集計表の表中の数字は割合を示しており、単位は%である。

3. 用語の説明

本調査では「文化・芸術」という用語を随所に用いていますが、主に次のような事物を「文化・芸術」と捉えている。

- 文芸（詩や文芸作品）
- クラシック音楽
- ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック
- 合唱、歌唱
- 美術（絵画、彫刻、陶芸、工芸、版画、イラストなど）
- 写真
- 映像（映画、アニメーションなど）
- 演劇（ミュージカルを含む）
- 舞踊（バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊など）
- 生活文化（華道、茶道、書道、盆栽、園芸、手芸、ファッショント、囲碁、将棋など）
- 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、雅楽、文楽など）
- その他の芸能（講談、落語、浪曲、漫才、漫談など）
- デザイン（グラフィックデザイン、プロダクトデザインなど）
- 歴史的な街並み、文化財、遺跡
- サブカルチャー（マンガ、アニメ、コスプレなど）
- 郷土芸能（お囃子、鳴物、和太鼓、三味線、民謡など）、地域の祭り（お神輿、お神楽など）
- 伝統工芸

第2章 調査結果概要

1. 個人向け調査

(1) 文化・芸術の鑑賞について

【文化・芸術の関心】

○文化・芸術に関心のある人は80.1%です。性別でみると、女性は86.2%、男性は72.4%と差があります。関心のある分野としては、「ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック」と「映像（映画、アニメーションなど）」が約5割と多くなっています。（問6、問6-1）

○文化・芸術をどのように捉えているかについて、「生活や気持ちを豊かにする」が76.2%、次いで「余暇・趣味として楽しむ」が65.3%、「教養や感性を高めてくれる」が56.3%となっています。性別でみると、女性の方が、「生活や気持ちを豊かにする」、「教養や感性を高めてくれる」、「友だち、仲間とのつながりを生む」の項目で特に男性よりも高くなっています。年代別にみると、30歳代、40歳代で「教養や感性を高めてくれる」が高くなっています。（問7）

【文化・芸術の鑑賞】

○過去1年間に文化施設で文化・芸術を鑑賞したことのある人は57.4%です。性別でみると、鑑賞したことのある人は、男性が48.0%に対し、女性は64.4%と高くなっています。年代別にみると、鑑賞したことのある人は、29歳以下が68.9%で最も多く、次いで30歳代が62.7%、40歳代が62.4%となっています。（問8）

○過去1年間で区立の文化施設で鑑賞した人は48.4%で、区内にある民間の文化施設・場所で鑑賞している人は9.4%、区外の文化施設・場所で鑑賞している人は73.3%と区内よりも区外で鑑賞している人の方が多くなっています。70歳以上では、区立施設で鑑賞した人の方が多くなっています。また、文化・芸術の活動をしている人は、活動していない人に比べて、区立の文化施設で鑑賞している割合が高くなっています。（問8-1）

○文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることによる「楽しみ」、「幸せ」、「地域や人とのつながり」、「心身の健康」、「地域への愛着」の影響について、増えると考えている層は「楽しみ」が93.1%で最も多く、次いで「幸せ」が88.8%、「心身の健康」が82.0%、「地域への愛着」が58.2%となっています。「地域や人とのつながり」は46.3%と増えないと考えている層と同程度となりました。（問8-2）

○文化・芸術を鑑賞しなかった理由としては、「仕事・学業などで時間が取れない」が28.5%、次いで「情報を知る機会がない」が25.9%となっています。年代別に

みると、「育児・介護などで時間が取れない」は30歳代、40歳代が多く、「情報を知る機会がない」は29歳以下が多くなっています。（問8－3）

（2）文化・芸術活動について

【文化・芸術の活動】

○職業としてではなく、文化・芸術に関する活動を行っている人は16.8%です。過去に活動していたが、今は活動していない人は17.1%で、合わせると、33.9%の人が文化・芸術に関する活動を行ったことがあります。（問9）

○活動している人の分野としては、「美術」が23.0%で最も多く、次いで「ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック」が17.0%、「写真」と「生活文化」が16.0%となっています。活動形態として「グループや団体に所属」が37.0%と最も多く、次いで「個人で」が34.0%、「教室に通う」が22.0%となっています。現在取り組んでいる活動を、より充実させるために必要なこととして、「活動場所」が38.5%と最も多く、「一緒に活動する仲間」が35.0%となっています。（問9－1、問9－2、問9－3）

○文化・芸術に関する活動をしている人のうち、練習や発表などの場所や機会について、充実していると回答した層は51.0%となっています。（問9－4）

○文化・芸術活動による「楽しみ」、「幸せ」、「地域や人とのつながり」、「心身の健康」、「地域への愛着」の影響について、増えると考えている層は「楽しみ」が96.5%で最も多く、次いで「幸せ」が91.0%、「心身の健康」が88.0%、「地域や人とのつながり」が76.0%、「地域への愛着」が66.5%となっています。文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることによる影響と比べて、文化・芸術活動している人の方が全ての項目で高くなっています。（問9－5）

○文化・芸術に関する活動をしていない理由としては、「仕事・学業などで時間が取れない」が33.3%と最も多く、「何の活動をすればよいのかわからない」が20.5%、「情報を知る機会がない」が19.9%となっています。一方で、「活動することに興味がない」は9.3%となっています。（問9－6）

（3）区の文化振興に関する取り組みについて

【区立施設の認知・利用状況】

○大森 海苔のふるさと館、勝海舟記念館、大田区民プラザ、大田区民ホール・アブリコ、大田文化の森は6割を上回る人から認知されており、大田区民ホール・アブリコは「利用・来館したことがある」人が63.1%と高くなっています。年代別にみると、いずれの施設も、年代が低くなるほど「知らない」の割合が高くなる傾向にあります。一方で、熊谷恒子記念館、尾崎士郎記念館、山王草堂記念館

はいずれも、「利用・来館したことがある」人が1割未満となっています。（問10）

【区の文化・芸術の取組の充実】

○区内で鑑賞や活動する機会や場について、もっと充実させてほしい分野としては、「ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック」が32.3%と最も多い、次いで、「映像」、「歴史的な街並み、文化財、遺跡」、「クラシック音楽」、「演劇」、「美術」となっています。（問11）

○地域の様々な文化を保存・継承し、区の魅力として発信する取り組みの充実度について、全体の意見では「わからない」が最も多いとなっています。一方で、文化・芸術の鑑賞している人、さらに活動している人の回答を見ると、充実していると回答した層の割合が高くなる傾向にあります。（問12）

【文化・芸術振興に重要なこと】

○区が文化・芸術を振興していくために特に重要なこととして、「子どもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出」が52.6%、次いで「区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充」が48.1%、「文化拠点施設を通じて、文化活動の場を広く区民に提供」が36.9%となっています。年代別にみると、30歳代、40歳代で「子どもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出」が高くなっています。また、全体に比べて、文化・芸術に関心があり、過去1年間に区立施設で鑑賞した層では、「区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充」が重要視されています。（問13）

【大田区が文化・芸術施策に力を入れることで、人やまち、地域に期待する変化】

○大田区が文化・芸術施策に力を入れることで期待する変化として、全体では「子どもの心の豊かさや創造性が伸びる」が48.6%で最も高く、次いで「地域に対する愛着が生まれる」が45.9%、「区民が地域の歴史・文化を知る」が43.2%、「地域コミュニティが活発になる」が43.0%となっています。年代別にみると、「子どもの心の豊かさや創造性が伸びる」では30歳代、40歳代、「多様な価値観があることに気づく」では29歳以下と40歳代、「まちのイメージがよくなる」では40歳代、50歳代でやや高くなっています。また、関心・鑑賞の有無別にみると、文化・芸術に関心があり、過去1年間に区立施設で鑑賞した層では、「子どもの心の豊かさや創造性が伸びる」、「区民が地域の歴史・文化を知る」、「生きがいにつながる」が重要視されています。（問14）

（4）子どもの文化・芸術の鑑賞や活動について

○子どもが文化・芸術にもっと親しむようになるために、区に期待する取り組みとして、「子ども向けの鑑賞・体験できる機会を充実させる」が61.5%と最も多い、次いで「親子で一緒に鑑賞・体験できる機会をつくる」が50.5%、「子どもの創

造性を引き出す機会をつくる」が41.2%となっています。年代別にみると、子育て世代である30歳代、40歳代で「こども向けの鑑賞・体験できる機会を充実させる」、「親子で一緒に鑑賞・体験できる機会をつくる」が高くなっています。（問15）

○18歳未満のお子さんがいる回答者は全体の17.8%となっています。18歳未満のお子さんがいる方に、子どもの園や学校の授業、課外活動又は部活動以外の過去1年間に文化・芸術の鑑賞や体験、又は文化・芸術に関する活動について聞いたところ、回答者自身が鑑賞している方が子どもの鑑賞した割合も高くなっています。回答者自身が区立施設で鑑賞している方が「習い事をした」、「ワークショップに参加した」、「自分で作品を制作するなど、創作活動をした」などの活動した割合も高くなっています。（問16－1）

2. 団体向け調査

（1）団体の活動について

【活動目的】

○「会員同士で文化・芸術を楽しみ、交流するため」が60.8%と最も多く、次いで「活動に関する技術やスキル、知識を向上するため」が49.4%、「活動を通じて文化・芸術の魅力を発信するため」が38.0%となっています。（問5）

【活動場所】

○練習などの定期的な活動に利用する場所としても、発表会や公演で利用する場所としても、文化センターがそれぞれ58.2%、39.2%と最も多くなっています。（問6、問7）

【日常の活動や発表を行う際の取り組み】

○日常の活動や発表を行う際に行っている取り組みとして、外国人やサポートが必要な方、子育て世帯への配慮や情報発信について聞いたところ、「こどもが参加しやすいプログラムの提供」(35.4%)、「サポートが必要な方への配慮」(34.2%)、「誰もが受け取りやすい情報発信の工夫」(27.8%)が一定数実施されている一方で、「多言語での案内や情報提供」(6.3%)、「バリアフリーの会場や設備の選択や準備」(8.9%)は1割未満と少なくなっています。（問8）

【他の団体（企業・施設）や他ジャンルと連携した取り組み】

○他の団体（企業・施設）や他ジャンルと連携した取り組みを実施している団体は、24.1%となっています。（問9）

【区民に向けた活動】

○「発表会や展示、公演などを通じて、鑑賞の機会を提供している」が45.6%と最も多く、次いで「行っていない」が36.7%、「ワークショップや体験会などを通

じて、区民が団体の活動に参加したり、体験する機会を提供している」が21.5%となっています。（問10）

【活動が大田区の文化振興として、人やまち、地域に対してどのような変化をもたらすか】

○活動が大田区の文化振興として、人やまち、地域に対してどのような変化をもたらすかについて、「生きがいにつながる」が64.6%と最も多く、次いで「外出の機会が増える」が51.9%、「地域コミュニティが活発になる」が32.9%となっています。（問11）

【活動のために必要な支援・施策】

○団体が区内でより活発に文化・芸術活動をしていくために、区に期待する支援や役割として、「練習場所や発表の機会が確保される」が39.2%と最も多く、次いで「活動資金などの財政的な支援」「団体に新しい会員、若い会員が増える」が32.9%となっています。（問12）

○団体が区内で文化・芸術に関する活動をする上での充実度について、「練習や発表のための施設」は充実していると回答した層が63.3%となっている一方で、「文化団体や活動のPR」、「講師等の人材の派遣」、「他団体とつながるための機会」はいずれも3割未満となっています。（問13）

【今後活動したいこと】

○大田区の文化振興として、今後活動したいこととして、「大田区文化祭などの文化・芸術事業への参加」が40.5%と最も多く、次いで「学校での授業や課外活動への協力」が31.6%、「特にない」が22.8%となっています。（問14）

（2）区の文化施設や施策について

【区の文化施設に求めること】

○団体が活動する上で、区の文化施設に求めることは、「施設利用料金を安くする」「施設の予約方法（予約確認や手続き）が簡便になる」が43.0%と最も多く、次いで「部屋や機材など、施設・設備を充実させる」が34.2%となっています。（問15）

【区の文化的な環境の満足度】

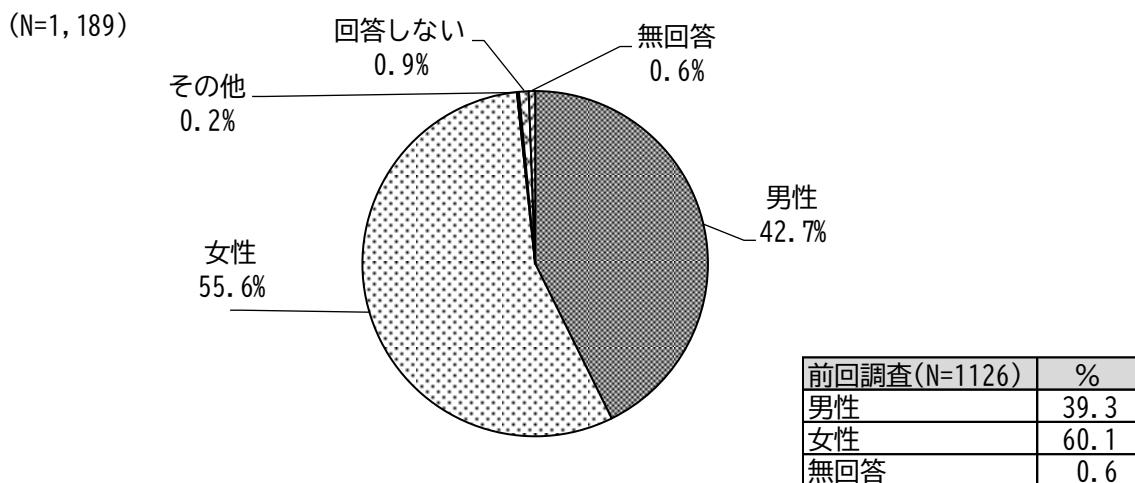
○文化・芸術を鑑賞したり、活動する機会や文化資源の保存・整備など、大田区の文化的な環境の満足度について、満足していると回答した層は54.4%となっています。（問16）

第3章 個人向け調査集計結果

1. あなた自身について

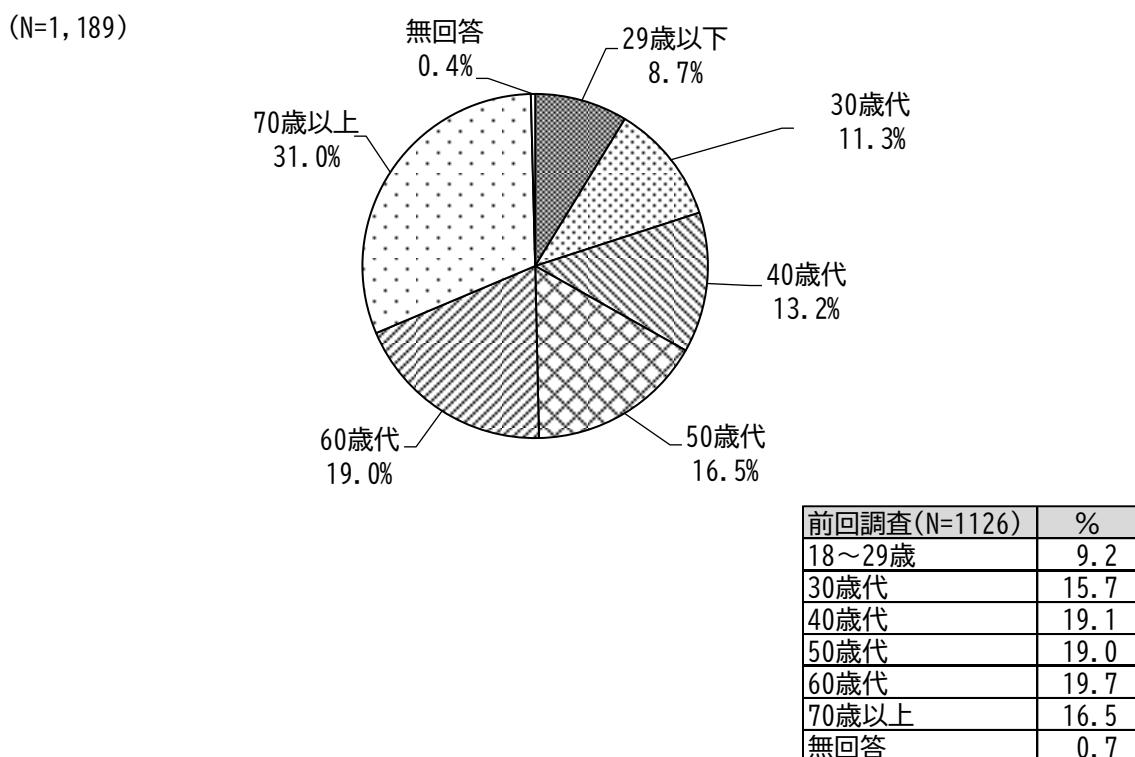
問1 あなたの性別を教えてください。 (○は1つ)

「女性」が55.6%、「男性」が42.7%となっている。



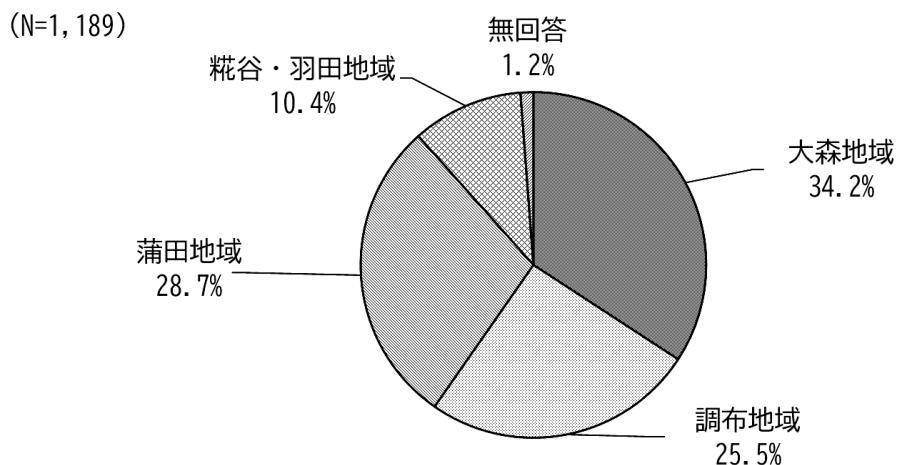
問2 あなたの年齢を教えてください。 (○は1つ)

「70歳以上」が31.0%と最も多く、次いで「60歳代」が19.0%、「50歳代」が16.5%となっている。



問3 あなたの居住地を教えてください。 (○は1つ)

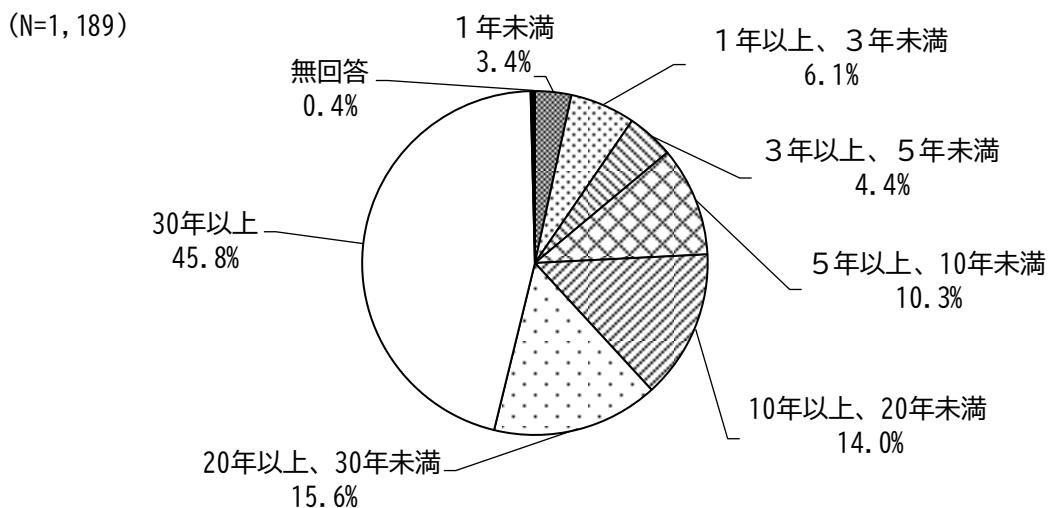
「大森地域」が34.2%と最も多く、次いで「蒲田地域」が28.7%、「調布地域」が25.5%となっている。



前回調査(N=1126)	%
大森地域	31.0
調布地域	23.4
蒲田地域	32.2
糀谷・羽田地域	10.6
無回答	2.8

問4 大田区の居住年数を教えてください。 (○は1つ)

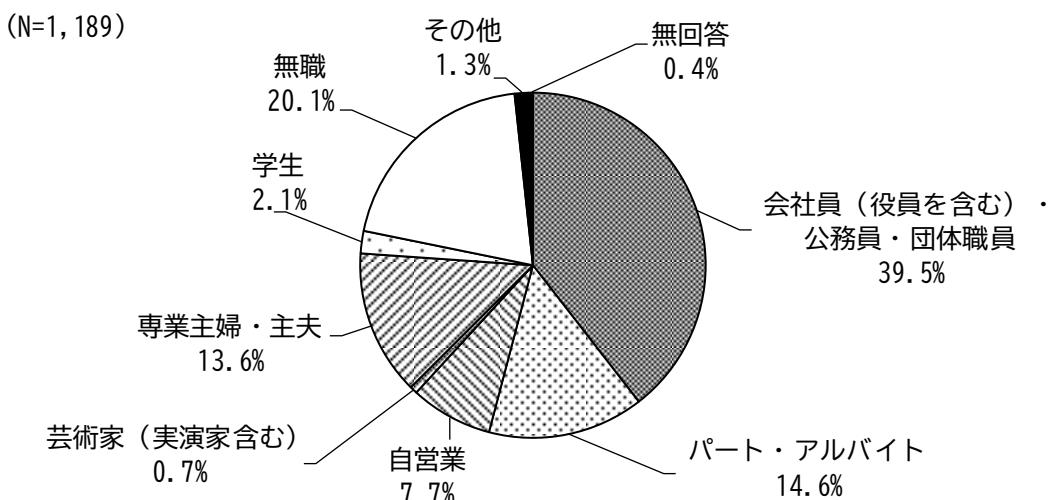
「30年以上」が45.8%と最も多く、次いで「20年以上、30年未満」が15.6%、「10年以上、20年未満」が14.0%となっている。



問5 あなたの職業を教えてください。 (○は1つ)

「会社員（役員を含む）・公務員・団体職員」が39.5%と最も多く、次いで「無職」が20.1%、「パート・アルバイト」が14.6%となっている。

芸術家（実演家含む）の割合が0.7%と、令和2年度の国勢調査と同程度の割合となっている。



前回調査(N=1126)	%
フルタイムの会社員、公務員など	42.4
短時間のパートやアルバイトなど	12.3
自営業	8.6
専業主婦・主夫	18.0
学生	2.2
その他	15.5
無回答	1.0

【令和2年度の国勢調査による大田区の芸術家※の人口】

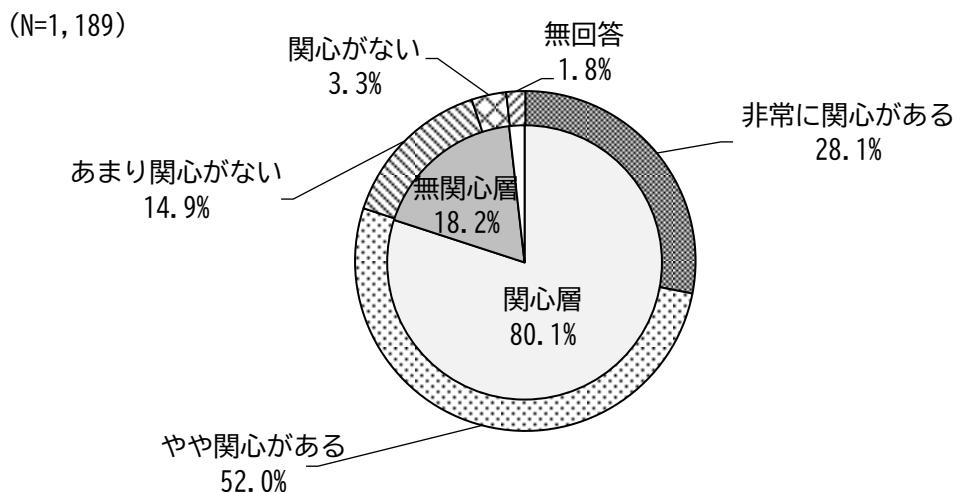
※『芸術家』とは、国勢調査において職業欄に「著述家」「彫刻家・画家・工芸美術家」「デザイナー」「写真家・映像撮影者」「音楽家」「舞踊家・俳優・演出家・芸術家」「個人教師（音楽）」「個人教師（舞踊、俳優、演出、芸術）」のいずれかに該当すると記入した人。

職業	就業者数
著述家	420人
彫刻家、画家、工芸美術家	280人
デザイナー	2,260人
写真家、映像撮影者	980人
音楽家	260人
舞踊家、俳優、演出家、芸術家	1,020人
個人教師（音楽）	340人
個人教師（舞踊、俳優、演出、芸術）	300人
合計	5,860人
人口割合（総数 748,291人比）	0.8%

2. あなたの文化・芸術の鑑賞について

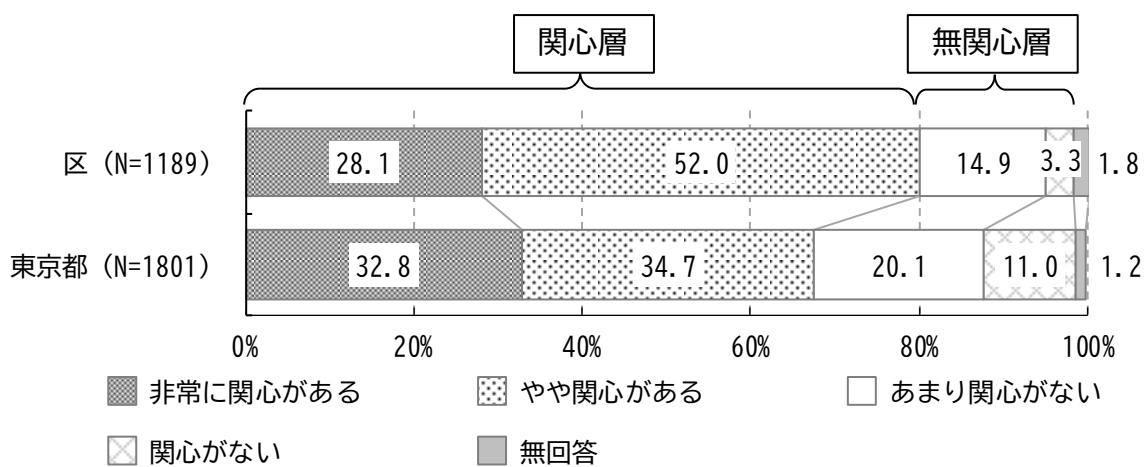
問6 あなたは、文化・芸術に関心がありますか。 (○は1つ)

「やや関心がある」が 52.0% と最も多く、次いで「非常に関心がある」が 28.1%、「あまり関心がない」が 14.9% となっている。



前回調査(N=1126)	%
関心がある	86.0
関心がない	13.6
無回答	0.4

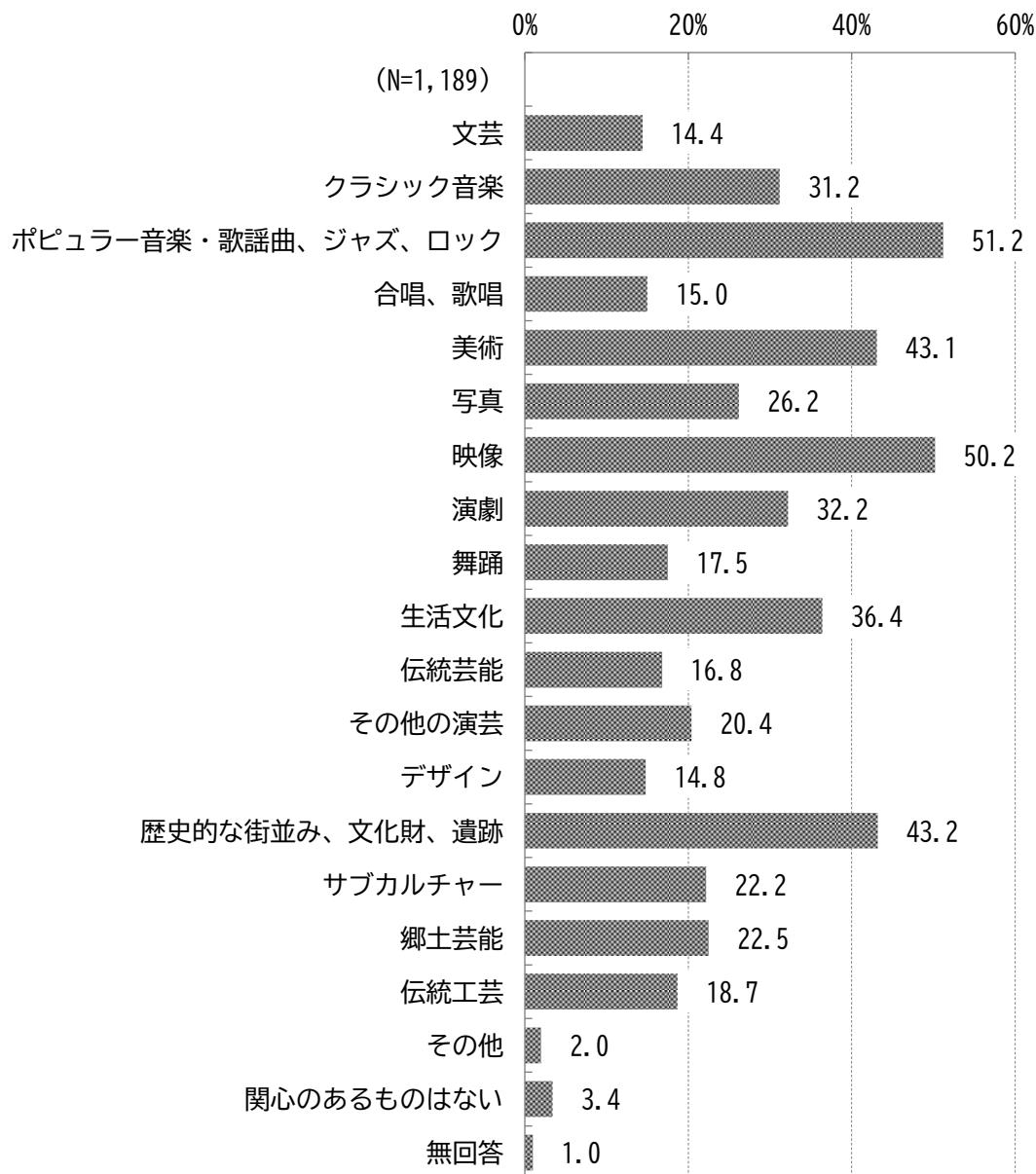
【東京都との比較（参考）】



※東京都の数値は、「文化に関する世論調査（平成29年度調査）」

問6-1 あなたは、どの分野の文化・芸術に関心がありますか。（○はいくつでも）

「ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック」が51.2%と最も多く、次いで「映像」が50.2%、「歴史的な街並み、文化財、遺跡」が43.2%となっている。

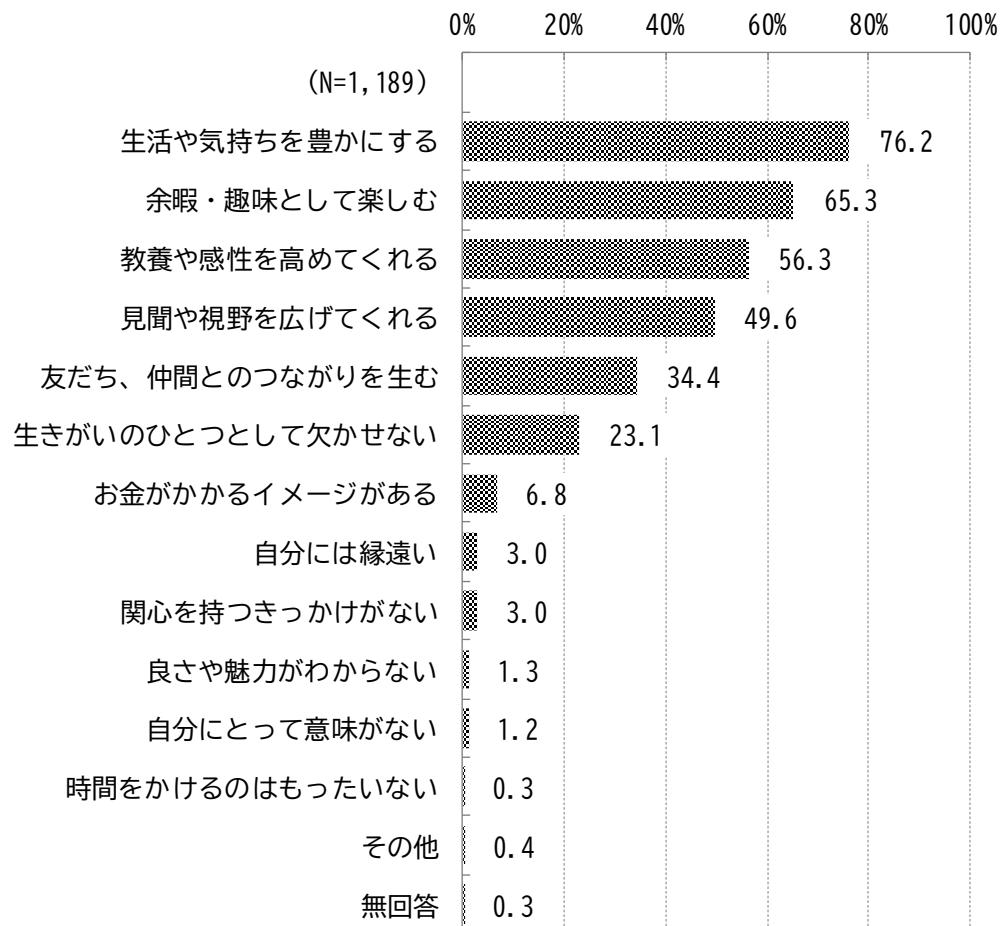


【分野詳細】

文芸（詩や文芸作品）
クラシック音楽
ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック
合唱、歌唱
美術（絵画、彫刻、陶芸、工芸、版画、イラストなど）
写真
映像（映画、アニメーションなど）
演劇（ミュージカルを含む）
舞踊（バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊など）
生活文化（華道、茶道、書道、盆栽、園芸、手芸、ファッショニ、囲碁、将棋など）
伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、雅楽、文楽など）
その他の演芸（講談、落語、浪曲、漫才、漫談など）
デザイン（グラフィックデザイン、プロダクトデザインなど）
歴史的な街並み、文化財、遺跡
サブカルチャー（マンガ、アニメ、コスプレなど）
郷土芸能（お囃子、鳴物、和太鼓、三味線、民謡など）、地域の祭り（お神輿、お神楽など）
伝統工芸

問7 あなたは、文化・芸術をどのように捉えていますか。 (○はいくつでも)

「生活や気持ちを豊かにする」が 76.2% と最も多く、次いで「余暇・趣味として楽しむ」が 65.3%、「教養や感性を高めてくれる」が 56.3% となっている。



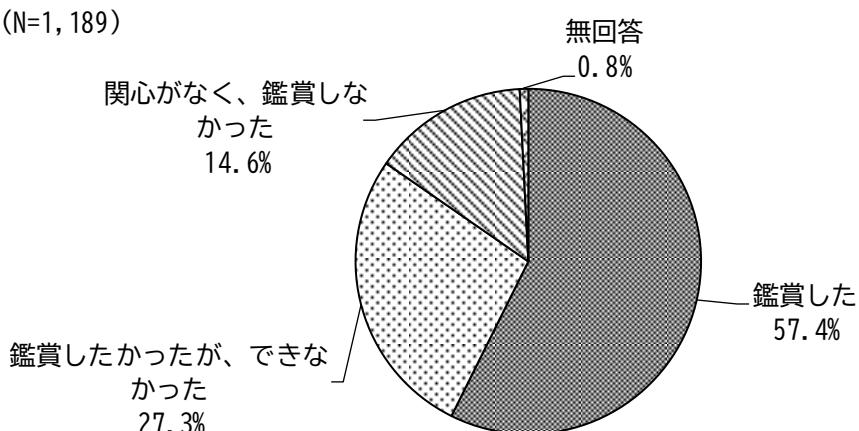
前回調査(N=968)	%
自分の生きがいのひとつとして欠かせないもの	28.3
生活や気持ちを豊かにするもの	71.7
教養や感性を高めてくれるもの	62.4
見聞や視野を広げてくれるもの	51.7
余暇・趣味として楽しむもの	63.2
友だち、仲間とのつながりを生むもの	29.2

問8 あなたは、過去1年間に文化施設で文化・芸術を鑑賞しましたか。（○は1つ）

※文化施設（ホール、劇場、映画館、美術館、博物館など）

「鑑賞した」が57.4%と最も多く、次いで「鑑賞したかったが、できなかった」が27.3%、「関心がなく、鑑賞しなかった」が14.6%となっている。

(N=1,189)

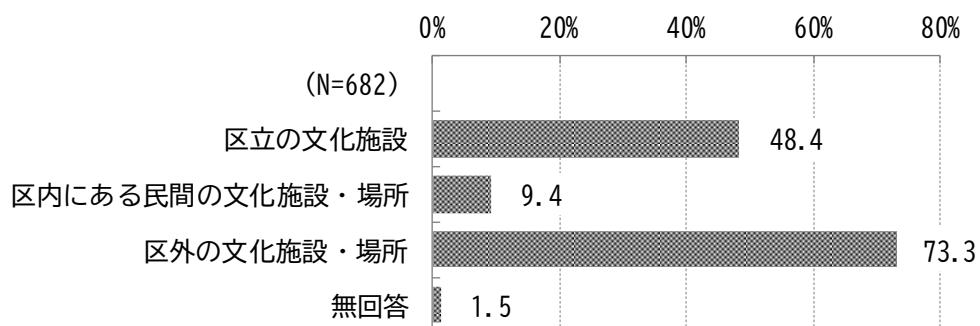


前回調査(N=1126)	%
鑑賞した	60.5
鑑賞したかったが、できなかった	16.9
鑑賞しなかった	21.8
無回答	0.9

問8で「1 鑑賞した」を選択した方に伺います。

問8-1 鑑賞のために利用したことのある施設・場所をすべて選択してください。（○はいくつでも）

「区外の文化施設・場所」が73.3%と最も多く、次いで「区立の文化施設」が48.4%、「区内にある民間の文化施設・場所」が9.4%となっている。



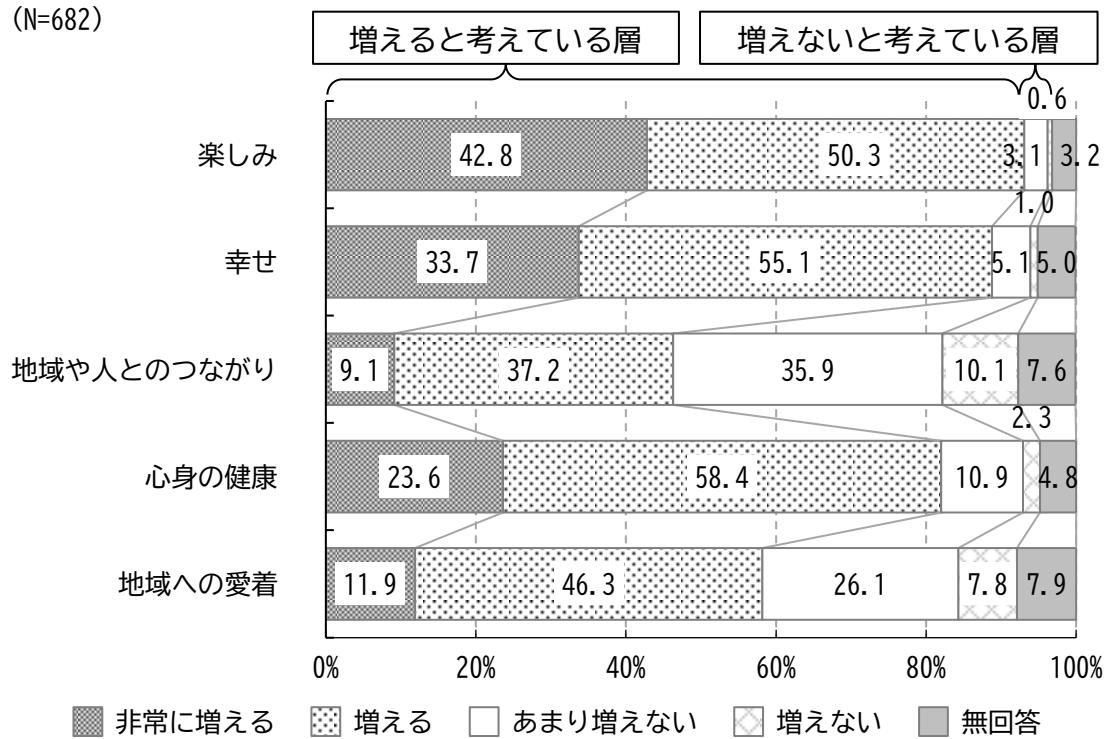
前回調査(N=681)	%
区立の文化施設	49.8
区内にある民間の文化施設・場所	4.7
区外の文化施設・場所	73.4
無回答	1.6

問8で「1 鑑賞した」を選択した方に伺います。

問8-2 文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることで、以下の項目について、あなたにどのような影響があると思いますか。（それぞれ○は1つ）

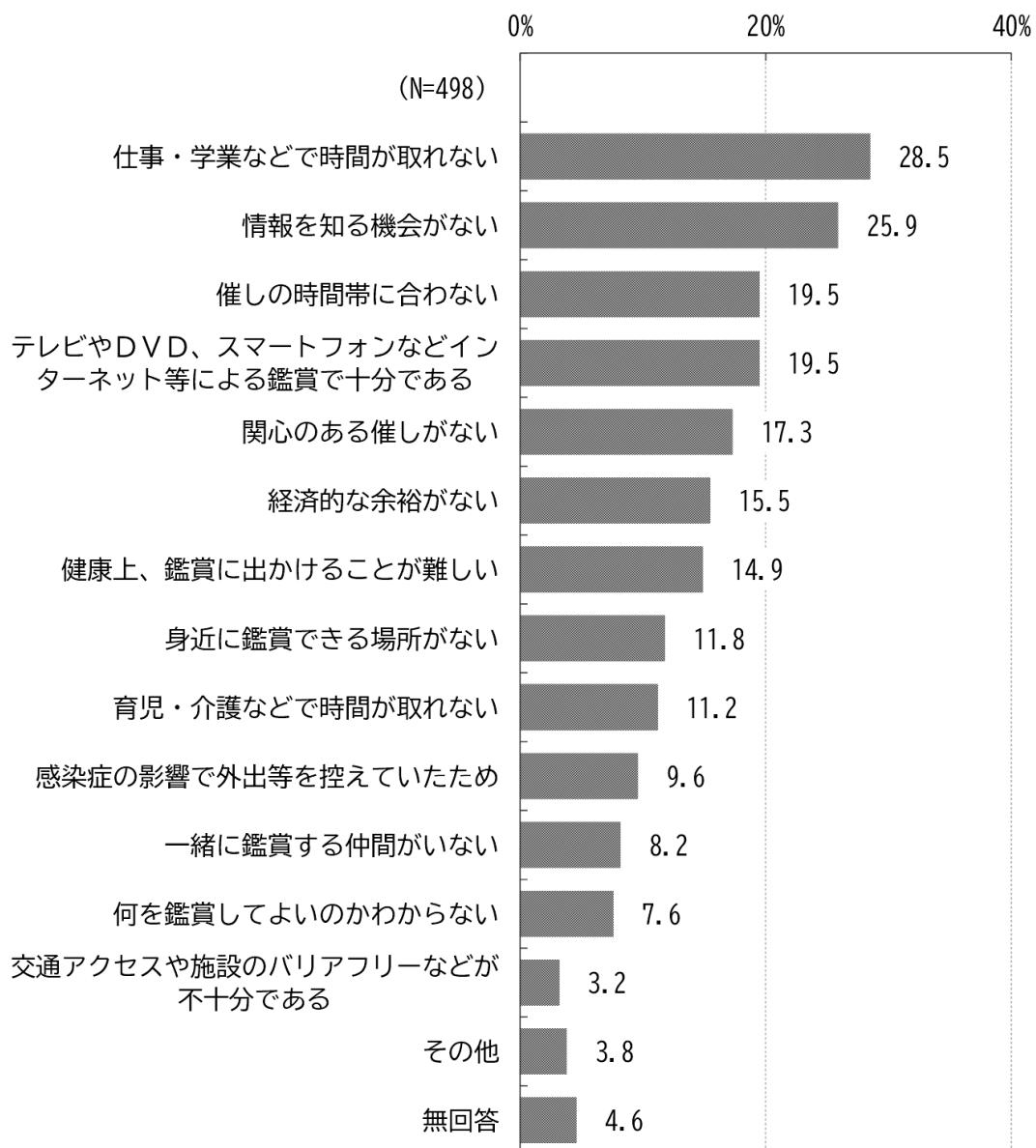
文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れるによる影響について、“増えると考えている層”は「楽しみ」が93.1%で最も多く、次いで「幸せ」が88.8%、「心身の健康」が82.0%、「地域への愛着」が58.2%となっている。「地域や人とのつながり」は46.3%と“増えないと考えている層”と同程度となっている。

(N=682)



問8-3 文化・芸術を鑑賞しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

「仕事・学業などで時間が取れない」が28.5%と最も多く、次いで「情報を知る機会がない」が25.9%、「催しの時間帯に合わない」「テレビやDVD、スマートフォンなどインターネット等による鑑賞で十分である」が19.5%となっている。

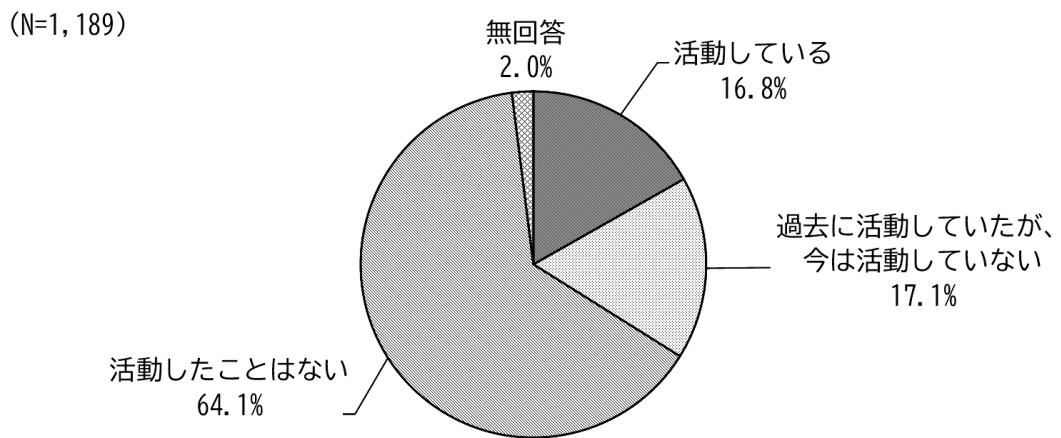


前回調査(N=190)	%
情報を知る機会がなかった	28.9
催しの時間帯に合わなかった	22.1
経済的な余裕がない	13.2
施設や交通アクセスがバリアフリーではない	0.5
関心のある催しがなかった	11.1
一緒に鑑賞する仲間がいない	10.0
健康上、鑑賞に出かけることが難しい	7.4
その他の理由	10.5
時間がなかった	56.3
特にない	0.5
無回答	1.6

3. あなたの文化・芸術活動について

問9 あなたは、職業としてではなく、文化・芸術に関する活動を行っていますか。 (○は1つ)

「活動したことはない」が 64.1% と最も多く、次いで「過去に活動していたが、今は活動していない」が 17.1%、「活動している」が 16.8% となっている。

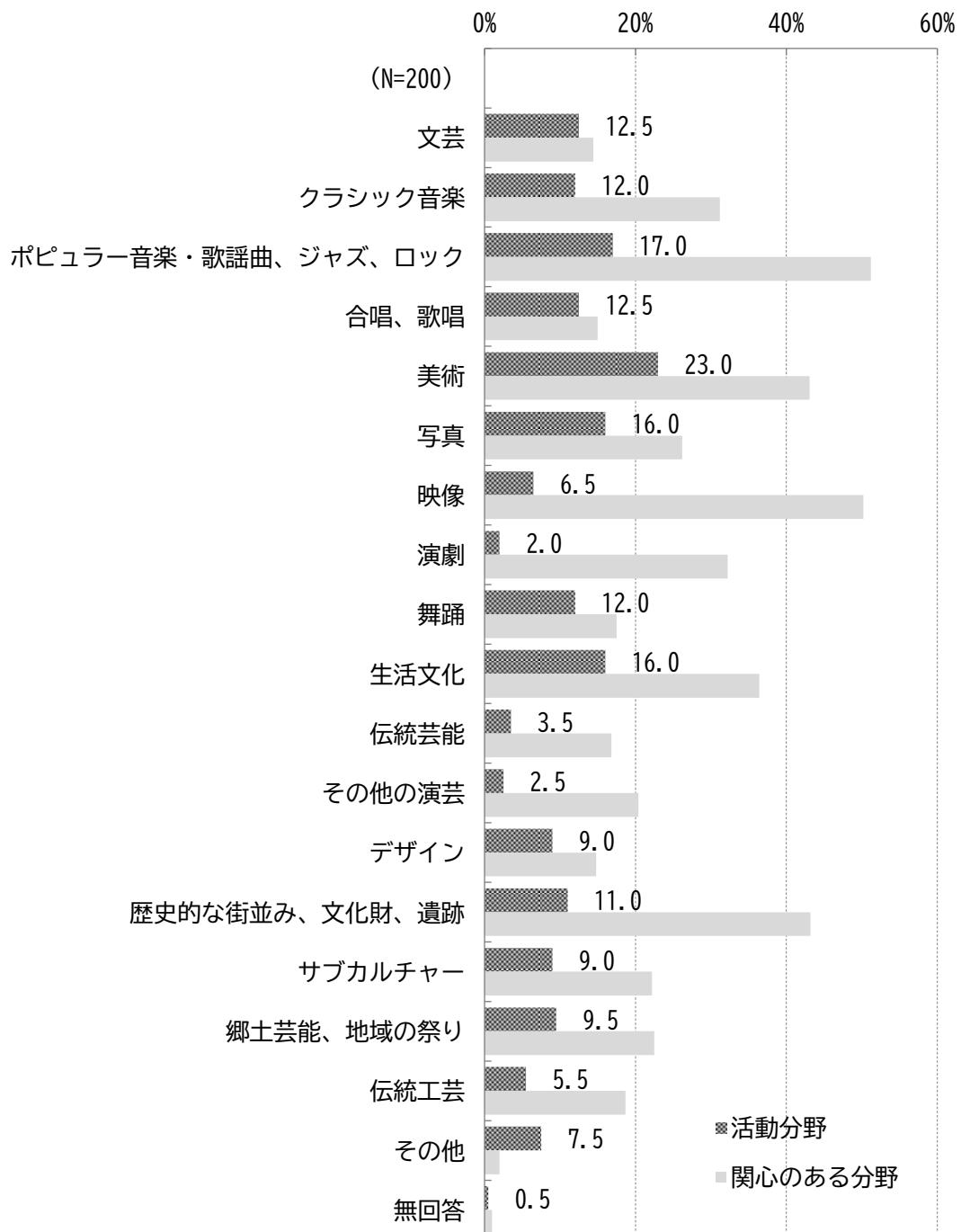


前回調査(N=1126)	%
活動している	21.9
過去に活動していたが、今は活動していない	18.2
活動したことない	58.1
無回答	1.8

問9で「1 活動している」を選択した方に伺います。

問9-1 あなたは、どの分野で活動を行っていますか。（○はいくつでも）※分類は問6-1と同様

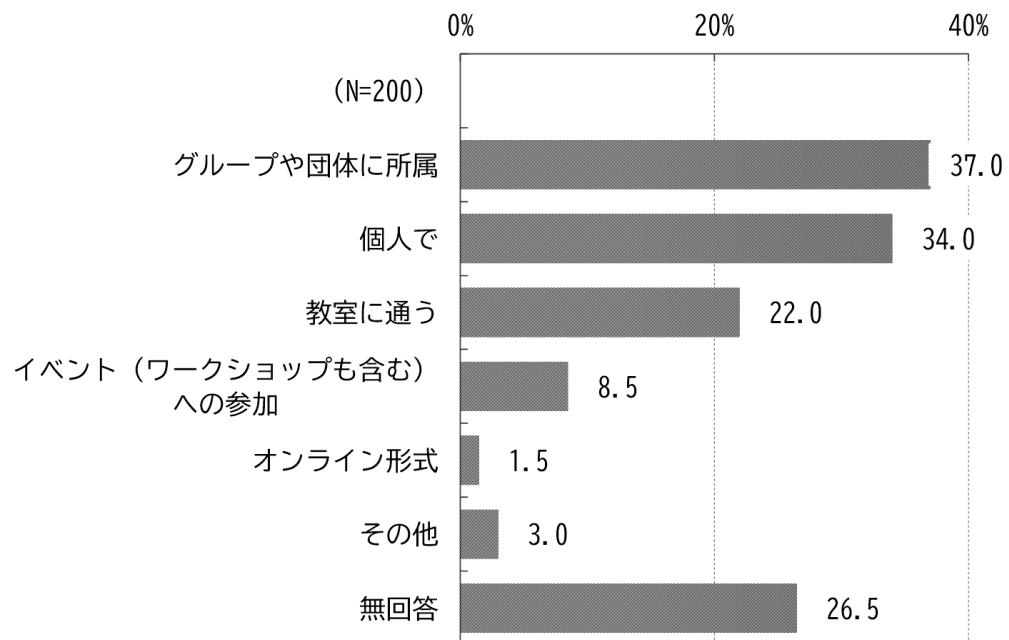
「美術」が23.0%と最も多く、次いで「ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック」が17.0%、「写真」「生活文化」が16.0%となっている。



※参考として問6-1「関心のある分野」をグラフに併記

問9-2 あなたは、その活動をどのように行っていますか。（○はいくつでも）

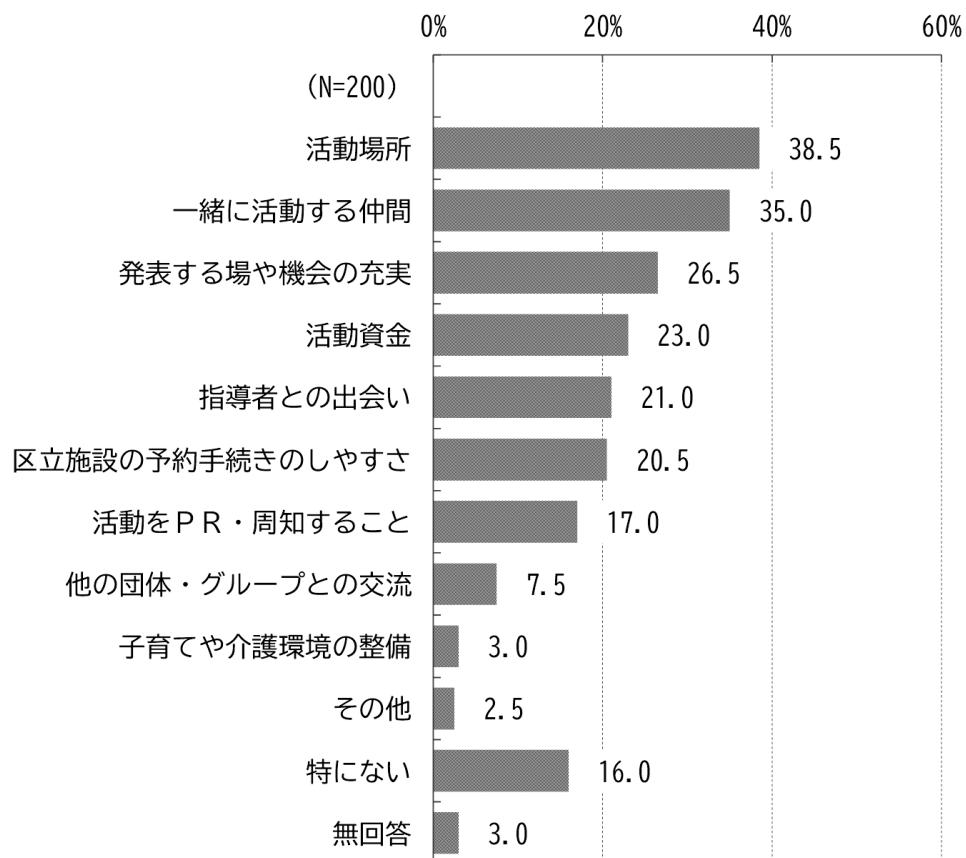
「グループや団体に所属」が37.0%と最も多く、次いで「個人で」が34.0%となっている。



前回調査(N=247)	%
グループや団体に所属して	28.7
教室に通うなど、習い事として	37.7
その他のかたち	5.7
大田区や大田区文化振興協会が実施する事業への参加	8.9
趣味として	66.0
職業として	13.0
無回答	0.8

問9-3 あなたが現在取り組んでいる活動を、より充実させるために必要なことは何ですか。
(○はいくつでも)

「活動場所」が38.5%と最も多く、次いで「一緒に活動する仲間」が35.0%、「発表する場や機会の充実」が26.5%となっている。

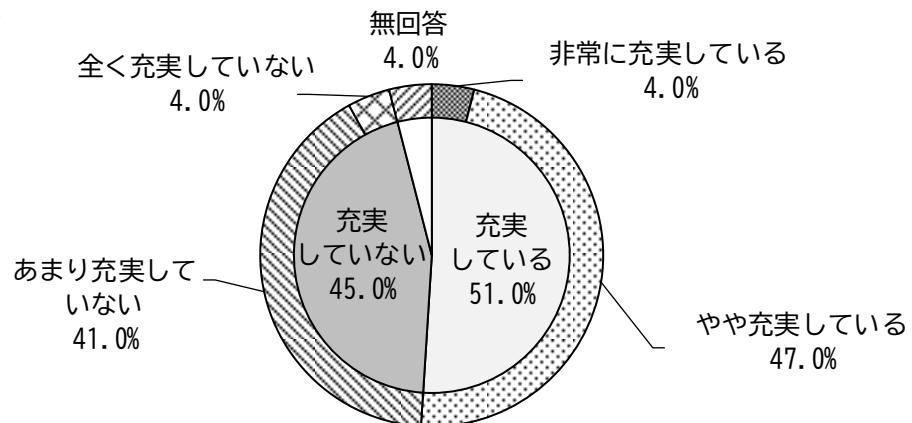


前回調査(N=247)	%
一緒に活動する仲間との出会い	33.6
活動するための施設の確保	32.0
指導する人材との出会い	25.1
発表する場や機会が増える	19.8
活動のための資金の確保	19.0
団体等に気軽にに入る雰囲気づくり	18.6
区立施設の予約手続きが便利になる	16.6
活動をPR・周知する場や機会が増える	13.4
子育てや介護環境の整備	6.5
その他の事柄	5.3
特にない	7.7
無回答	17.4

問9-4 あなたは、区内で文化・芸術に関する活動をする上で、練習や発表などの場所や機会が充実していると思いますか。（○は1つ）

「やや充実している」が47.0%と最も多い、次いで「あまり充実していない」が41.0%となっている。

(N=200)

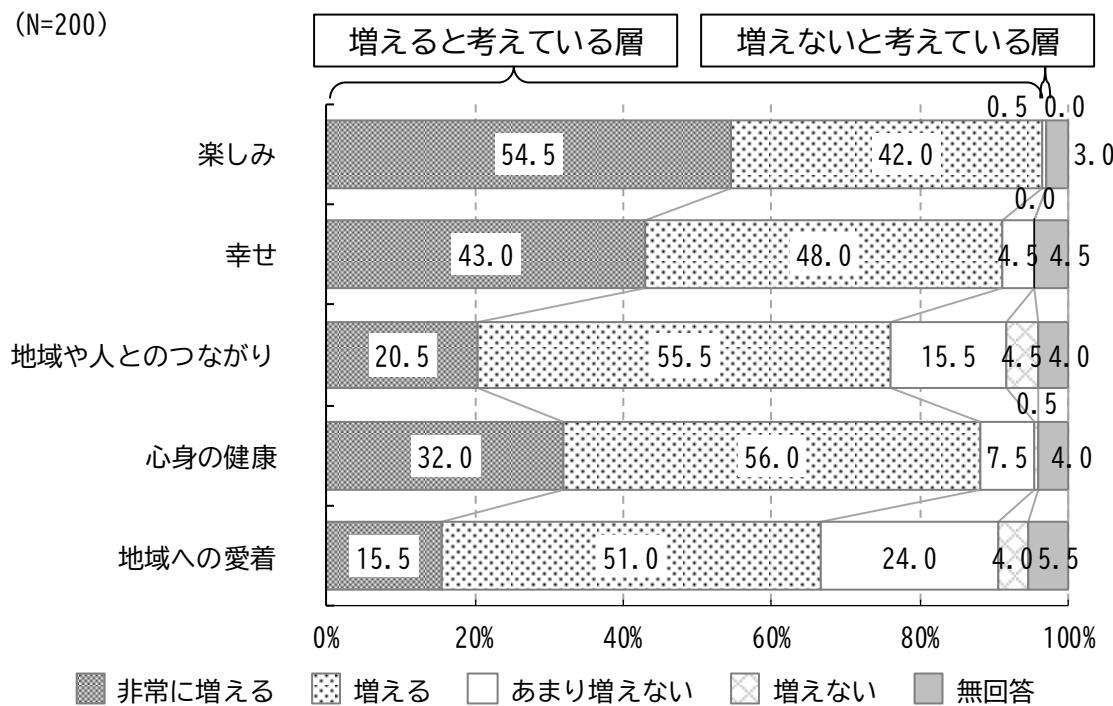


前回調査(N=247)	%
充実している	7.7
どちらかというと充実している	43.3
あまり充実していない	25.1
無回答	23.9

問9-5 文化・芸術活動をすることで、以下の項目にどのような影響があると思いますか。（それぞれ○は1つ）

文化・芸術活動による影響について、“増えると考えている層”は「楽しみ」が96.5%で最も多い、次いで「幸せ」が91.0%、「心身の健康」が88.0%、「地域や人とのつながり」が76.0%、「地域への愛着」が66.5%となっている。

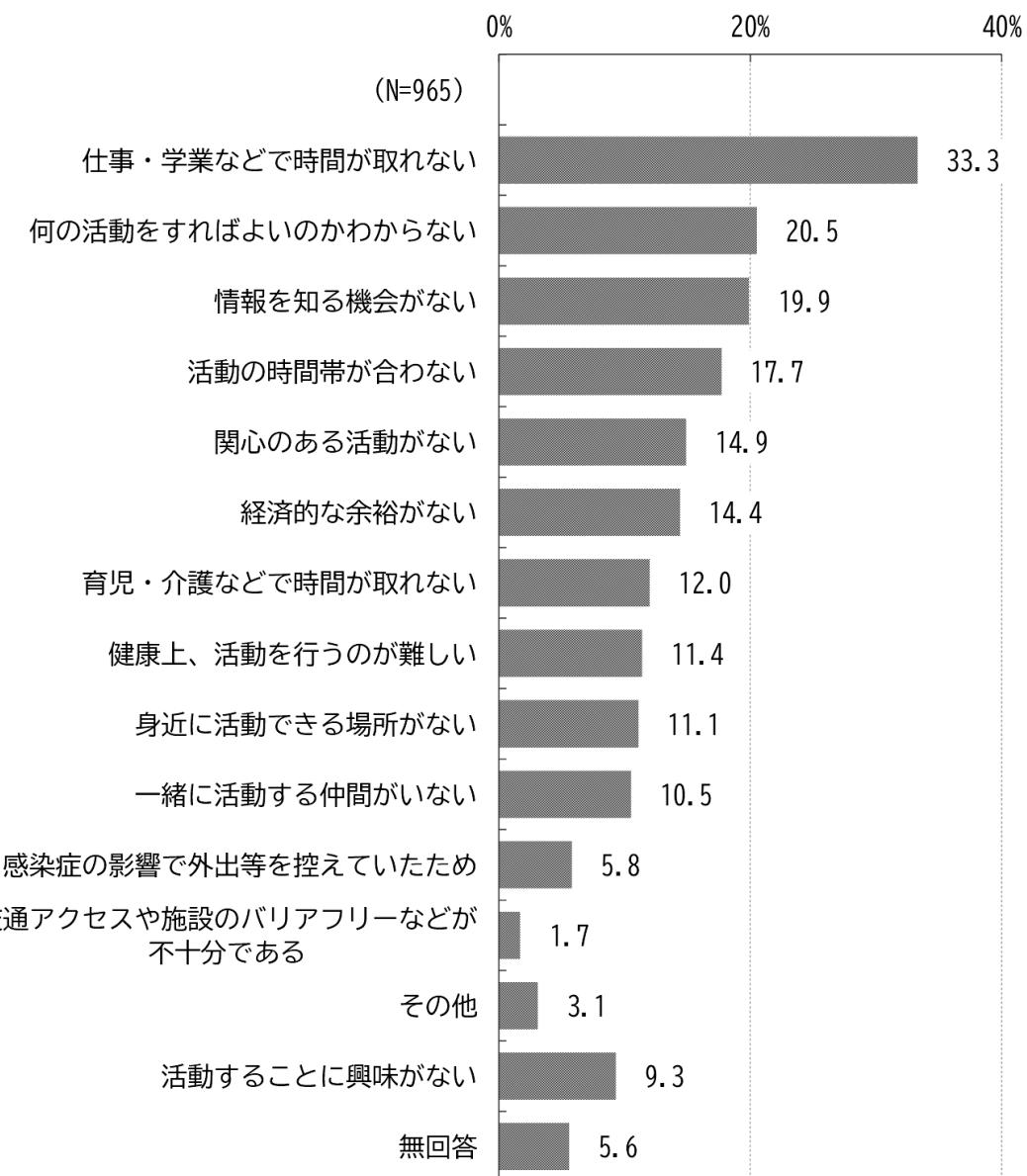
(N=200)



問9で「2 過去に活動していたが、今は活動していない」、もしくは「3 活動したことない」を選択した方に伺います。

問9-6 文化・芸術に関する活動をしていない理由は何ですか。 (○はいくつでも)

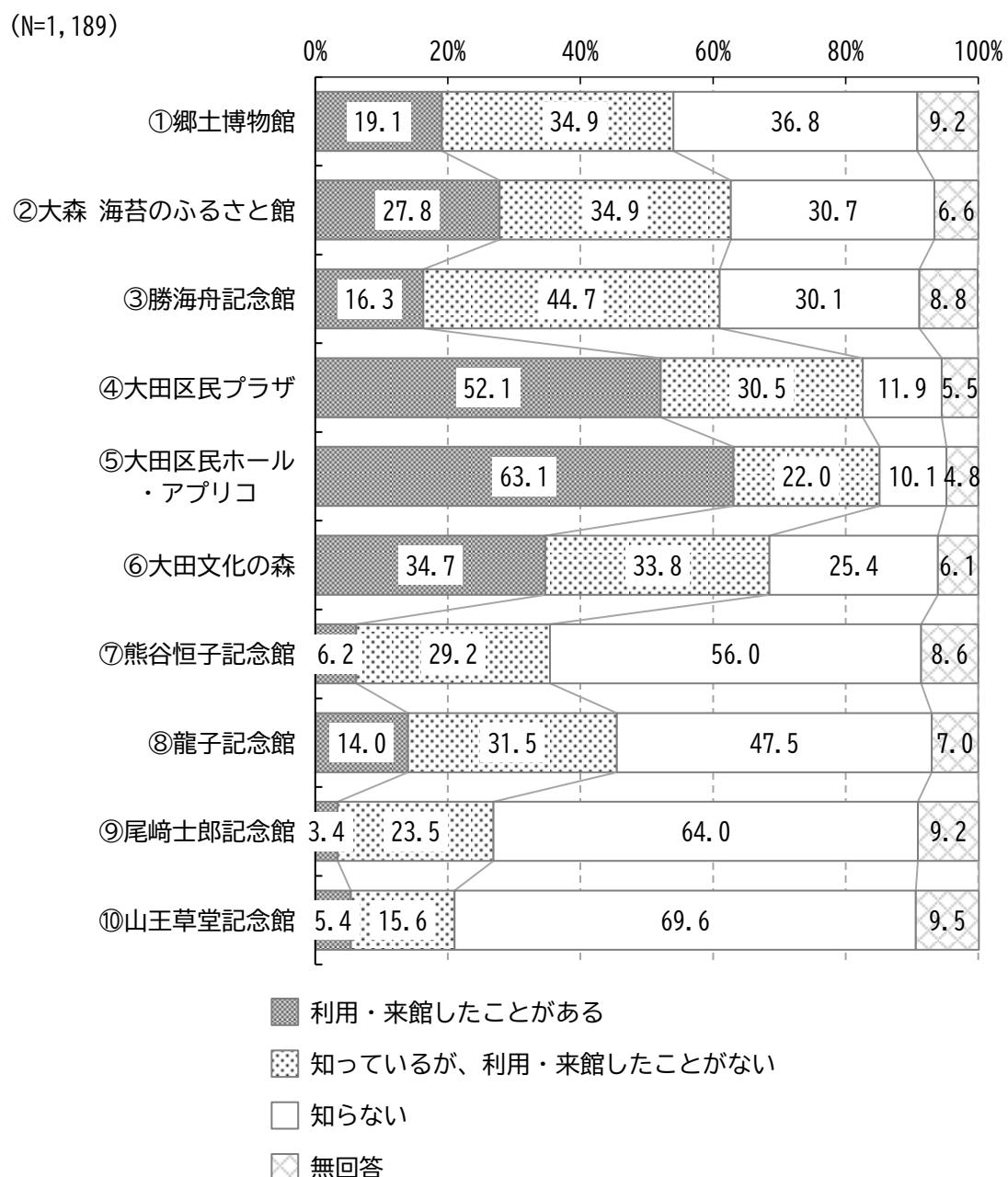
「仕事・学業などで時間が取れない」が33.3%と最も多く、次いで「何の活動をすればよいのかわからない」が20.5%、「情報を知る機会がない」が19.9%となっている。



4. 区の文化振興に関する取り組みについて

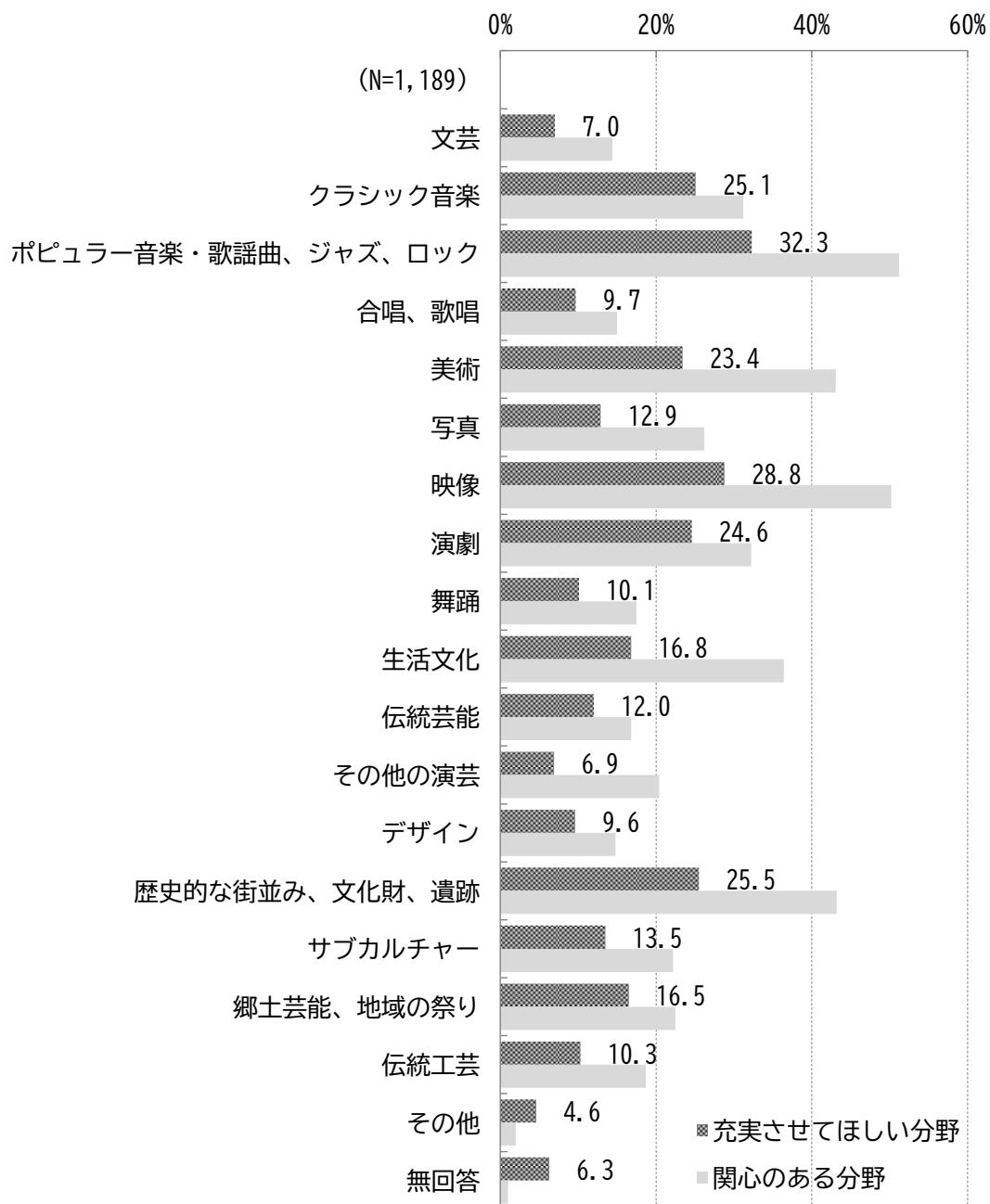
問10 あなたは、次の①～⑩の区内の施設を知っていますか。（各施設について○は1つ）

②大森 海苔のふるさと館、③勝海舟記念館、④大田区民プラザ、⑤大田区民ホール・アリコ、⑥大田文化の森は6割を上回る人から認知されており、大田区民ホール・アリコは「利用・来館したことがある」人が63.1%と高くなっている。一方で、⑦熊谷恒子記念館、⑨尾崎士郎記念館、⑩山王草堂記念館はいずれも、「利用・来館したことがある」人が1割未満となっている。



問11 区内で鑑賞や活動する機会や場について、もっと充実させてほしい分野を選んでください。
(○はいくつでも) ※分類は問6-1と同様

「ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック」が32.3%と最も多い、次いで「映像」が28.8%、「歴史的な街並み、文化財、遺跡」が25.5%となっている。

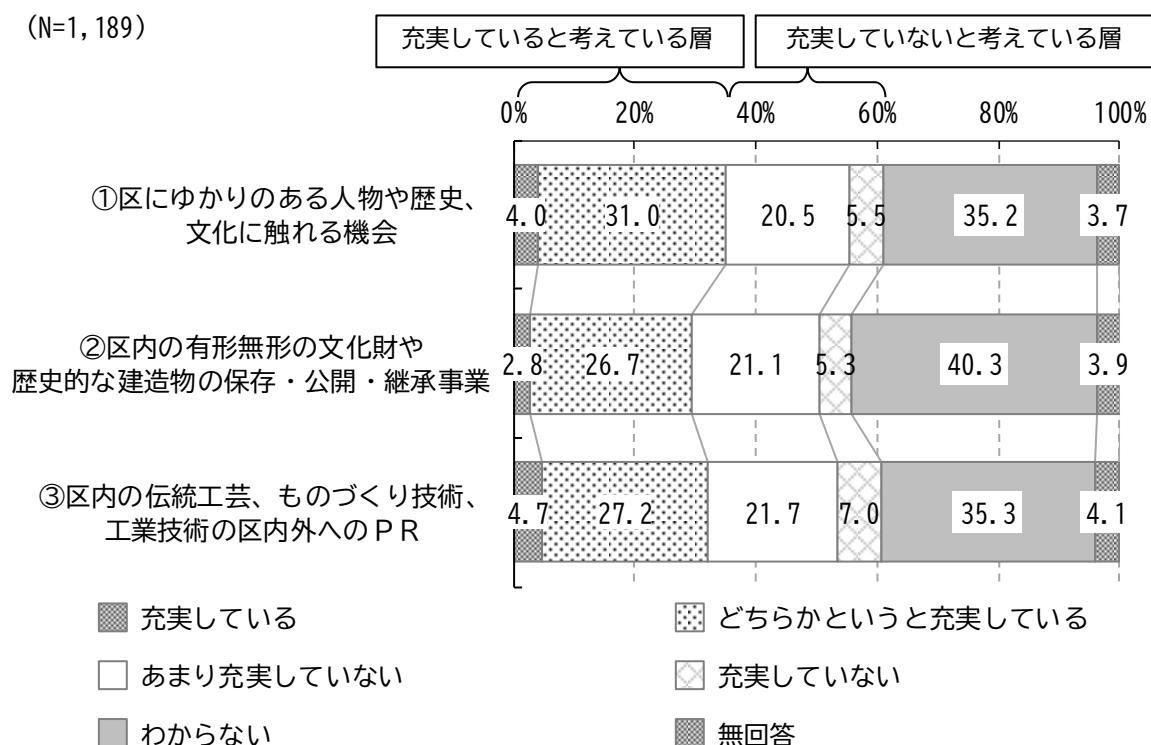


※参考として問6-1「関心のある分野」をグラフに併記

問12 大田区では、地域の様々な文化を保存・継承し、区の魅力として発信する取り組みを行っています。あなたは、次の①～③の取り組みについて、充実していると思いますか。（各取り組みについて○を1つ）

地域の様々な文化を保存・継承し、区の魅力として発信する取り組みの充実度について、“充実していると考えている層”は「①区にゆかりのある人物や歴史、文化に触れる機会」が35.0%で最も多く、次いで「③区内の伝統工芸、ものづくり技術、工業技術の区内外へのPR」が31.9%、「②区内の有形無形の文化財や歴史的な建造物の保存・公開・継承事業」が29.5%となっている。いずれも「わからない」が最も多くなっている。

(N=1,189)



問13 大田区が文化・芸術を振興していくために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。
(○はいくつでも)

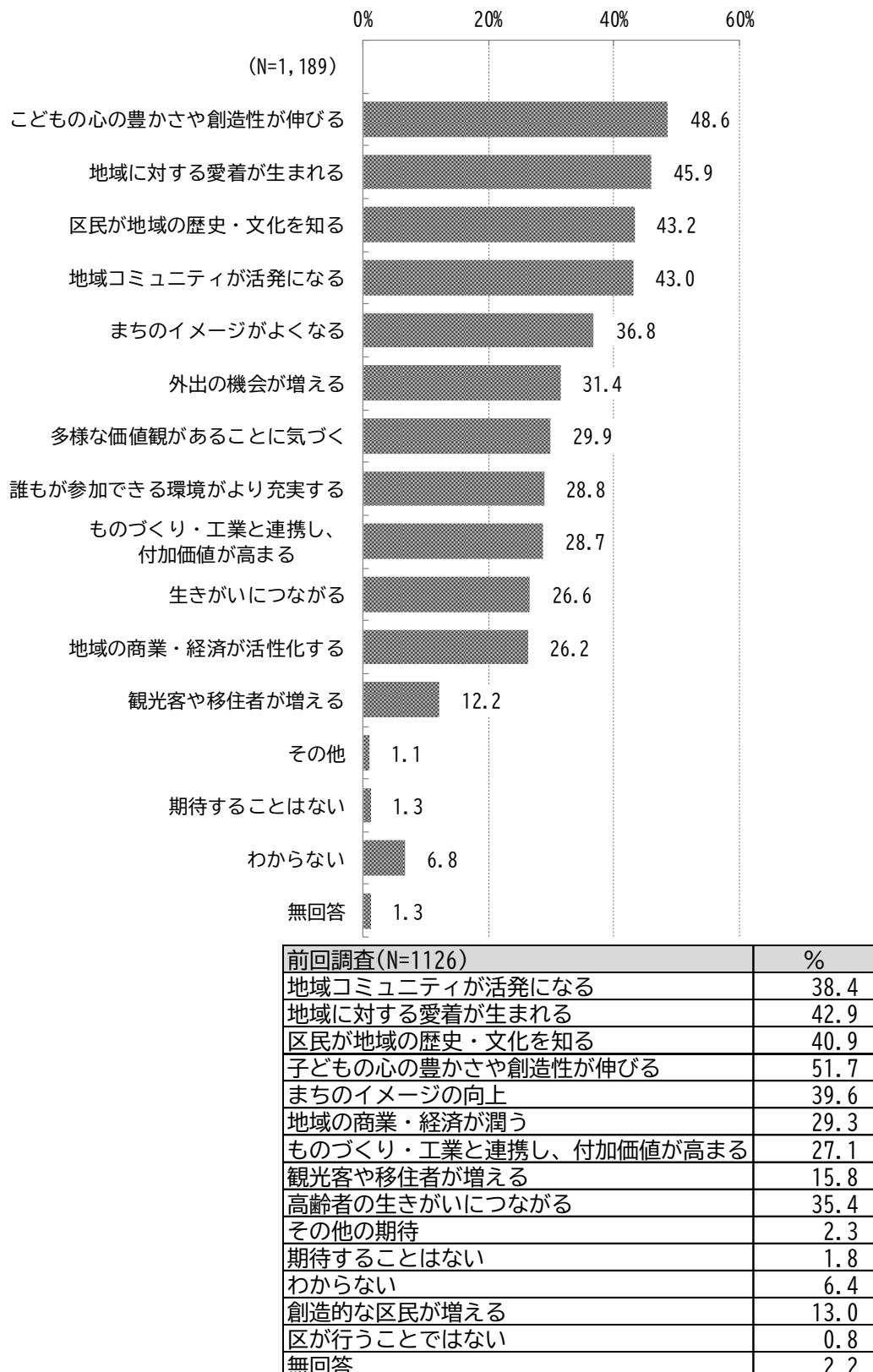
「子どもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出」が52.6%と最も多く、次いで「区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充」が48.1%、「文化拠点施設を通じて、文化活動の場を広く区民に提供」が36.9%となっている。



前回調査(N=1126)	%
文化拠点施設の運営を通じて、文化活動の場を広く区民に提供	36.4
区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充	44.0
子どもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出	56.0
地域の文化・芸術の育成と展示等による区民への発信	20.9
区民の自主的な文化活動の積極的な支援	22.4
様々な団体とのネットワークの構築と区内文化団体の情報収集・発信	20.3
多様な文化活動の担い手をコーディネートする専門人材の育成・確保	21.0
文化活動に関する相談窓口の充実	10.5
地域文化資源の保全・活用、潜在する地域文化資源の掘り起こし	16.9
文化的持つ力を教育や福祉など様々な分野に活かす	21.8
わからない	12.6
大田区主催の文化事業との連携強化	15.5
どれも重要だと思わない	2.0
無回答	3.2

問14 あなたは、大田区が文化・芸術施策に力を入れることで、人やまち、地域がどのように変化することを期待しますか。（○はいくつでも）

「子どもの心の豊かさや創造性が伸びる」が48.6%と最も多く、次いで「地域に対する愛着が生まれる」が45.9%、「区民が地域の歴史・文化を知る」が43.2%となっている。



5. 子どもの文化・芸術の鑑賞や活動について

問15 こどもが文化・芸術にもっと親しむようになるために、あなたは大田区にどのような取り組みを期待しますか。 (○はいくつでも)

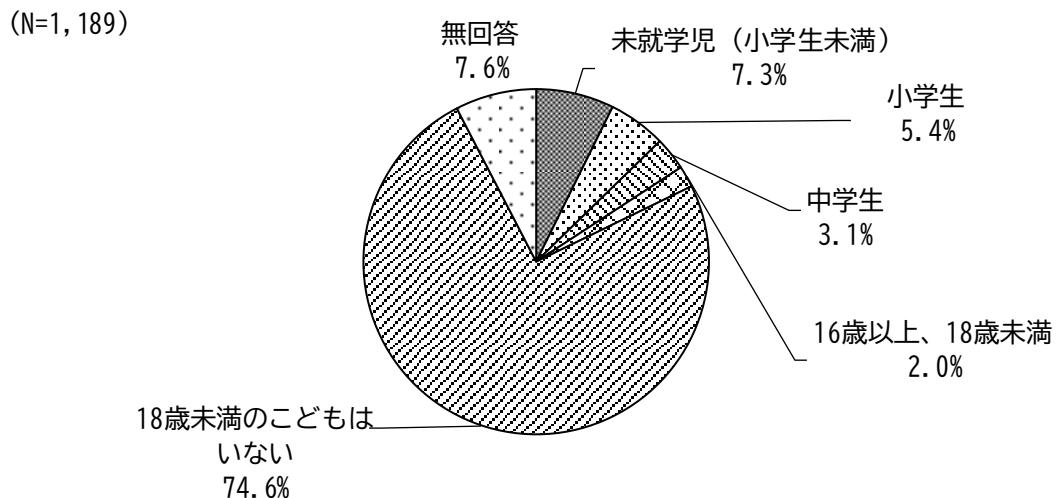
「子ども向けの鑑賞・体験できる機会を充実させる」が 61.5% と最も多く、次いで「親子で一緒に鑑賞・体験できる機会をつくる」が 50.5%、「子どもの創造性を引き出す機会をつくる」が 41.2% となっている。



前回調査(N=247)	%
鑑賞・体験できる機会をつくる	66.4
親子で一緒に鑑賞・体験できる機会をつくる	56.3
低料金で参加できる事業を行う	45.7
学校での授業を充実させる	38.1
わかりやすく情報を伝える	35.6
身近な施設や場所で事業を行う	35.2
創造的な活動をする機会をつくる	25.1
児童館等で文化芸術に関するプログラムを充実させる	25.1
地域の歴史や文化財に親しむ機会をつくる	22.3
親の興味・関心を引くような情報提供を行う	20.6
その他の期待	4.0
特にない	3.2

問16 あなたには、18歳未満のお子さんがいらっしゃいますか。あなたの一番下のお子さんは次のうちどれにあてはまりますか。 (○は1つ)

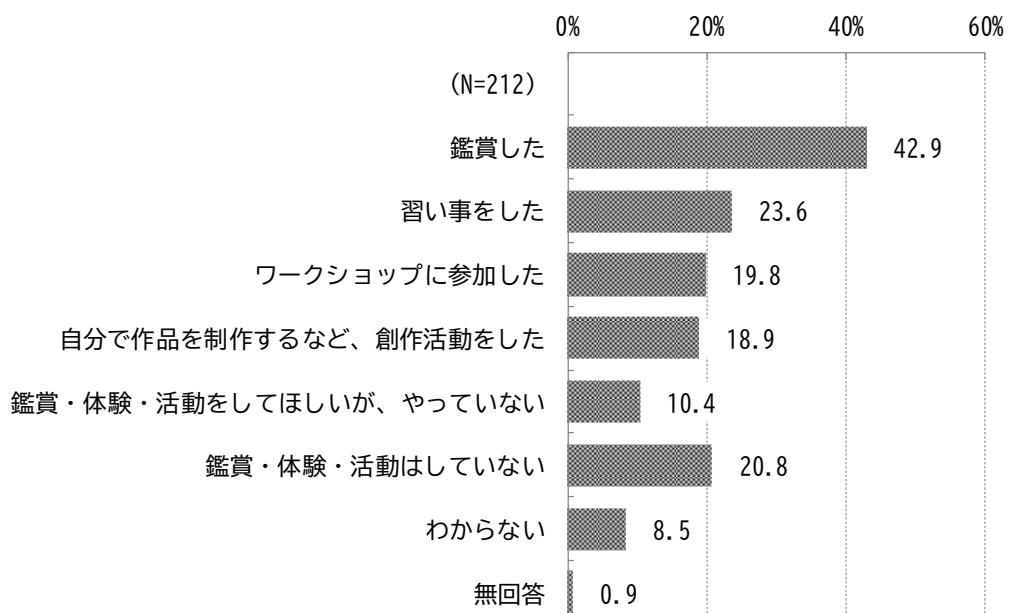
「18歳未満の子どもはいない」が74.6%と最も多く、次いで「未就学児（小学生未満）」が7.3%となっている。



18歳未満のお子さんがいる方に伺います。

問16-1 あなたのお子さんは、園や学校の授業、課外活動又は部活動以外で、過去1年間に文化・芸術の鑑賞や体験、又は文化・芸術に関する活動をしましたか。 (○はいくつでも)

「鑑賞した」が42.9%、「習い事をした」が23.6%となっている。

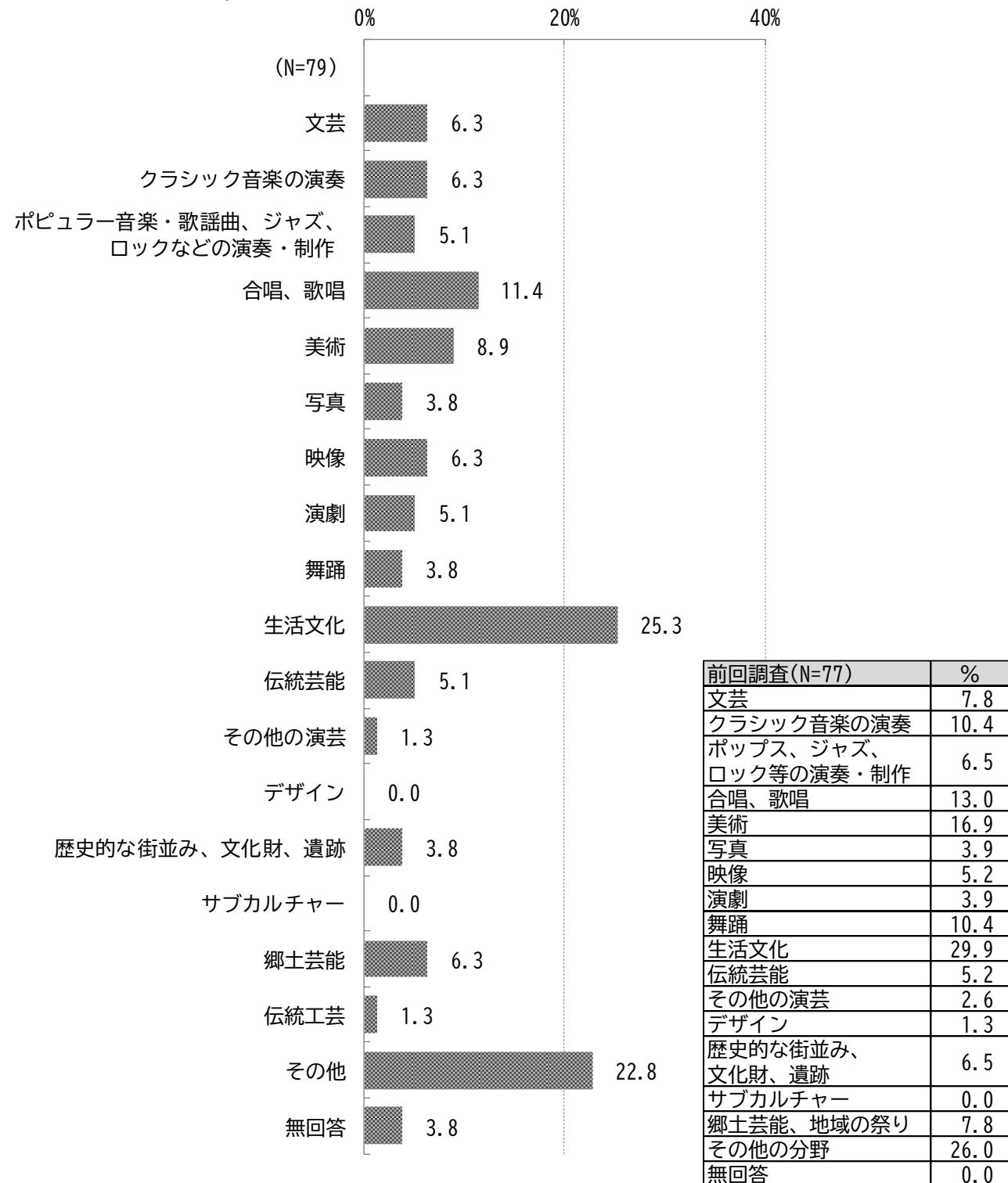


第4章 団体向け調査集計結果

1. 貴団体について

問1 貴団体の主な活動分野を教えてください。 (○はいくつでも)

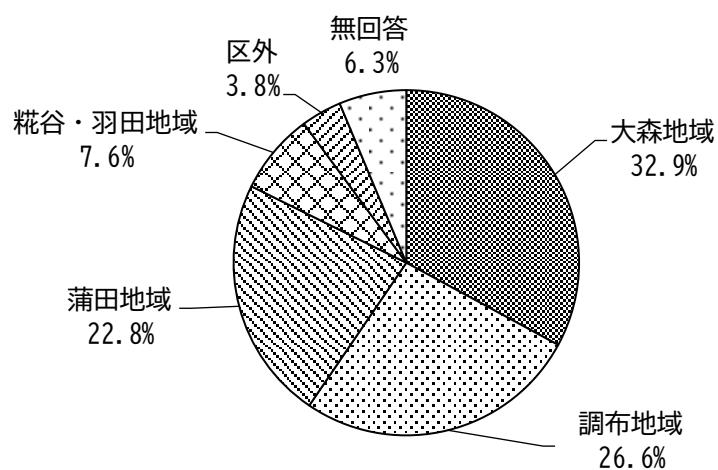
「生活文化」が 25.3% と最も多く、次いで「合唱、歌唱」が 11.4%、「美術」が 8.9% となっている。



問2 貴団体が主に活動している地域はどちらですか。 (○は1つ)

「大森地域」が32.9%と最も多く、次いで「調布地域」が26.6%、「蒲田地域」が22.8%となっている。

(N=79)

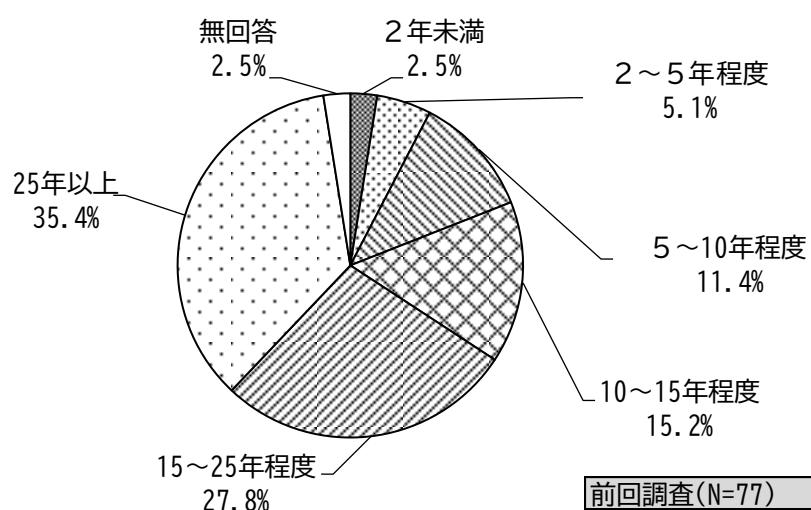


前回調査(N=77)	%
大森地域	35.1
調布地域	28.6
蒲田地域	28.6
糀谷・羽田地域	3.9
区外	2.6
無回答	1.3

問3 貴団体の活動年数を教えてください。 (○は1つ)

「25年以上」が35.4%と最も多く、次いで「15～25年程度」が27.8%、「10～15年程度」が15.2%となっている。

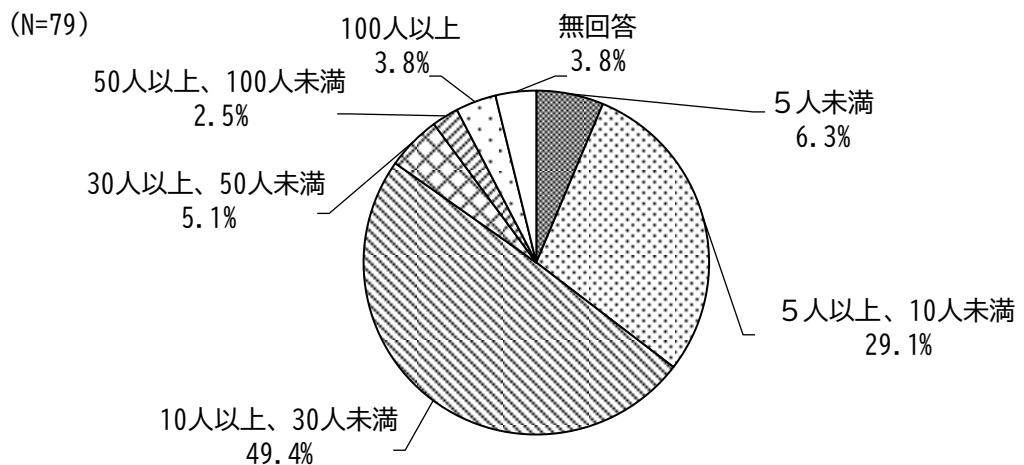
(N=79)



前回調査(N=77)	%
2年未満	0.0
2～5年程度	6.5
5～10年程度	20.8
10～15年程度	16.9
15～25年程度	24.7
25年以上	31.2
無回答	0.0

問4 貴団体の活動人数を教えてください。 (○は1つ)

「10人以上、30人未満」が49.4%と最も多く、次いで「5人以上、10人未満」が29.1%、「5人未満」が6.3%となっている。

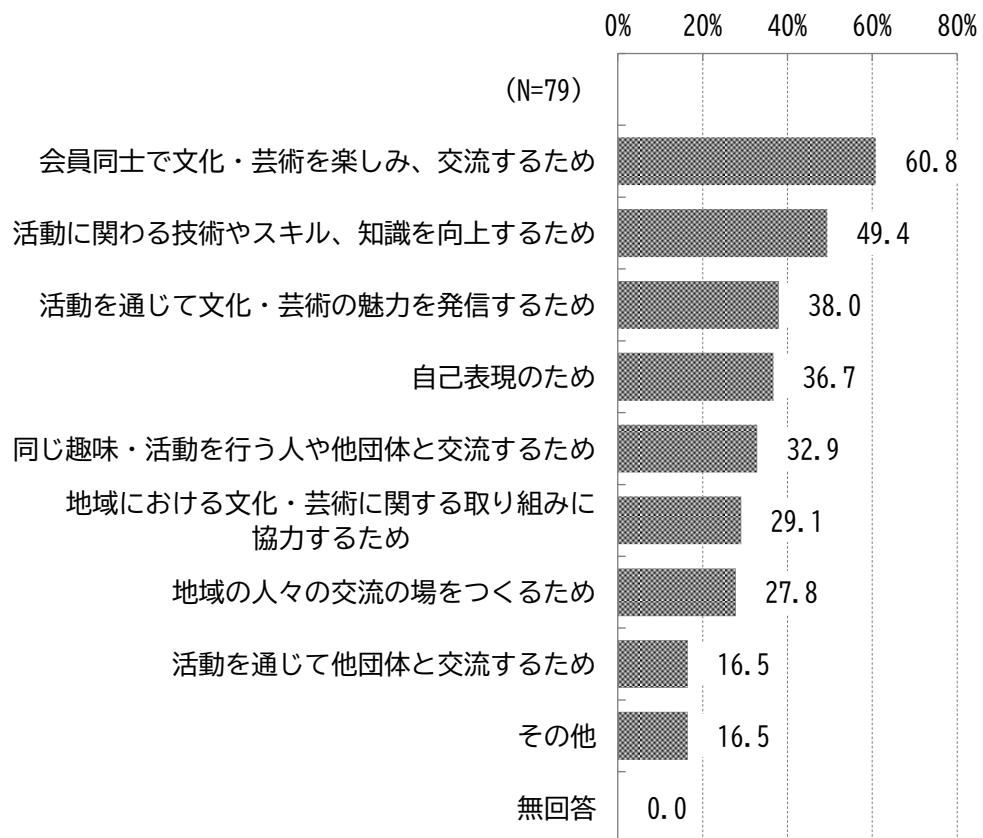


前回調査(N=77)	%
10人未満	41.6
10人以上、50人未満	53.2
50人以上、100人未満	3.9
100人以上	1.3
無回答	0.0

2. 貴団体の活動について

問5 貴団体は、どのような目的をもって活動をしていますか。 (○はいくつでも)

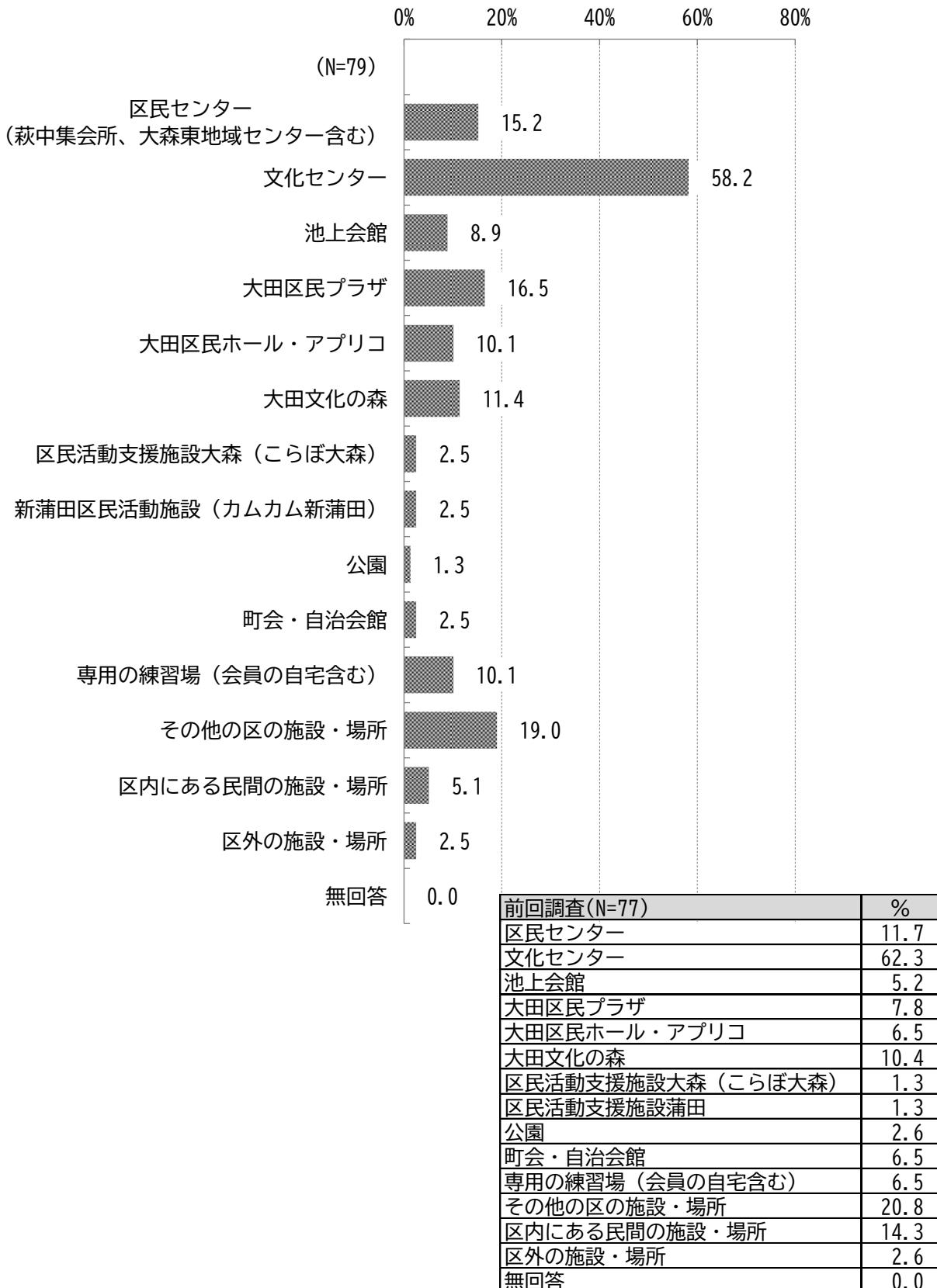
「会員同士で文化・芸術を楽しみ、交流するため」が 60.8% と最も多く、次いで「活動に関わる技術やスキル、知識を向上するため」が 49.4%、「活動を通じて文化・芸術の魅力を発信するため」が 38.0% となっている。



前回調査(N=77)	%
活動に関わる技術やスキル、知識を向上するため	72.7
会員同士で文化・芸術を楽しみ、交流するため	70.1
活動を通じて文化・芸術の魅力を発信するため	48.1
同じ趣味・活動を行う人や他団体と交流するため	40.3
地域の人々の交流の場をつくるため	37.7
地域における文化・芸術に関する取り組みに協力するため	28.6
活動を通じて他団体と交流するため	10.4
その他の目的	9.1
無回答	0.0

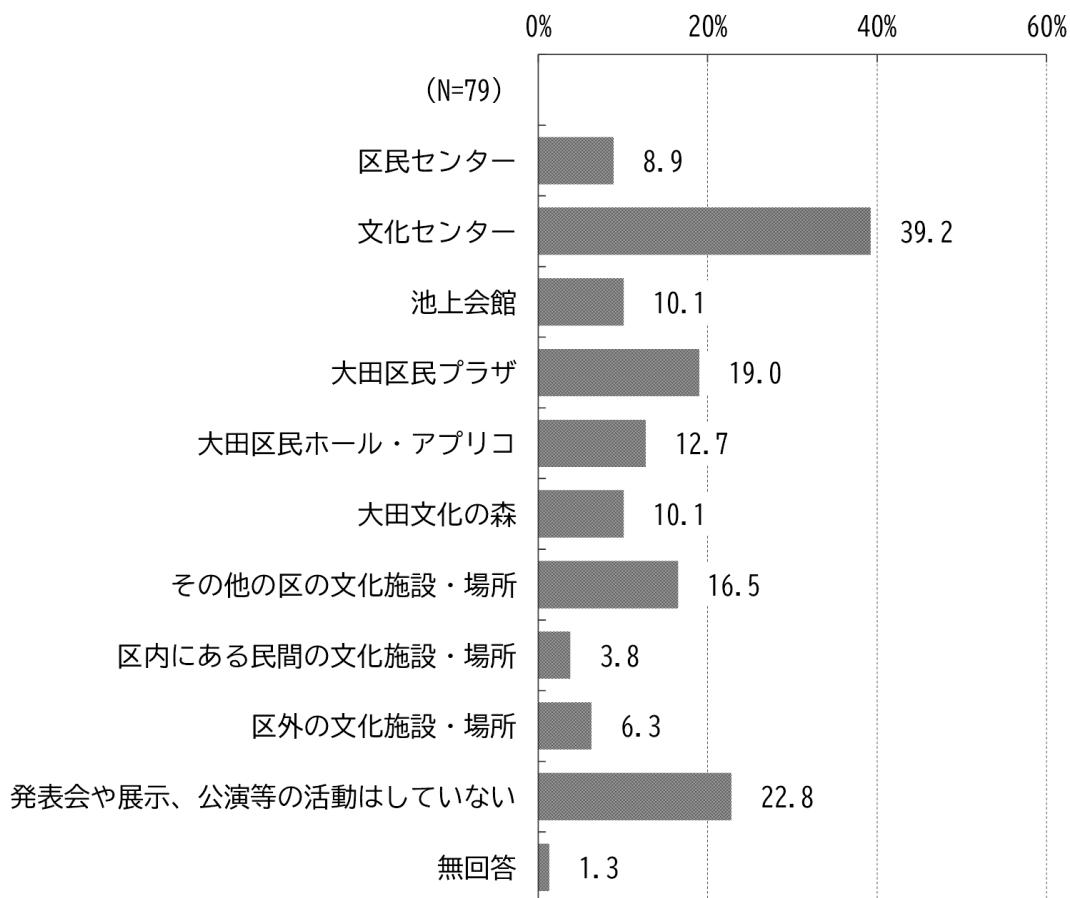
問6 貴団体が練習や創作活動など、定期的な活動でよく利用する施設・場所はどちらですか。
(○はいくつでも)

「文化センター」が58.2%と最も多く、次いで「その他の区の施設・場所」が19.0%、「大田区民プラザ」が16.5%となっている。



問7 貴団体が発表会や展示、公演などを行う施設・場所はどちらですか。（○はいくつでも）

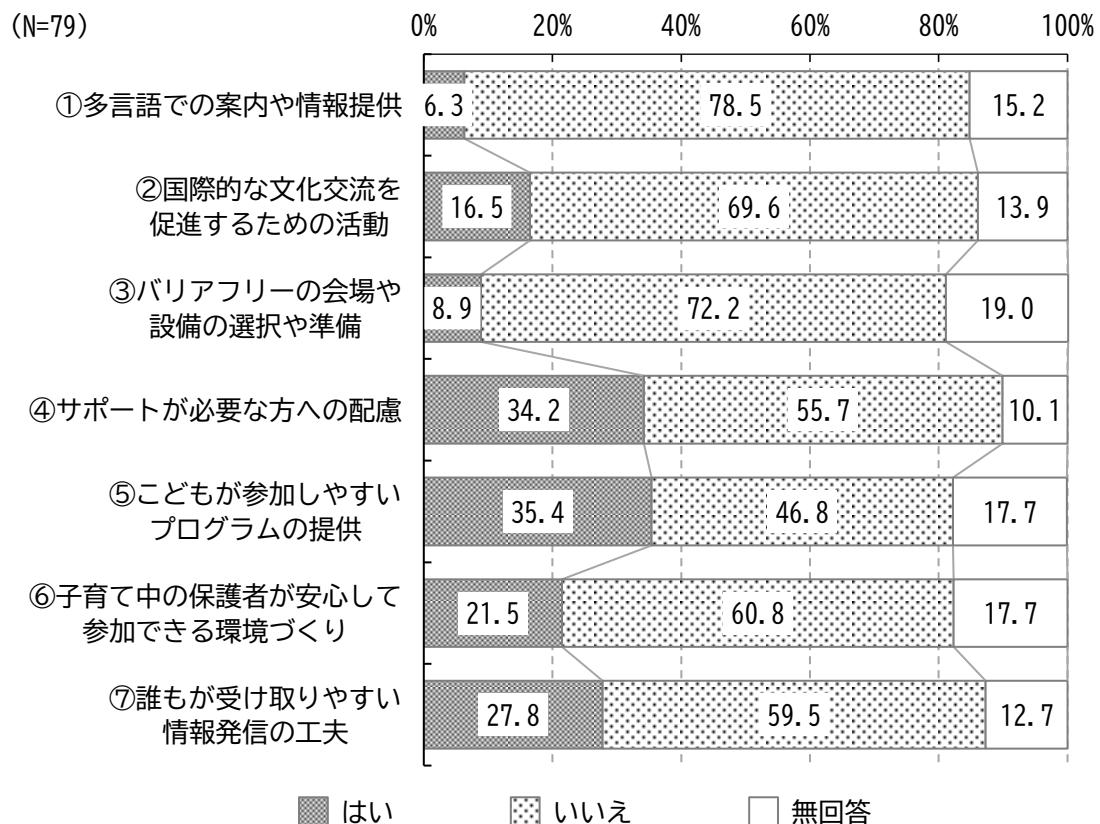
「文化センター」が39.2%と最も多く、次いで「発表会や展示、公演等の活動はしていない」が22.8%、「大田区民プラザ」が19.0%となっている。



前回調査(N=77)	%
区民センター	14.3
文化センター	48.1
池上会館	3.9
大田区民プラザ	18.2
大田区民ホール・アプリコ	14.3
大田文化の森	16.9
その他の区の施設・場所	14.3
区内にある民間の施設・場所	11.7
区外の施設・場所	10.4
発表会や展示、公演等の活動はしていない	7.8
無回答	0.0

問8 (1) 貴団体では、日常の活動や発表を行う際に、次のような取り組みを行っていますか。
(それぞれ1つに○)

「子どもが参加しやすいプログラムの提供」(35.4%)、「サポートが必要な方への配慮」(34.2%)、「誰もが受け取りやすい情報発信の工夫」(27.8%)が一定数実施されている一方で、「多言語での案内や情報提供」(6.3%)、「バリアフリーの会場や設備の選択や準備」(8.9%)は1割未満と少なくなっている。



【①多言語での案内や情報提供】

- 日本語（もしくは外国語）での演奏会

【②国際的な文化交流を促進するための活動】

- 世界15の国、地域を対象に高校生の日本語スピーチコンテストを実施し、各大会の優勝者を日本に招いて、国際大会および異文化交流プログラムを実施。

- 日中友好囲碁大会に参加

- 海外に住む家族が来日した際はお稽古に見学にきたり、子どももお稽古に参加しているのでそのつながりでお友だちが発表を見に来てくれたりしています。

【③バリアフリーの会場や設備の選択や準備】

- 発表の場（演奏会）は車椅子可能な会場を使用し、対応要員を配置。

【④サポートが必要な方への配慮】

- 初心者への指導
- 常時系統的な活動を行っているわけではないが、新規加入者、小学校への出張講座の時
必要な配慮プログラム構成。
- 耳が不自由の方にはマイクを使う。
- 時間に余裕をもって句会を開いています。
- 活動時間内での出入り、遅刻早退自由
- エレベーターがある施設を使用

【⑤こどもが参加しやすいプログラムの提供】

- クリスマス会などのイベントの開催
- 馬込文士村エリアの小学校での特別授業の実施。各種音楽会の主催。
- 常時系統的な活動を行っているわけではないが、新規加入者、小学校への出張講座の時
必要な配慮プログラム構成。
- 茶道のマナーを子どもにもわかりやすく先生が教えてくださっています。
- 時間に余裕をもって句会を開いています。
- 作曲において、子供が好きそなりズム、曲想を工夫する。しかし技術的には大人でも難
しい所作を、わかりやすくできるまで指導している。
- 子どもたちの練習場所等の引率など
- 海外に住む家族が来日した際はお稽古に見学にきたり、子どももお稽古に参加しているの
でそのつながりでお友だちが発表を見に来てくれたりしています。
- 地域全体の小学校に案内チラシを配布

【⑥子育て中の保護者が安心して参加できる環境づくり】

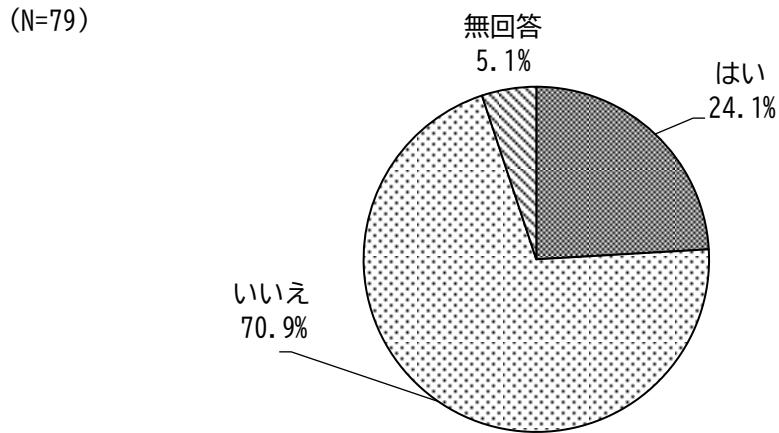
- 日常の活動（合唱練習）には、実際に子供を連れて参加する団員がいる。
- 時間に余裕をもって句会を開いています。
- 活動時間内での出入り、遅刻早退自由
- 子どもたちの練習場所等の引率など
- 海外に住む家族が来日した際はお稽古に見学にきたり、子どももお稽古に参加しているの
でそのつながりでお友だちが発表を見に来てくれたりしています。

【⑦誰もが受け取りやすい情報発信の工夫】

- 文化センター出展時に会の活動紹介を掲示している。
- 会で会員募集。公共場所で会員募集。
- HPの充実と小まめな内容更新を実施。
- 区報及び活動施設内に見学体験と募集掲示
- sns
- 文化センターの掲示板に、会員募集チラシを貼って、活動内容を紹介している
- Website、Facebook
- 地域全体の小学校に案内チラシを配布

問9 (1) 貴団体では、他の団体（企業・施設）や他ジャンルと連携した取り組みを行っていますか。

「いいえ」が70.9%、「はい」が24.1%となっている。

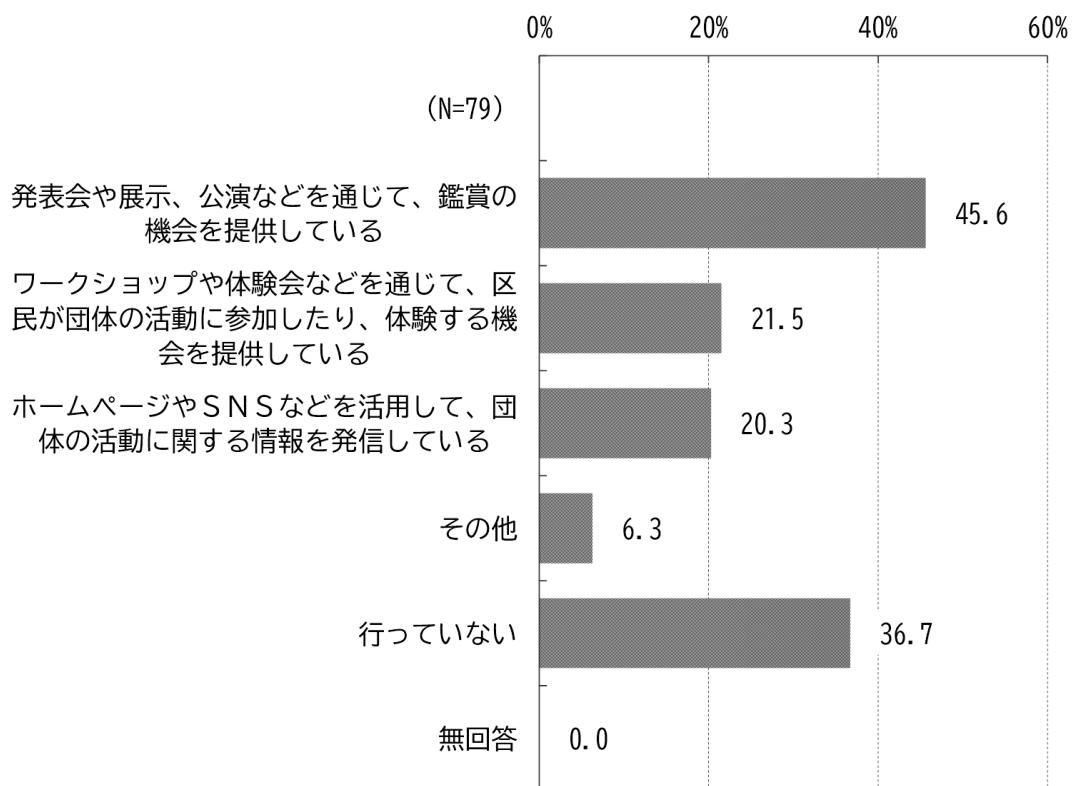


問9 (2) また、行っている場合は、具体的な取組内容についてお答えください。

- 陶芸家の方々の作品展に花を添えている（コラボ展）
- 管弦楽団や吹奏楽団とのジョイント、コンサートを実施
- 観光協会での展示会。山王2丁目町会での講演。馬込文士の郷里、郷土との交流や展示会
- 長野県の同種団体と交流していたが、コロナを機に中止したまま
- 県、市の教育委員会など
- 地域イベント等の協力
- 田園調布西町会フリーマーケット田園調布八幡神社諸行事その他、地域コミュニティとの協働事業
- 区民センター内の別の団体グループとの交流会
- 企業主催の演奏会等
- 大田区民踊連盟の大会に出演している

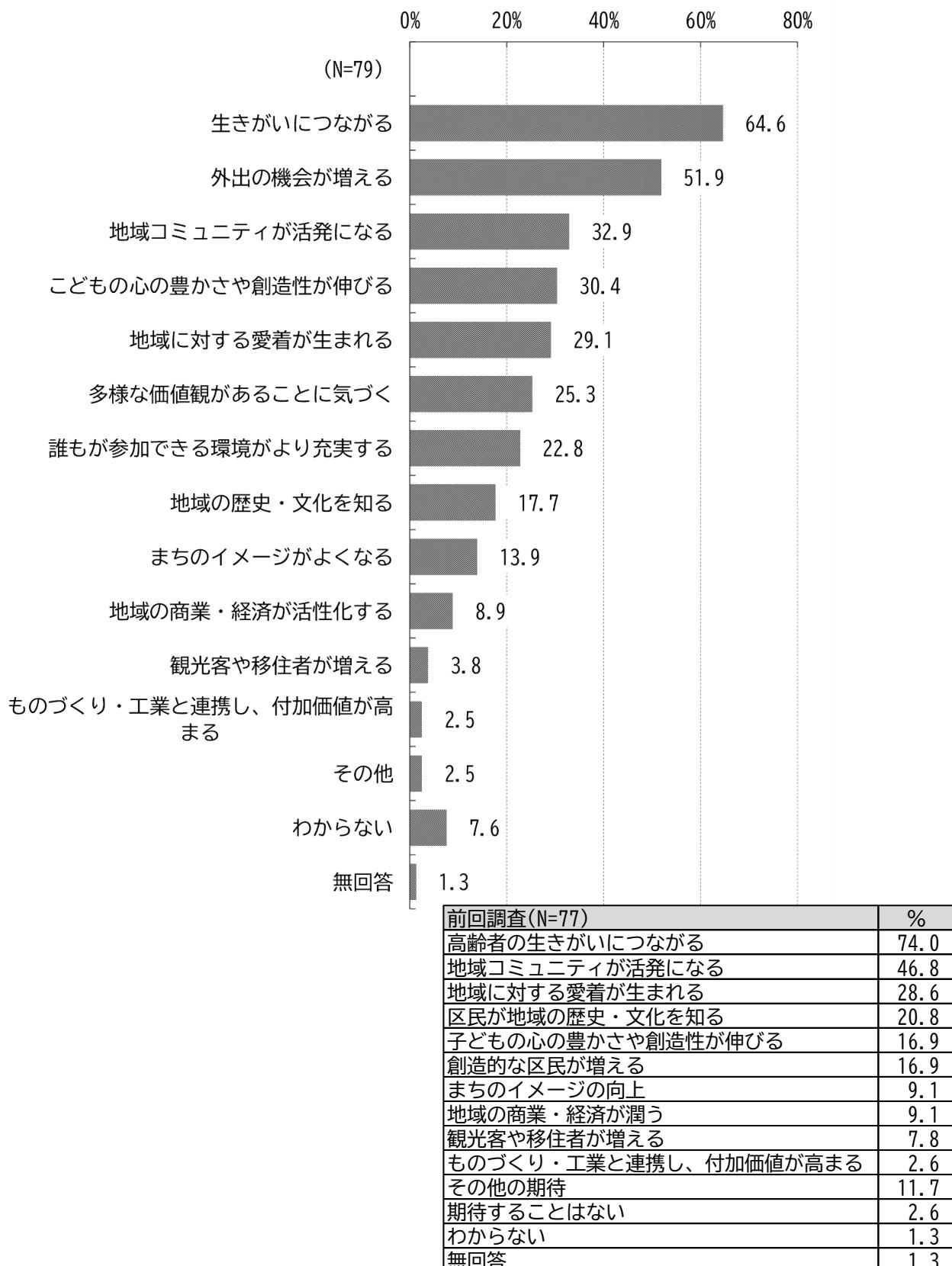
問10 貴団体では、区民に向けて、次のような活動を行っていますか。（○はいくつでも）

「発表会や展示、公演などを通じて、鑑賞の機会を提供している」が45.6%と最も多く、次いで「行っていない」が36.7%、「ワークショップや体験会などを通じて、区民が団体の活動に参加したり、体験する機会を提供している」が21.5%となっている。



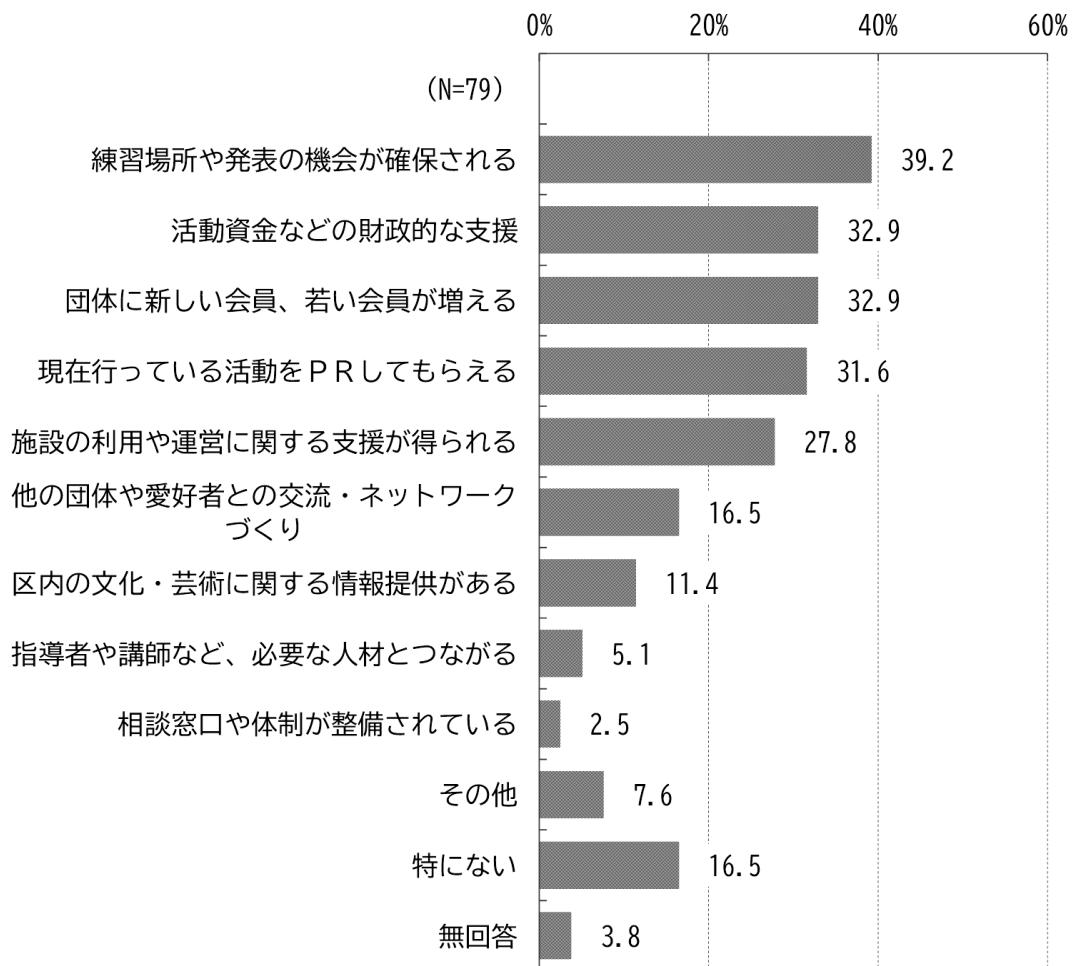
問11 貴団体の活動は、大田区の文化振興として、人やまち、地域に対してどのような変化をもたらすと考えますか。 (○はいくつでも)

「生きがいにつながる」が 64.6% と最も多く、次いで「外出の機会が増える」が 51.9%、「地域コミュニティが活発になる」が 32.9% となっている。



問12 貴団体が区内でより活発に文化・芸術活動をしていくために、大田区にどのような支援や役割を期待しますか？（○はいくつでも）

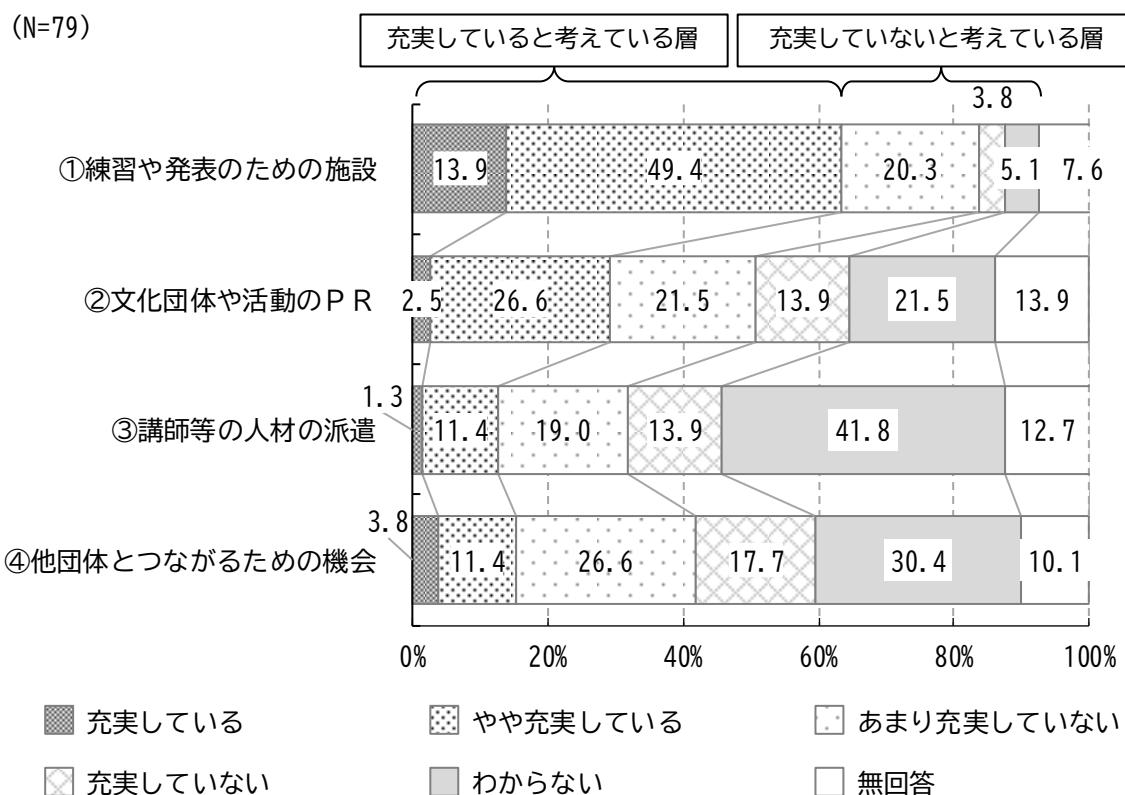
「練習場所や発表の機会が確保される」が39.2%と最も多く、次いで「活動資金などの財政的な支援」「団体に新しい会員、若い会員が増える」が32.9%となっている。



前回調査(N=77)	%
団体に新しい会員、若い会員が増える	67.5
現在行っている活動をPRしてもらえる	44.2
発表する場や機会が得られる	42.9
団体の活動に理解のある職員が区役所や施設にいる	33.8
活動資金の助成が得られる	27.3
活動を指導してくれる人材とつながる	20.8
一緒に活動する団体とつながる	14.3
活動を企画・コーディネートできる人材とつながる	14.3
活動について相談できる窓口がある	7.8
その他の支援	3.9
特にない	5.2
無回答	0.0

問13 貴団体が区内で文化・芸術に関する活動をする上で、次の項目①～④について充実していると思いますか。（各項目に○は1つ）

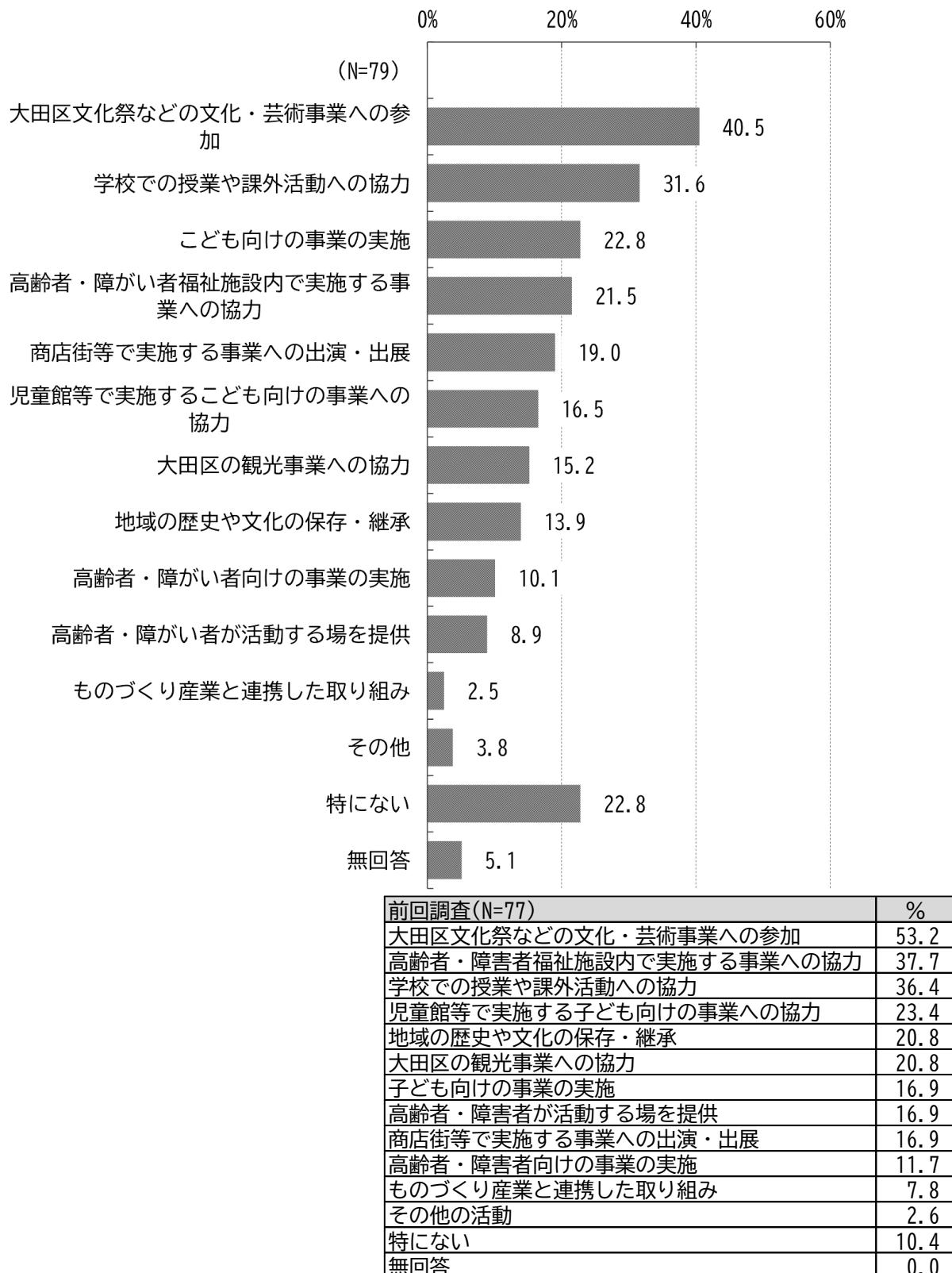
団体が区内で文化・芸術に関する活動をする上での充実度について、「練習や発表のための施設」は“充実していると考えている”が63.3%となっている一方で、「文化団体や活動のPR」、「講師等の人材の派遣」、「他団体とつながるための機会」はいずれも3割未満となっている。



前回調査(N=77)	①練習や発表のための施設	②文化団体や活動のPR	③講師等の人材の派遣	④他団体とつながるための機会	%
充実している	20.8	5.2	14.3	2.6	
どちらかというと充実している	41.6	20.8	9.1	19.5	
あまり充実していない	28.6	46.8	27.3	35.1	
わからない	6.5	19.5	39.0	36.4	
無回答	2.6	7.8	10.4	6.5	

問14 貴団体は、大田区の文化振興として、今後どのような活動をしてみたいですか。（○はいくつでも）※現在取り組んでいる活動も含めて回答してください。

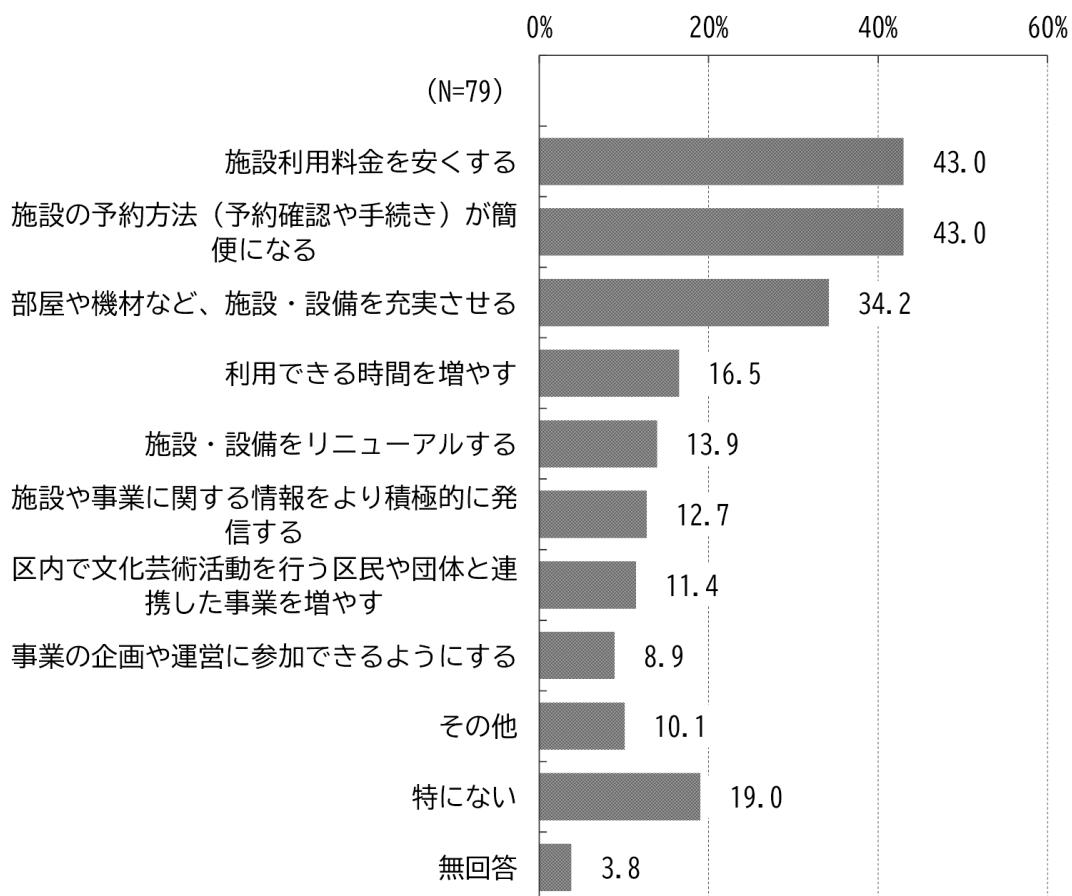
「大田区文化祭などの文化・芸術事業への参加」が40.5%と最も多く、次いで「学校での授業や課外活動への協力」が31.6%、「子ども向けの事業の実施」が22.8%となっている。



3. 区の文化施設や施策について

問15 貴団体が活動する上で、区の文化施設である大田区民プラザ、大田区民ホール・アリコ、大田文化の森が、どのような施設になるとよいと思いますか。（○はいくつでも）

「施設利用料金を安くする」「施設の予約方法（予約確認や手続き）が簡便になる」が43.0%と最も多く、次いで「部屋や機材など、施設・設備を充実させる」が34.2%となっている。

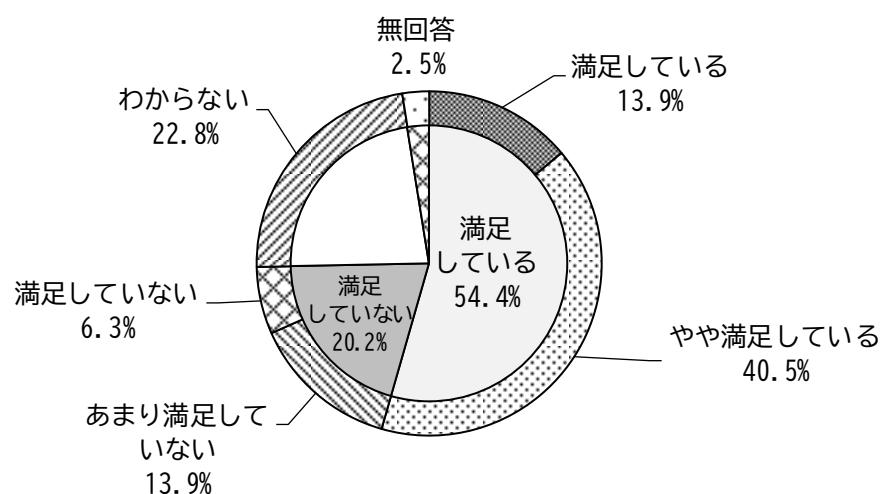


前回調査(N=77)	%
区民の施設利用料金を安くする	50.6
施設の予約方法（予約確認や手続き）が簡便になる	46.8
区民が利用できる時間を増やす	26.0
事業の参加費を安くする	24.7
部屋や機材など、施設・設備を充実させる	18.2
区内で文化芸術活動を行う区民や団体と連携した事業を増やす	16.9
施設や事業に関する情報をより積極的に発信する	14.3
施設・設備をリニューアルする	13.0
区民が事業の企画や運営に参加できるようにする	13.0
その他の事柄	7.8
特にない	16.9
無回答	1.3

問16 貴団体は、文化・芸術を鑑賞したり、活動する機会や文化資源の保存・整備など、大田区の文化的な環境に満足していますか。 (○は1つ)

「やや満足している」が40.5%と最も多く、次いで「わからない」が22.8%、「あまり満足していない」が13.9%となっている。

(N=79)



第5章 分析編

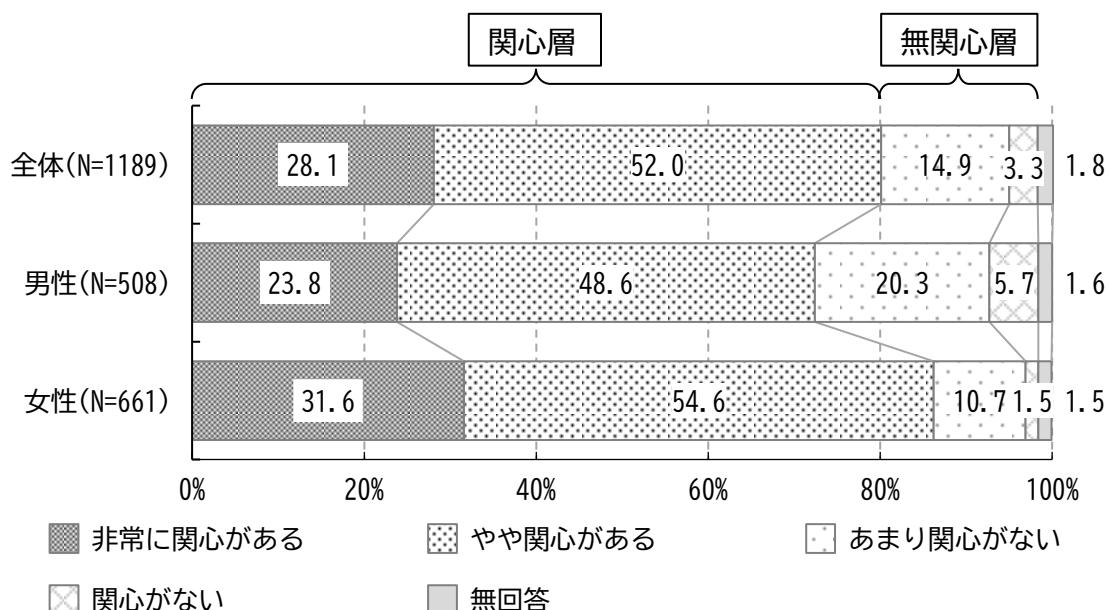
1. 性別・年代別等による分析

性別（問1）と年代別（問2）にわかる、文化芸術の鑑賞や活動状況、文化芸術のとらえ方等による違いを分析する。

（1）文化・芸術の関心度

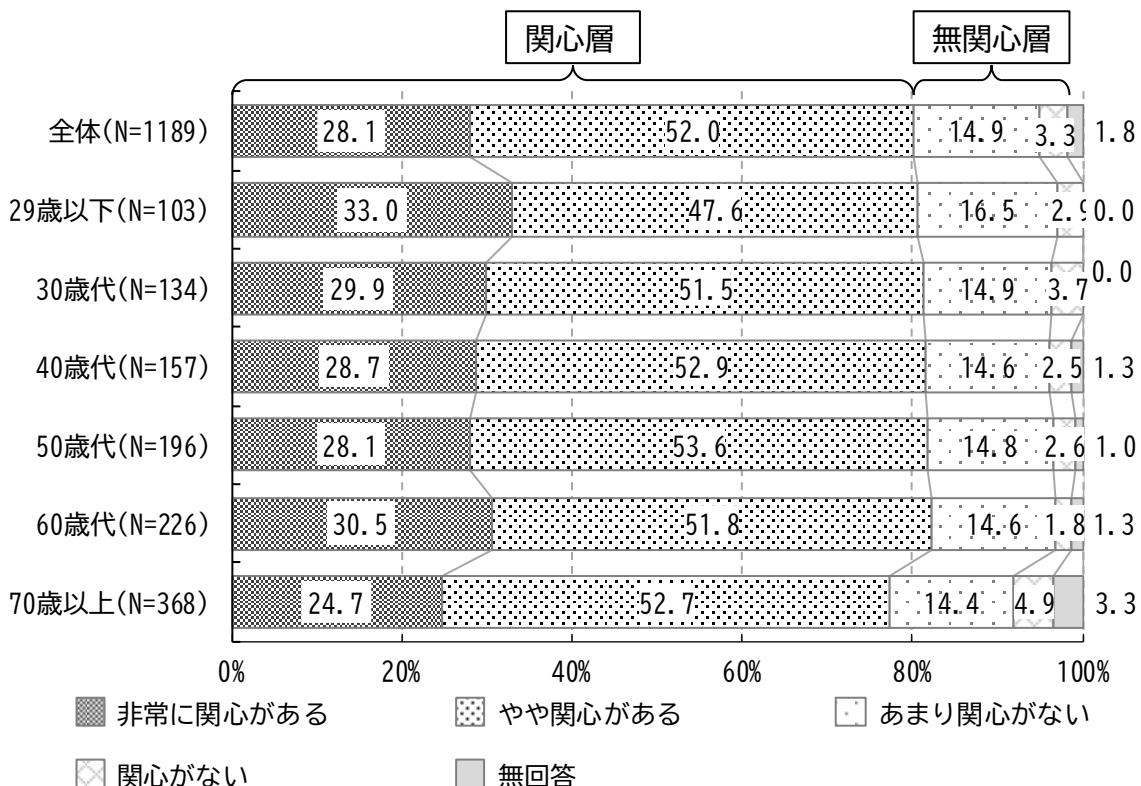
文化・芸術の関心について、性別でみると、男性よりも女性の関心が高くなっている。

問6 あなたは、文化・芸術に関心がありますか。 (○は1つ) × 問1 (性別)



年代別にみると、文化・芸術の関心について、「非常に関心がある」は29歳以下が最も高くなっている。“関心層”として、大きな違いは見られない。

問6 あなたは、文化・芸術に関心がありますか。（○は1つ） × 問2（年齢）



また、文化・芸術をどのように捉えているかについて、性別でみると、「生活や気持ちを豊かにする」ものなど、上位5項目で女性のポイントが高くなっている。年代別にみると、30歳代、40歳代で「教養や感性を高めてくれる」が高くなっている。

問7 あなたは、文化・芸術をどのように捉えていますか。（○はいくつでも） × 問1（性別）、問2（年齢）【上位5項目】

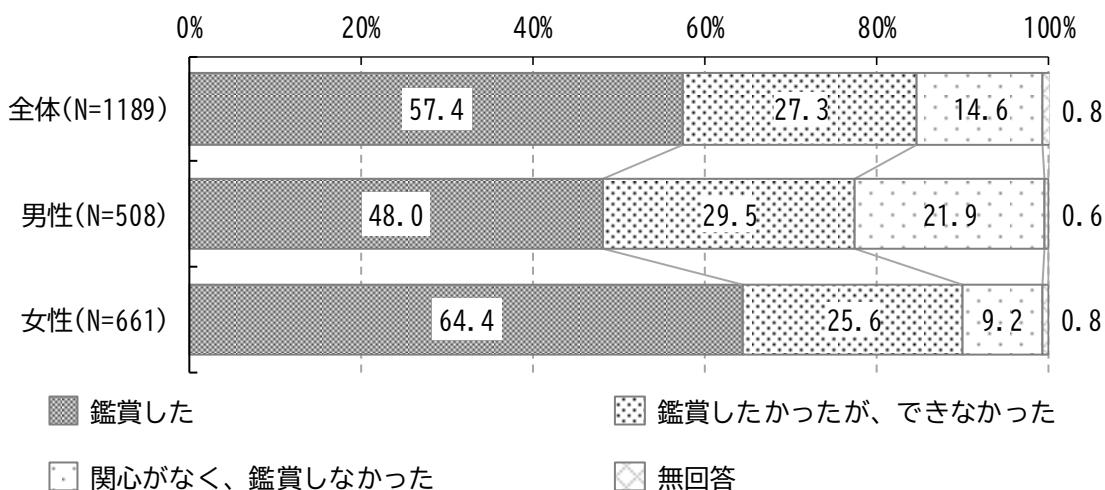
	N	1	2	3	4	5
		生活や気持ちを豊かにする	余暇・趣味として楽しむ	教養や感性を高めてくれる	見聞や視野を広げてくれる	友だち、仲間とのつながりを生む
全体	1189	76.2	65.3	56.3	49.6	34.4
男性	508	66.7	61.2	49.2	43.9	27.4
女性	661	83.5	69.1	62.2	54.2	39.6

	N	1	2	3	4	5
		生活や気持ちを豊かにする	余暇・趣味として楽しむ	教養や感性を高めてくれる	見聞や視野を広げてくれる	友だち、仲間とのつながりを生む
全体	1189	76.2	65.3	56.3	49.6	34.4
29歳以下	103	71.8	62.1	57.3	48.5	40.8
30歳代	134	78.4	71.6	69.4	51.5	34.3
40歳代	157	77.1	75.2	68.2	58.0	33.8
50歳代	196	78.6	67.3	64.8	51.5	28.1
60歳代	226	81.0	62.8	54.4	48.7	31.0
70歳以上	368	72.6	60.9	43.2	45.1	38.9

(2) 文化・芸術の鑑賞・活動

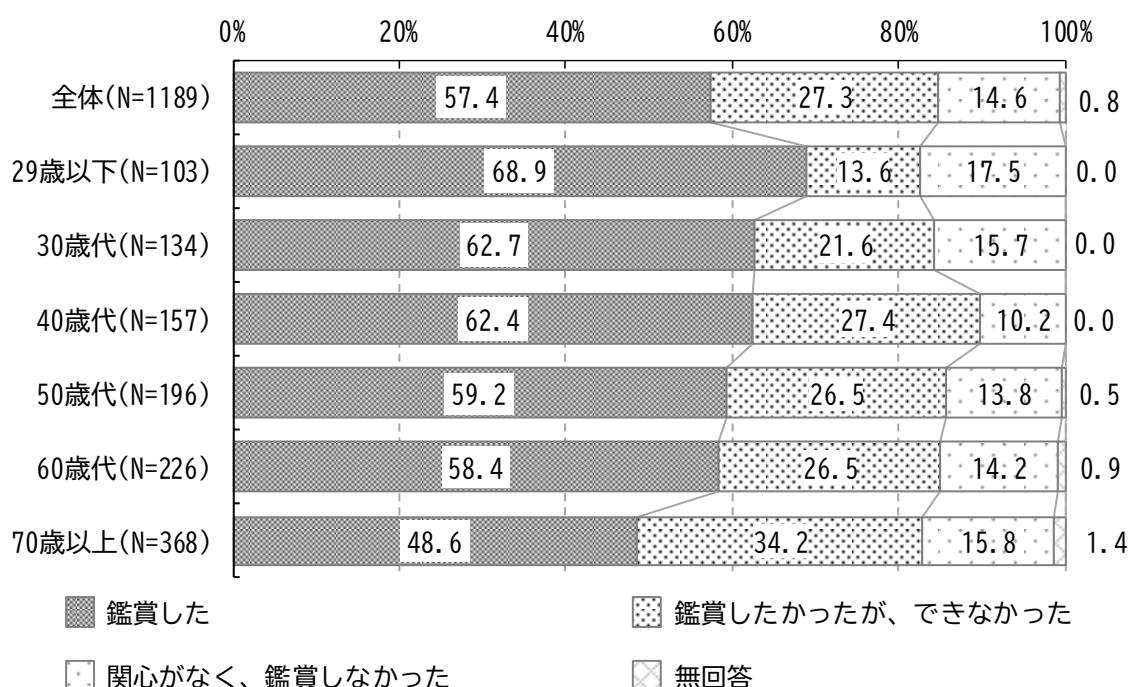
過去1年間の文化・芸術を鑑賞した割合について、性別でみると、文化・芸術の関心度と同じく、男性よりも女性の方が高くなっている。

問8 あなたは、過去1年間に文化施設で文化・芸術を鑑賞しましたか。（○は1つ） × 問1（性別）



年代別でみると、29歳以下が鑑賞した割合が最も高くなっている。70歳以上では、他の年代に比べて「鑑賞したかったが、できなかった」が高く、鑑賞のために利用したことのある施設・場所について、「区立の文化施設」が高くなっている。

問8 あなたは、過去1年間に文化施設で文化・芸術を鑑賞しましたか。（○は1つ） × 問2（年齢）



問8－1 鑑賞のために利用したことのある施設・場所をすべて選択してください。 (○はいくつでも) × 問2 (年齢)

	N	区立の文化施設	区内にある民間の文化施設・場所	区外の文化施設・場所	無回答
全体	682	48.4	9.4	73.3	1.5
29歳以下	71	36.6	11.3	87.3	1.4
30歳代	84	28.6	11.9	82.1	2.4
40歳代	98	41.8	13.3	78.6	-
50歳代	116	36.2	7.8	84.5	0.9
60歳代	132	47.0	7.6	72.7	3.0
70歳以上	179	74.9	7.3	54.7	1.1

鑑賞のために利用したことのある施設・場所について、居住年数別にみると、居住年数が長いほど、「区立の文化施設」が高くなっている。

問8－1 鑑賞のために利用したことのある施設・場所をすべて選択してください。 (○はいくつでも) × 問4 (居住年数)

	N	区立の文化施設	区内にある民間の文化施設・場所	区外の文化施設・場所	無回答
全体	682	48.4	9.4	73.3	1.5
1年未満	25	20.0	4.0	88.0	8.0
1年以上、3年未満	44	15.9	4.5	90.9	2.3
3年以上、5年未満	32	25.0	9.4	84.4	3.1
5年以上、10年未満	75	45.3	12.0	77.3	-
10年以上、20年未満	111	52.3	9.9	69.4	1.8
20年以上、30年未満	120	49.2	9.2	75.8	1.7
30年以上	274	58.0	9.5	67.5	0.7

文化・芸術を鑑賞しなかった理由について、年代別にみると、29歳以下で「仕事・学業などで時間が取れない」が半数以上と高くなっています、「情報を知る機会がない」、「何を鑑賞してよいのかわからない」などの情報に関することも高くなっています。30歳代、40歳代では、他の年代に比べ「仕事・学業などで時間が取れない」に加え、「育児・介護などで時間が取れない」も高くなっています。

問8-3 文化・芸術を鑑賞しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） × 問2（年齢）

N	1	2	3	4	5	6	7	
	仕事・学業などで時間が取れない	情報を知る機会がない	催しの時間帯に合わない	テレビやDVD、スマートフォンなどインターネット等による鑑賞で十分である	関心のある催しがない	経済的な余裕がない	健康上、鑑賞に岡かけすることが難しい	
全体	498	28.5	25.9	19.5	19.5	17.3	15.5	14.9
29歳以下	32	56.3	40.6	18.8	18.8	25.0	12.5	-
30歳代	50	40.0	28.0	22.0	14.0	24.0	14.0	4.0
40歳代	59	35.6	23.7	22.0	13.6	13.6	18.6	6.8
50歳代	79	41.8	20.3	20.3	19.0	17.7	25.3	7.6
60歳代	92	30.4	30.4	19.6	20.7	23.9	12.0	9.8
70歳以上	184	11.4	23.9	17.9	22.3	11.4	13.0	28.3
	8	9	10	11	12	13	14	15
	身近に鑑賞できる場所がない	育児・介護などで時間が取れない	感染症の影響で外出等を控えていたため	一緒に鑑賞する仲間がない	何を鑑賞してよいのかわからない	交通アクセスや施設のバリアフリーなどが不十分である	その他	無回答
全体	11.8	11.2	9.6	8.2	7.6	3.2	3.8	4.6
29歳以下	6.3	6.3	-	12.5	15.6	-	-	-
30歳代	8.0	42.0	4.0	4.0	10.0	2.0	4.0	-
40歳代	13.6	23.7	1.7	3.4	8.5	1.7	6.8	6.8
50歳代	8.9	8.9	8.9	6.3	8.9	2.5	1.3	5.1
60歳代	8.7	3.3	8.7	12.0	7.6	3.3	3.3	5.4
70歳以上	16.3	4.9	15.8	9.2	4.9	4.9	4.9	5.4

文化・芸術を鑑賞しなかった理由について、職業別にみると、パート・アルバイトでは、他の職業よりも「催しの時間帯に合わない」「経済的な余裕がない」が高くなっている。

問8-3 文化・芸術を鑑賞しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） × 問5（職業）

	1	2	3	4	5	6	7	8
	N	仕事・学業などで時間が取れない	情報を知る機会がない	催しの時間帯に合わない	テレビやDVD、スマートフォンなどインターネットによる鑑賞で十分である	関心のある催しがない	経済的な余裕がない	健康上、鑑賞に出かけることが難しい
全体	498	28.5	25.9	19.5	19.5	17.3	15.5	14.9
会社員（役員を含む）・公務員・団体職員	175	50.9	28.0	22.9	16.6	20.6	9.7	1.1
パート・アルバイト	79	39.2	24.1	27.8	22.8	15.2	27.8	7.6
自営業	40	25.0	25.0	20.0	10.0	15.0	10.0	12.5
芸術家（実演家含む）	-	-	-	-	-	-	-	-
専業主婦・主夫	63	1.6	15.9	15.9	19.0	15.9	11.1	31.7
学生	6	83.3	66.7	-	16.7	33.3	16.7	-
無職	125	0.8	28.0	12.0	23.2	15.2	16.8	30.4
その他	8	37.5	25.0	25.0	37.5	-	50.0	37.5
	9	10	11	12	13	14	15	16
	身近に鑑賞できる場所がない	育児・介護などで時間が取れない	感染症の影響で外出等を控えていたため	一緒に鑑賞する仲間がない	何を鑑賞してよいのかわからない	交通アクセスや施設のパリアフリーなどが不十分である	その他	無回答
全体	11.8	11.2	9.6	8.2	7.6	3.2	3.8	4.6
会社員（役員を含む）・公務員・団体職員	9.7	14.9	3.4	8.6	8.6	1.1	5.1	2.9
パート・アルバイト	7.6	15.2	8.9	6.3	8.9	-	2.5	6.3
自営業	12.5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	2.5	12.5
芸術家（実演家含む）	-	-	-	-	-	-	-	-
専業主婦・主夫	12.7	12.7	25.4	6.3	7.9	3.2	4.8	3.2
学生	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-
無職	16.0	4.8	13.6	12.0	7.2	8.0	3.2	4.8
その他	25.0	12.5	-	-	-	-	-	-

文化・芸術を活動方法について、性別でみると、男性は女性に比べて、「個人で」の活動が高く、「教室に通う」「イベント（ワークショップも含む）への参加」は低くなっている。

問9-2 あなたは、その活動をどのように行っていますか。（○はいくつでも） × 問1（性別）

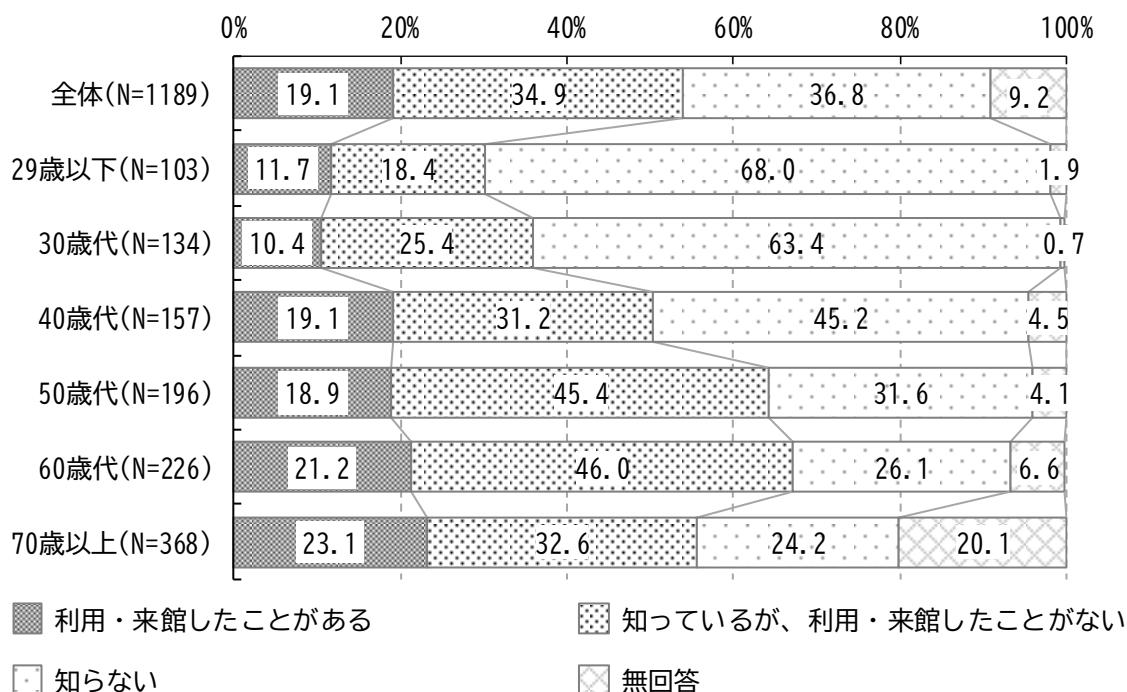
	N	個人で	グループや 団体に所属	教室に通う	イベント (ワーク ショップも 含む)への 参加	オンライン 形式	その他	無回答
全体	200	34.0	37.0	22.0	8.5	1.5	3.0	26.5
男性	62	40.3	40.3	11.3	3.2	1.6	3.2	29.0
女性	133	30.8	35.3	26.3	10.5	1.5	3.0	24.8

(3) 区の文化施設の利用・認知度

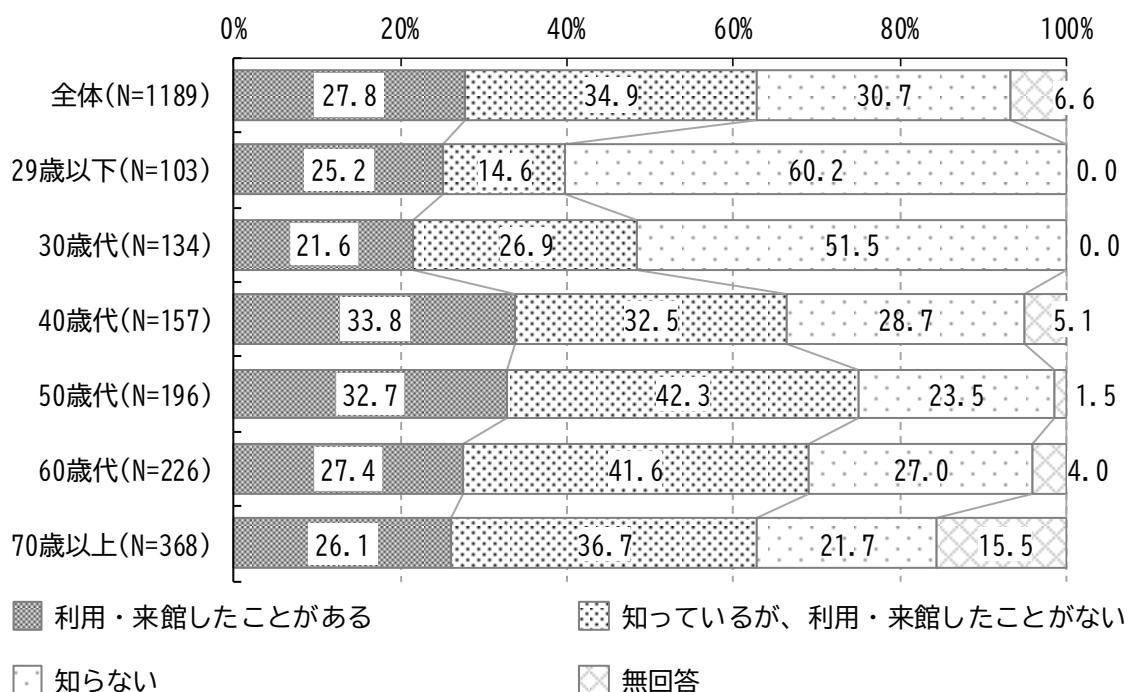
文化・芸術に関する区内の施設の使用経験や認知度について、年代別にみると、いずれの施設においても 29 歳以下、30 歳代は他の年代に比べて「利用・来館したことがある」が低くなっている。

問 10 あなたは、次の①～⑩の区内の施設を知っていますか。（各施設について○は1つ）

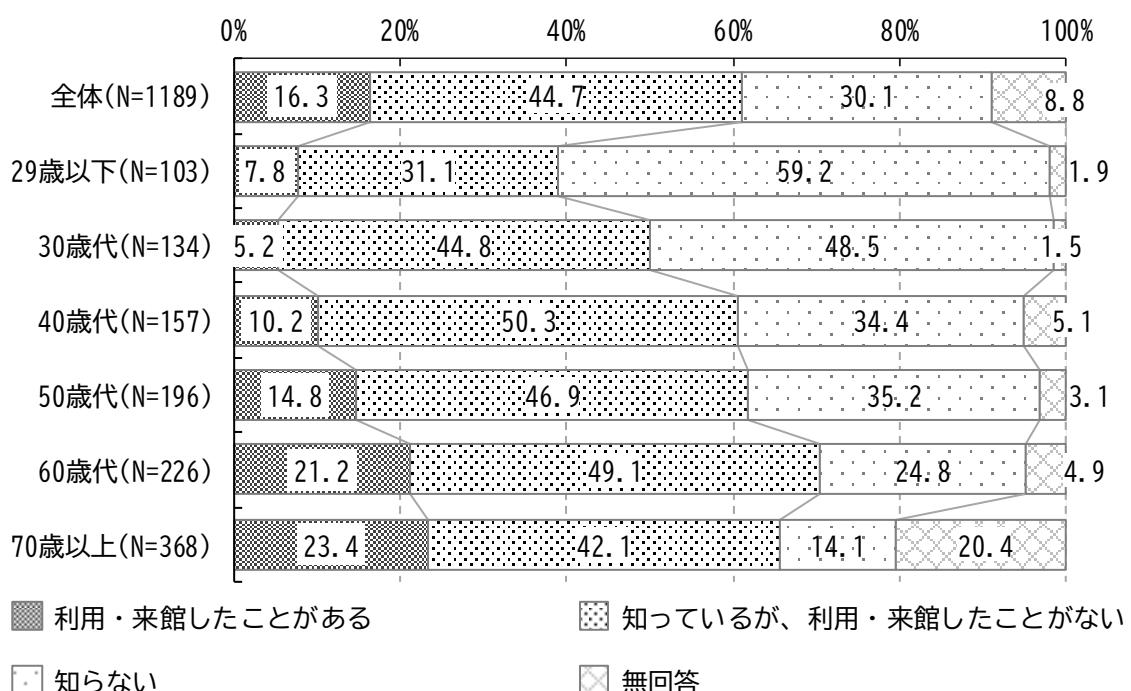
①郷土博物館 × 問 2 (年齢)



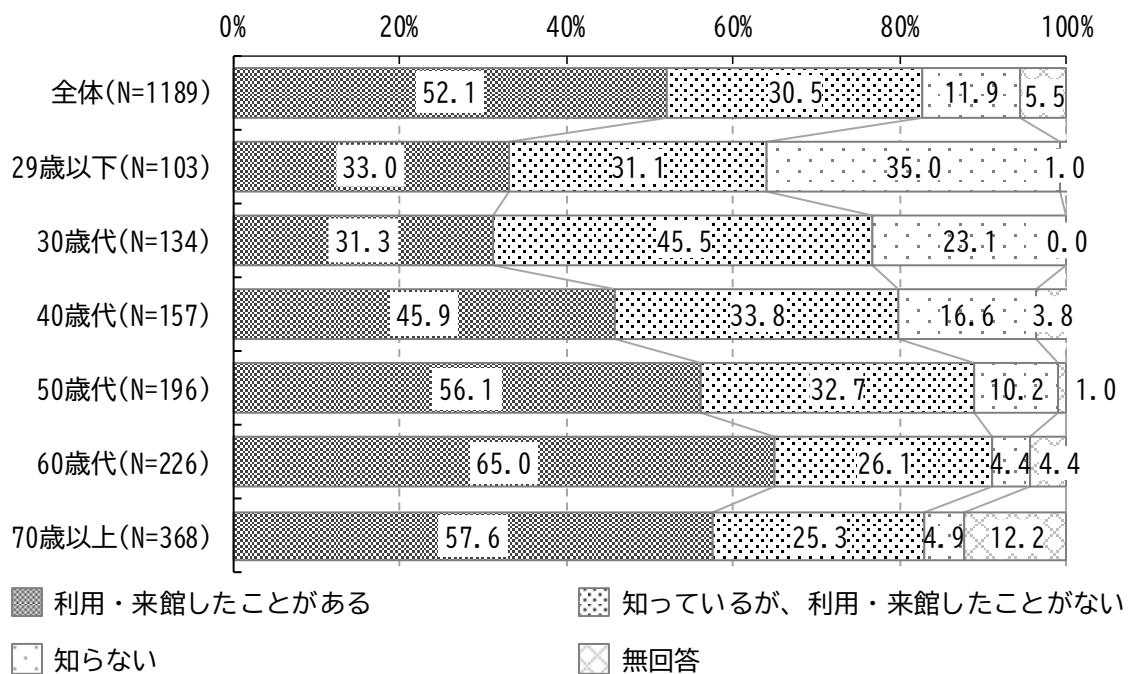
問10 ②大森 海苔のふるさと館 × 問2 (年齢)



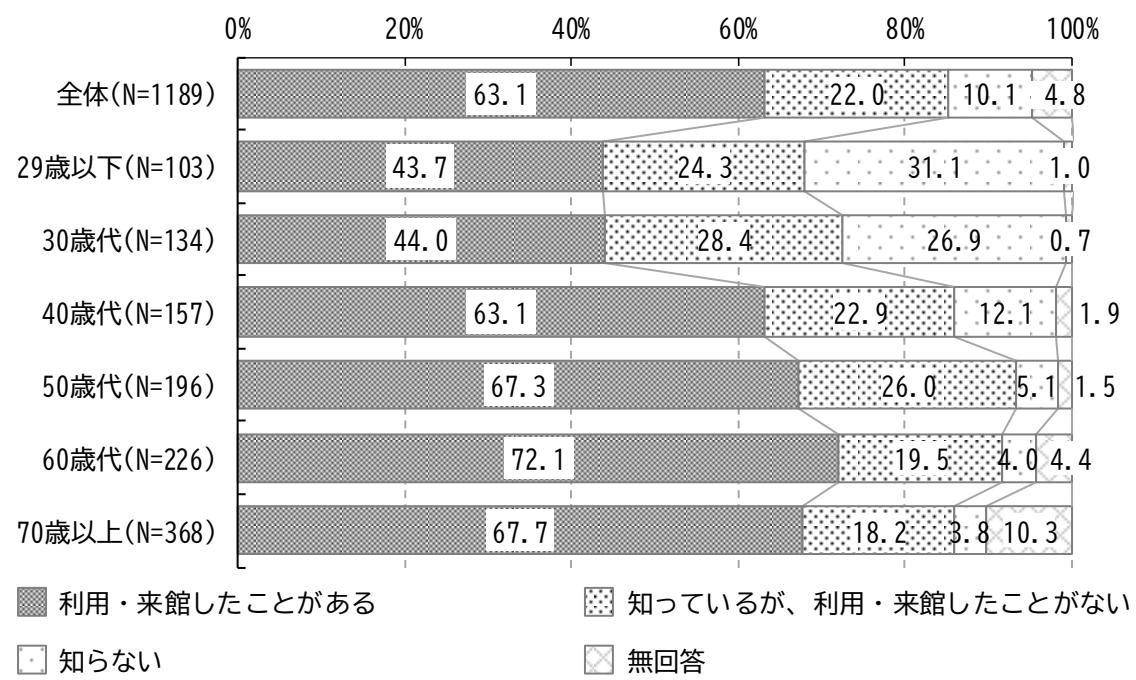
問10 ③勝海舟記念館 × 問2 (年齢)



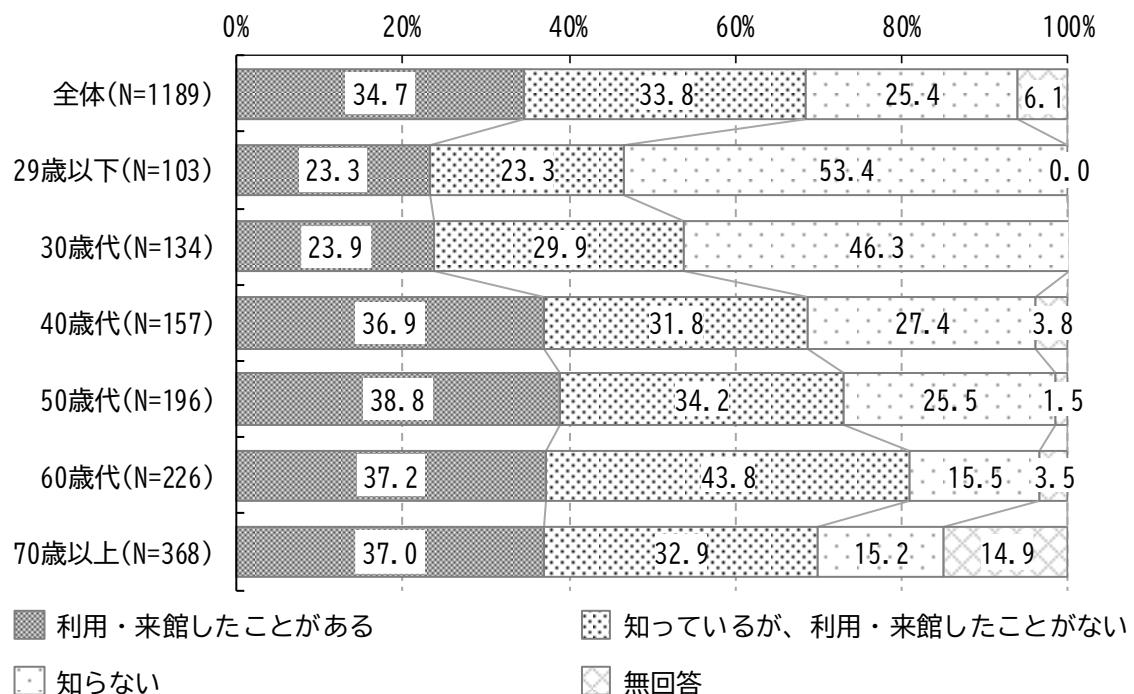
問10 ④大田区民プラザ × 問2 (年齢)



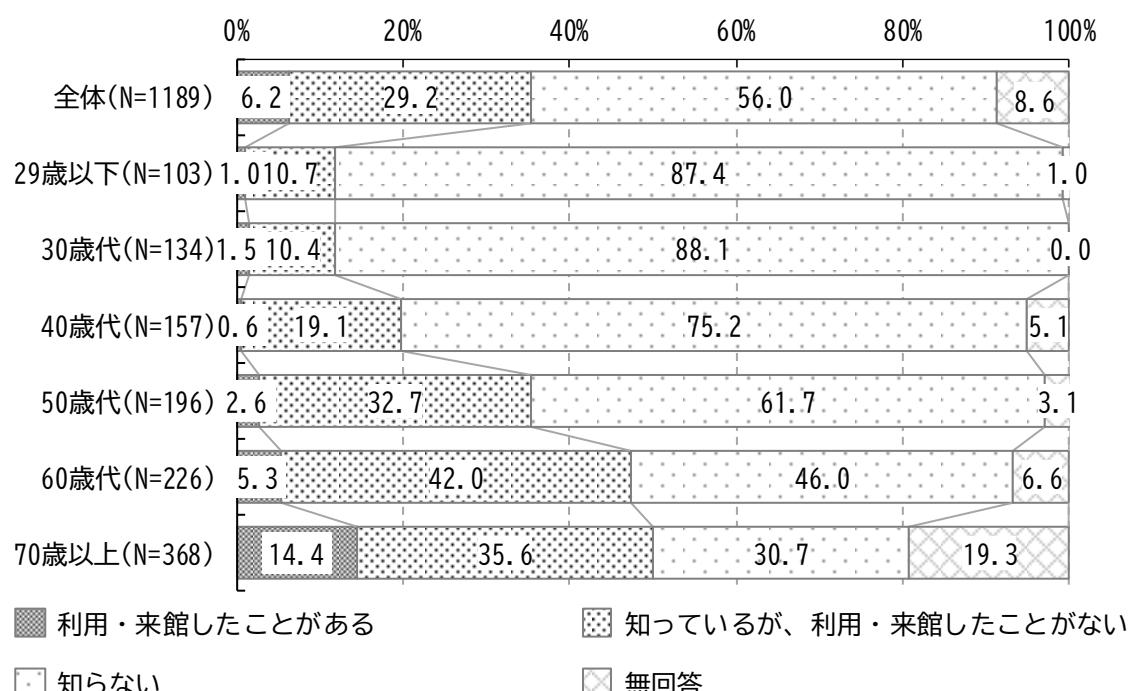
問10 ⑤大田区民ホール・アプリコ × 問2 (年齢)



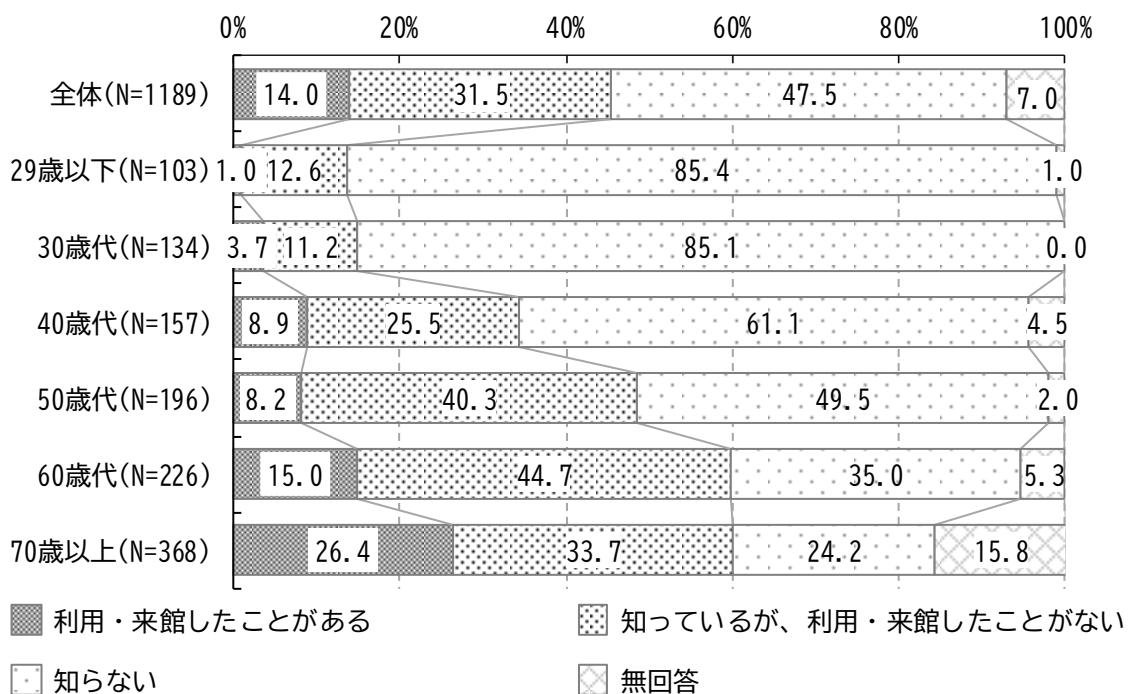
問10 ⑥大田文化の森 × 問2 (年齢)



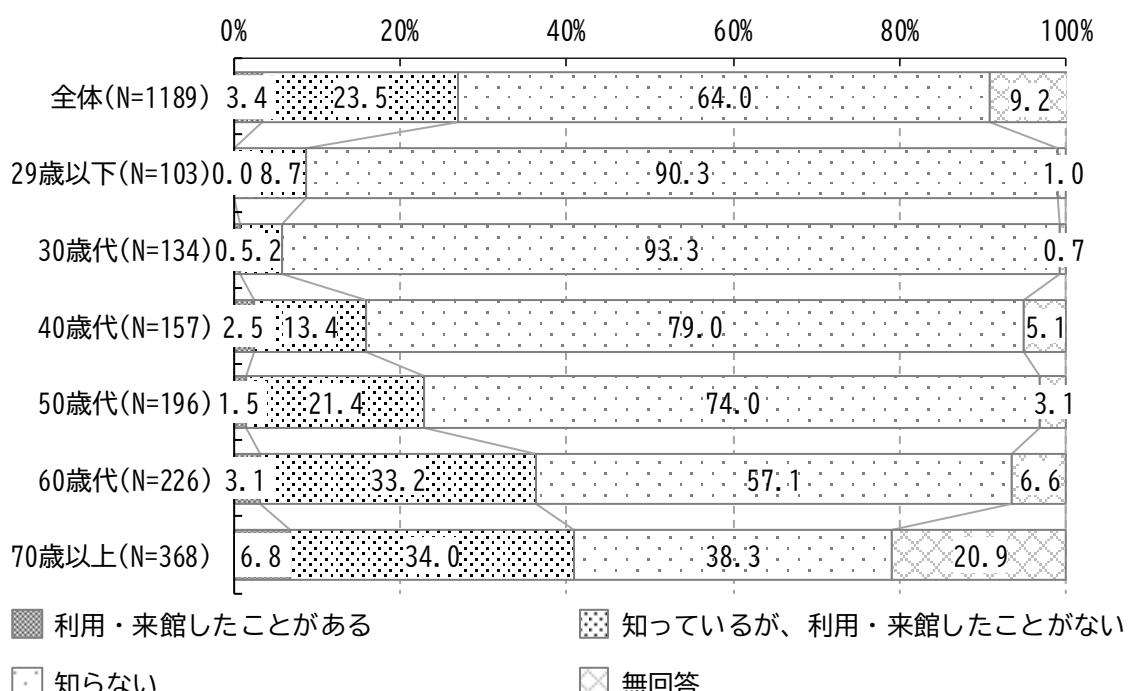
問10 ⑦熊谷恒子記念館 × 問2 (年齢)



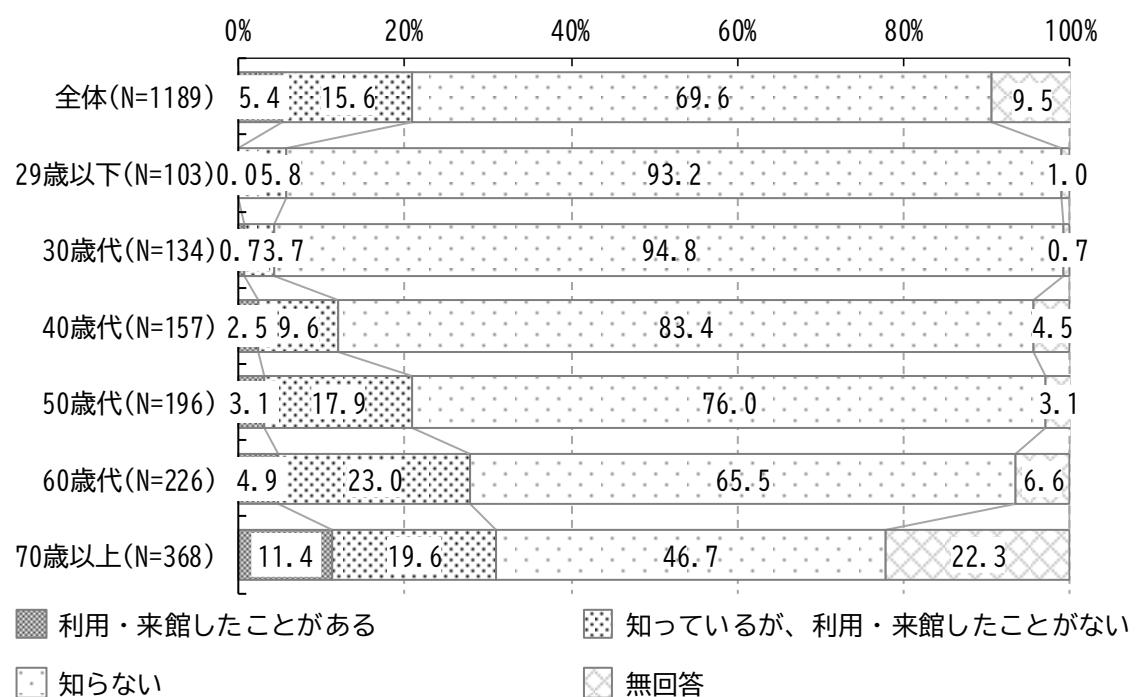
問10 ⑧龍子記念館 × 問2（年齢）



問10 ⑨尾崎士郎記念館 × 問2（年齢）



問10 ⑩山王草堂記念館 × 問2（年齢）



区内で鑑賞や活動する機会や場について、もっと充実させてほしい分野を年代別にみると、「クラシック音楽」は50歳代で高くなっている。「ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック」は50歳代、60歳代で他の年代に比べて高くなっている。「美術」は60歳代で高くなっている。「映像」は30歳代、40歳代、50歳代で高くなっている。「演劇」は30歳代、40歳代で高くなっている。「デザイン」「サブカルチャー」は29歳以下、30歳代、40歳代で高くなっている。

問11 区内で鑑賞や活動する機会や場について、もっと充実させてほしい分野を選んでください。
(○はいくつでも) ※分類は問6-1と同様 × 問2(年齢)

N		1	2	3	4	5	6
	文芸	クラシック音楽	ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック	合唱、歌唱	美術	写真	
全体	1189	7.0	25.1	32.3	9.7	23.4	12.9
29歳以下	103	7.8	20.4	36.9	12.6	15.5	16.5
30歳代	134	3.7	26.1	32.8	9.7	25.4	17.2
40歳代	157	5.7	26.8	25.5	7.6	24.2	12.1
50歳代	196	8.7	30.6	37.8	8.7	27.6	10.7
60歳代	226	6.2	22.6	38.9	9.3	30.1	14.2
70歳以上	368	8.2	24.2	26.9	10.6	18.5	11.1
	7	8	9	10	11	12	13
	映像	演劇	舞踊	生活文化	伝統芸能	その他の演芸	デザイン
全体	28.8	24.6	10.1	16.8	12.0	6.9	9.6
29歳以下	33.0	26.2	8.7	18.4	7.8	7.8	16.5
30歳代	50.0	33.6	12.7	14.2	10.4	6.7	16.4
40歳代	36.9	35.0	14.0	17.8	11.5	6.4	17.8
50歳代	33.7	26.5	12.2	17.3	16.8	10.7	10.7
60歳代	26.1	25.7	10.6	19.9	15.5	8.0	8.4
70歳以上	15.2	14.4	6.3	14.4	9.5	4.3	1.6
	14	15	16	17	18	19	
	歴史的な街並み、文化財、遺跡	サブカルチャー	郷土芸能、地域の祭り	伝統工芸	その他	無回答	
全体	25.5	13.5	16.5	10.3	4.6	6.3	
29歳以下	18.4	23.3	10.7	5.8	4.9	1.0	
30歳代	20.1	27.6	14.9	9.0	6.0	-	
40歳代	24.2	20.4	20.4	10.2	5.1	1.9	
50歳代	24.0	16.8	17.9	13.3	3.1	1.5	
60歳代	27.4	10.6	16.4	13.3	6.2	6.2	
70歳以上	29.3	2.7	16.6	9.0	3.8	14.7	

(4) 区の文化・芸術を振興していくために重要なものの

大田区が文化・芸術を振興していくために、特に重要だと思うものについて、年代別にみると、30歳代、40歳代では「子どもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出」が他の年代に比べ高くなっている。

問13 大田区が文化・芸術を振興していくために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。
(○はいくつでも) × 問2 (年齢)

		1	2	3	4	5	6
	N	子どもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出	区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充	文化拠点施設を通じて、文化活動の場を広く区民に提供	地域の文化・芸術の育成と展示等による区民への発信	文化の持つ力を教育や福祉など様々な分野への活用	区民の自主的な文化活動の積極的な支援
全体	1189	52.6	48.1	36.9	24.3	23.4	17.5
29歳以下	103	51.5	42.7	30.1	19.4	17.5	15.5
30歳代	134	72.4	52.2	27.6	24.6	24.6	21.6
40歳代	157	64.3	56.7	33.1	19.1	22.3	14.0
50歳代	196	54.1	52.0	35.2	21.4	27.6	13.8
60歳代	226	45.6	50.4	42.9	30.1	18.1	19.5
70歳以上	368	44.0	40.5	40.8	25.8	26.1	18.5
		7	8	9	10	11	12
	多様な文化活動の担い手をコーディネートする専門人材の育成・確保	様々な団体とのネットワークの構築と区内文化団体の情報収集・発信	地域文化資源の保全・活用、潜在する地域文化資源の掘り起こし	文化活動に関する相談窓口の充実	わからない	無回答	
全体	17.2	17.0	14.6	9.7	12.6	2.3	
29歳以下	13.6	26.2	8.7	10.7	14.6	-	
30歳代	18.7	17.9	17.2	12.7	9.7	0.7	
40歳代	16.6	13.4	10.8	5.7	7.6	0.6	
50歳代	18.4	22.4	16.3	10.7	14.3	0.5	
60歳代	19.9	21.2	15.0	12.4	11.1	0.4	
70歳以上	15.5	10.1	15.8	7.9	15.5	6.3	

(5) 区が文化・芸術施策に力を入れることで期待する変化

区が文化・芸術施策に力を入れることで期待する変化として、29歳以下と40歳代では、「多様な価値観があることに気づく」が他の年代に比べ高くなっている。30歳代、40歳代では「子どもの心の豊かさや創造性が伸びる」が他の年代に比べ高くなっている。40歳代、50歳代では「まちのイメージがよくなる」が他の年代に比べ高くなっている。

問14 あなたは、大田区が文化・芸術施策に力を入れることで、人やまち、地域がどのように変化することを期待しますか。（○はいくつでも） × 問2（年齢）

N		1	2	3	4	5	6	7	8
	子どもの心の豊かさや創造性が伸びる	地域に対する愛着が生まれる	区民が地域の歴史・文化を知る	地域コミュニティが活発になる	まちのイメージがよくなる	外出の機会が増える	多様な価値観があることに気づく	誰もが参加できる環境がより充実する	
全体	1189	48.6	45.9	43.2	43.0	36.8	31.4	29.9	28.8
29歳以下	103	42.7	39.8	33.0	42.7	27.2	22.3	41.7	20.4
30歳代	134	64.2	49.3	38.8	40.3	40.3	34.3	32.1	31.3
40歳代	157	61.1	51.0	40.8	47.1	44.6	31.8	40.8	26.8
50歳代	196	48.0	45.4	46.4	41.8	44.4	28.1	27.6	24.5
60歳代	226	41.6	47.3	45.1	46.0	38.9	29.2	26.1	30.5
70歳以上	368	44.0	42.9	46.2	40.8	28.8	35.3	25.0	32.6
ものづくり・工業と連携し、付加価値が高まる	9	10	11	12	13	14	15	16	
	生きがいいにつながる	地域の商業・経済が活性化する	観光客や移住者が増える	その他	期待することはない	わからない	無回答		
全体	28.7	26.6	26.2	12.2	1.1	1.3	6.8	1.3	
29歳以下	19.4	22.3	17.5	14.6	-	1.0	4.9	-	
30歳代	27.6	26.1	26.1	18.7	1.5	2.2	6.0	0.7	
40歳代	26.1	28.0	29.3	16.6	2.5	1.3	3.2	1.3	
50歳代	29.1	24.5	29.6	13.8	1.5	1.5	7.1	-	
60歳代	32.3	27.4	26.1	10.6	0.4	1.3	8.4	0.4	
70歳以上	30.4	27.7	25.3	7.6	0.5	1.1	8.2	3.3	

(6) こどもが文化・芸術に親しむための取り組みへの期待

こどもが文化・芸術にもっと親しむようになるために、区に期待する取り組みとして、年代別にみると、30歳代、40歳代では、「こども向けの鑑賞・体験できる機会を充実させる」「親子で一緒に鑑賞・体験できる機会をつくる」が他の年代に比べ高くなっている。30歳代では、「学校での授業を充実させる」が他の年代に比べ高くなっている。

一方で、29歳以下で「質の高い文化・芸術に触れる機会を充実させる」が他の年代に比べ低くなっている。

問15 こどもが文化・芸術にもっと親しむようになるために、あなたは大田区にどのような取り組みを期待しますか。（○はいくつでも） × 問2（年齢）

N		1	2	3	4	5	6	7	8
	こども向けの鑑賞・体験できる機会を充実させる	親子で一緒に鑑賞・体験できる機会をつくる	こどもの創造性を引き出す機会をつくる	質の高い文化・芸術に触れる機会を充実させる	低料金で参加できる事業を行う	わかりやすく情報を伝える	学校での授業を充実させる	地域の歴史や文化財に親しむ機会をつくる	
全体	1189	61.5	50.5	41.2	38.2	36.6	34.1	31.9	31.6
29歳以下	103	57.3	48.5	38.8	28.2	33.0	31.1	36.9	23.3
30歳代	134	73.1	77.6	49.3	37.3	38.1	32.8	46.3	23.9
40歳代	157	72.0	61.8	47.1	40.1	38.2	26.8	37.6	22.3
50歳代	196	62.8	43.9	40.3	38.8	34.2	33.2	37.2	30.6
60歳代	226	59.7	48.7	38.9	43.8	41.6	35.4	26.5	35.0
70歳以上	368	54.3	41.6	38.3	36.7	34.2	38.9	23.1	39.1
	8	9	10	11	12	13	14	15	
地域の歴史や文化財に親しむ機会をつくる	こどもが地域で活躍できる発表などの機会をつくる	身近な施設や場所で事業を行う	児童館等で文化・芸術に関するプログラムを充実させる	親の興味・関心を引くような情報提供を行う	その他	特にない	無回答		
全体	31.6	29.4	27.6	21.1	19.6	2.1	5.9	2.1	
29歳以下	23.3	25.2	20.4	18.4	24.3	1.9	6.8	-	
30歳代	23.9	38.8	27.6	26.1	29.1	1.5	3.7	0.7	
40歳代	22.3	36.9	33.8	19.1	22.9	1.3	1.9	0.6	
50歳代	30.6	25.0	29.1	23.0	18.9	2.0	7.7	1.0	
60歳代	35.0	27.4	28.8	22.1	19.0	2.7	7.1	0.9	
70歳以上	39.1	27.4	25.3	19.3	14.4	2.4	6.5	5.2	

2. 鑑賞・活動による分析

文化・芸術の関心の有無（問6）や過去1年間における文化施設での文化・芸術鑑賞の有無（問8）、過去1年間に文化施設で文化・芸術を鑑賞（問9）から関心・鑑賞・活動による違いに視点を置いた分析を行っている。

（1）文化・芸術の鑑賞・活動

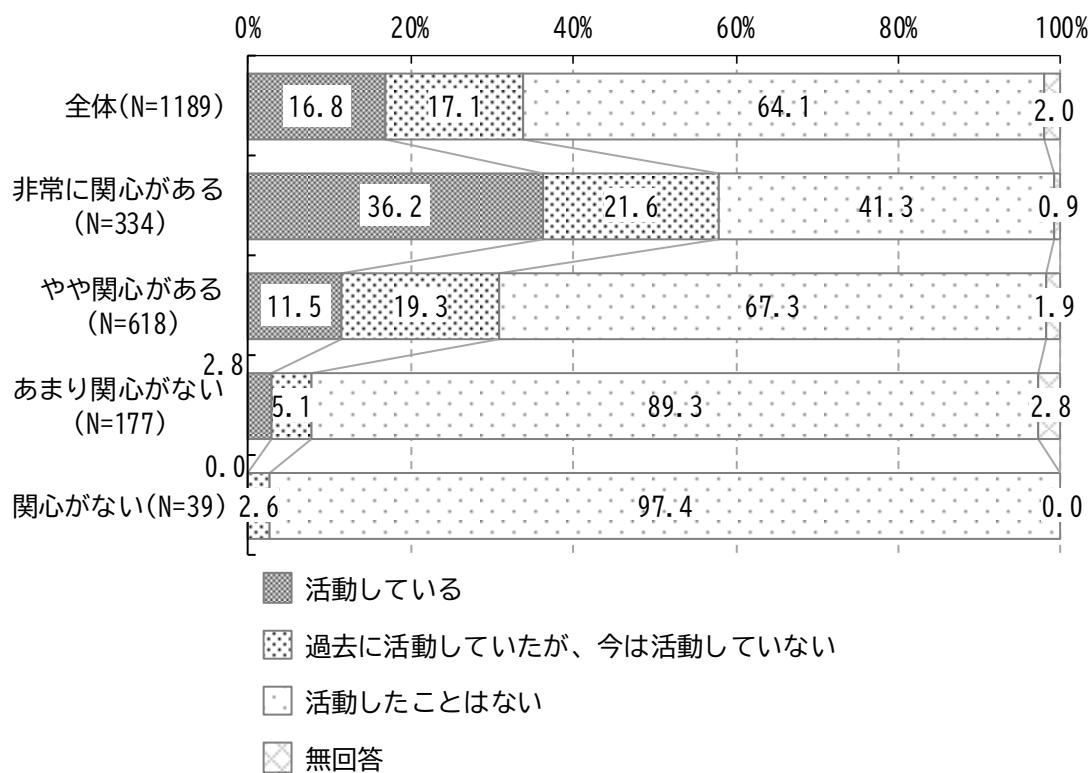
鑑賞のために利用したことのある施設・場所について、文化・芸術活動の有無でみると、文化芸術の活動経験があるほど、「区内の文化施設」の利用率が高い傾向が見られます。

問8-1 鑑賞のために利用したことのある施設・場所をすべて選択してください。 (○はいくつでも) × 問9 (文化・芸術活動の有無)

	N	区立の文化施設	区内にある民間の文化施設・場所	区外の文化施設・場所	無回答
全体	682	48.4	9.4	73.3	1.5
活動している	173	65.3	10.4	72.3	2.3
過去に活動していたが、今は活動していない	128	51.6	10.2	76.6	-
活動したことない	370	38.1	8.1	74.1	1.6

文化・芸術に関する活動について、文化芸術に非常に関心がある人ほど活動している。

問9 あなたは、職業としてではなく、文化・芸術に関する活動を行っていますか。 (○は1つ)
× 問6 (文化・芸術の関心の有無)



現在取り組んでいる活動を、より充実させるために必要なことについて、練習や発表などの場所や機会の充実度別にみると、“充実していないと考えている層”は、“充実していないと回答している層”に比べて「活動場所」が高くなっています。他に「活動資金」や「発表する場や機会の充実」にも差が見られます。

問9-3 あなたが現在取り組んでいる活動を、より充実させるために必要なことは何ですか。
(○はいくつでも) ×問9-4 場所や機会の充実度

	N	1 活動場所	2 一緒に活動する仲間	3 発表する場や機会の充実	4 活動資金	5 指導者との出会い	6 区立施設の予約手続きのしやすさ
全体	200	38.5	35.0	26.5	23.0	21.0	20.5
充実していると考えている層	102	30.4	32.4	21.6	18.6	16.7	19.6
充実していないと考えている層	90	51.1	38.9	33.3	28.9	24.4	23.3
	7 活動をPR・周知すること	8 他の団体・グループとの交流	9 子育てや介護環境の整備	10 その他	11 特にない	12 無回答	
全体	17.0	7.5	3.0	2.5	16.0	3.0	
充実していると考えている層	17.6	7.8	4.9	3.9	19.6	3.9	
充実していないと考えている層	17.8	6.7	1.1	1.1	11.1	1.1	

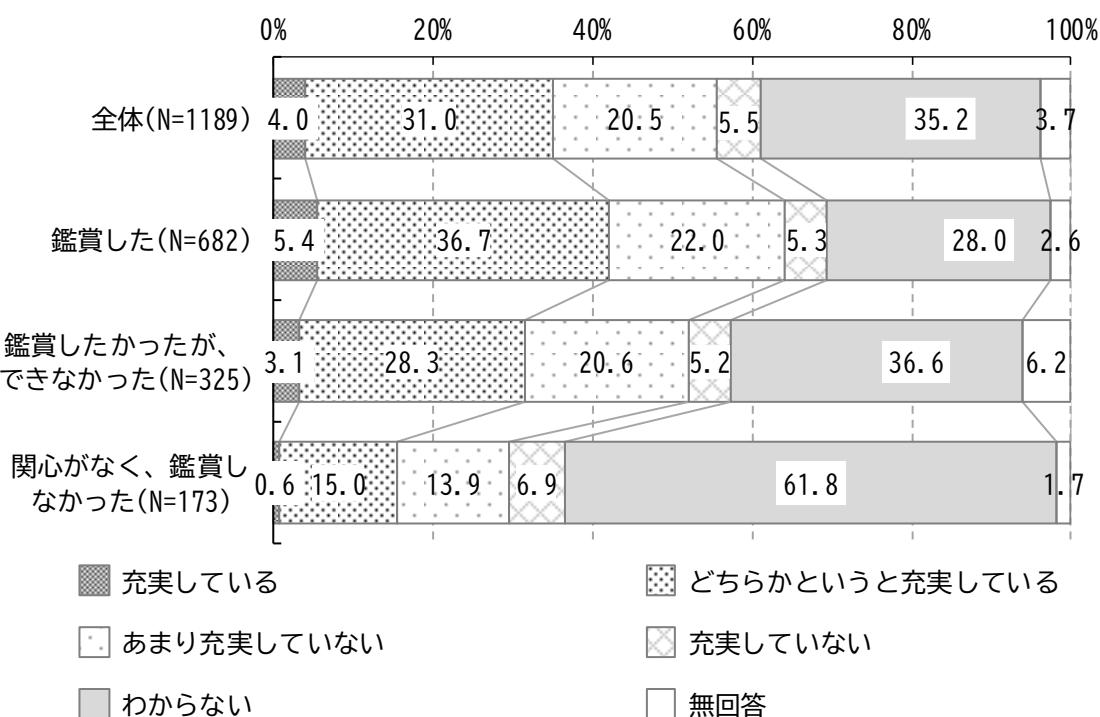
(2) 区の文化の保存継承や魅力発信の取り組みの充実度

地域の様々な文化を保存・継承し、区の魅力として発信する取り組みの充実度について、「①区にゆかりのある人物や歴史、文化に触れる機会」、「②区内の有形無形の文化財や歴史的な建造物の保存・公開・継承事業」、「③区内の伝統工芸、ものづくり技術、工業技術の区内外へのPR」のいずれも鑑賞した人の方が、充実度が高くなっている。

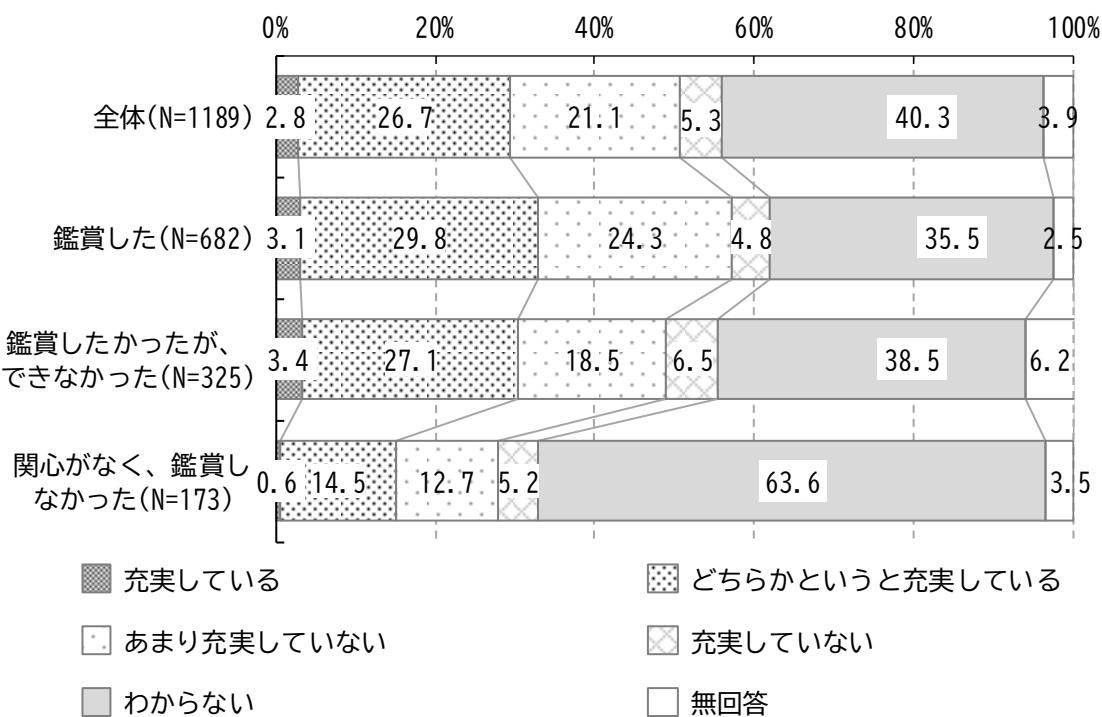
また、文化・芸術活動の有無の視点から見ても、活動をしている人の方が、「①区にゆかりのある人物や歴史、文化に触れる機会」、「②区内の有形無形の文化財や歴史的な建造物の保存・公開・継承事業」の充実度が高くなっている。

問12 大田区では、地域の様々な文化を保存・継承し、区の魅力として発信する取り組みを行っています。あなたは、次の①～③の取り組みについて、充実していると思いますか。（各取り組みについて○を1つ）

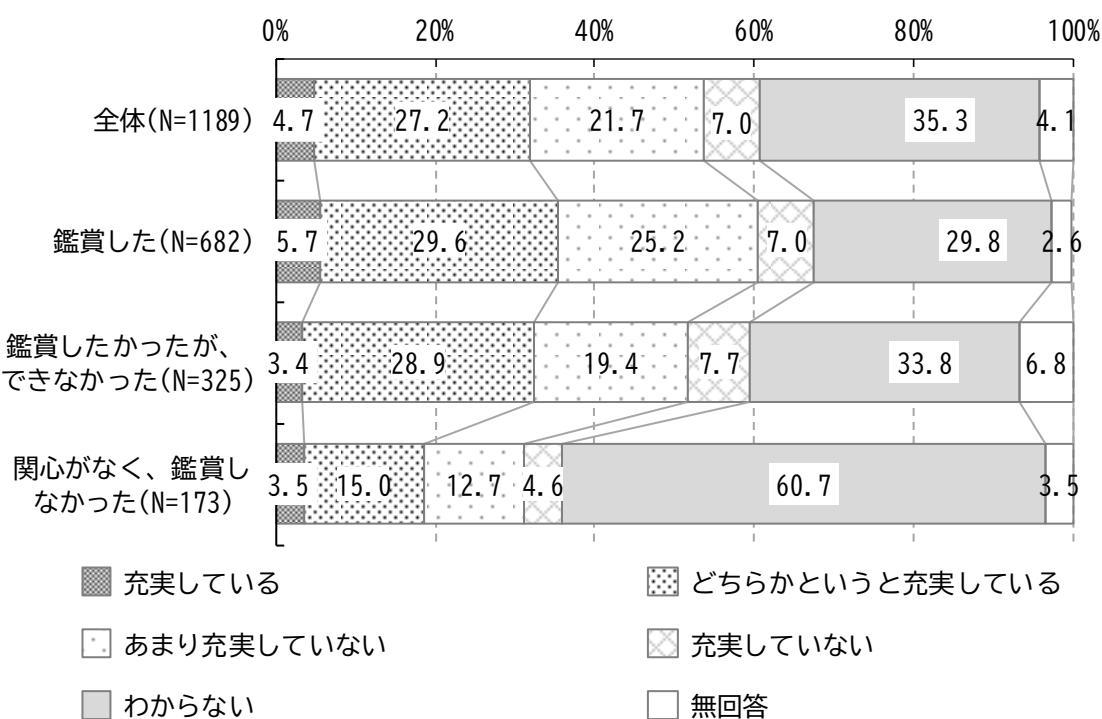
①区にゆかりのある人物や歴史、文化に触れる機会 × 問8（文化・芸術鑑賞の有無）



問12 ②区内の有形無形の文化財や歴史的な建造物の保存・公開・継承事業 × 問8（文化・芸術鑑賞の有無）

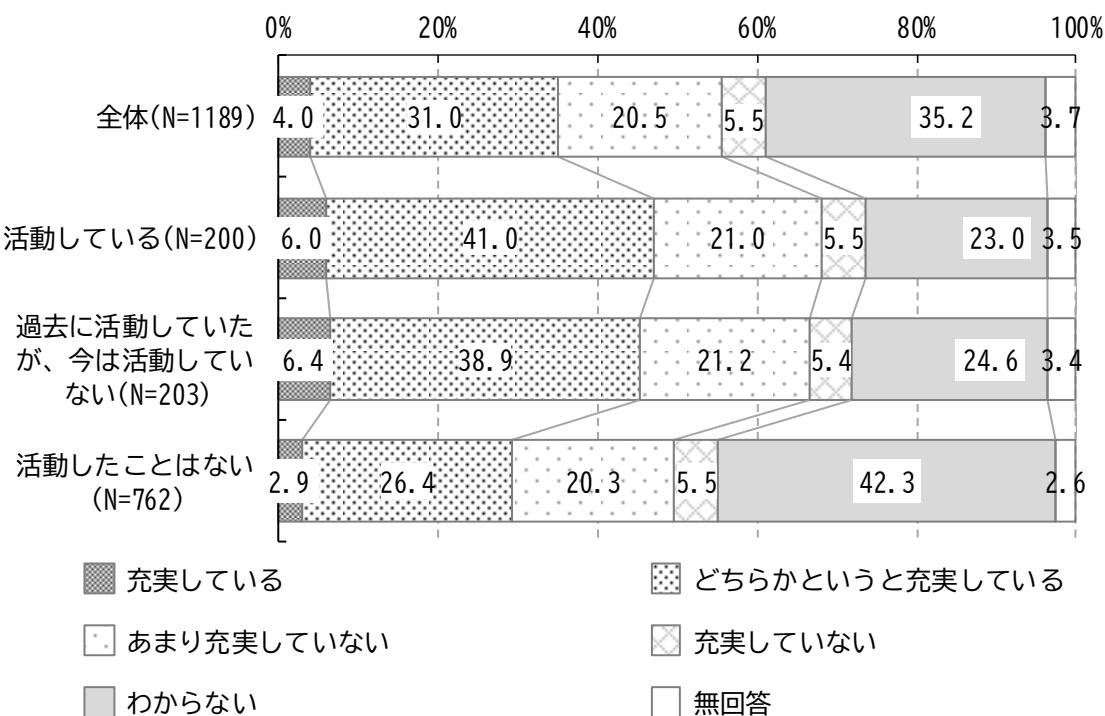


問12 ③区内の伝統工芸、ものづくり技術、工業技術の区内外へのPR × 問8（文化・芸術鑑賞の有無）

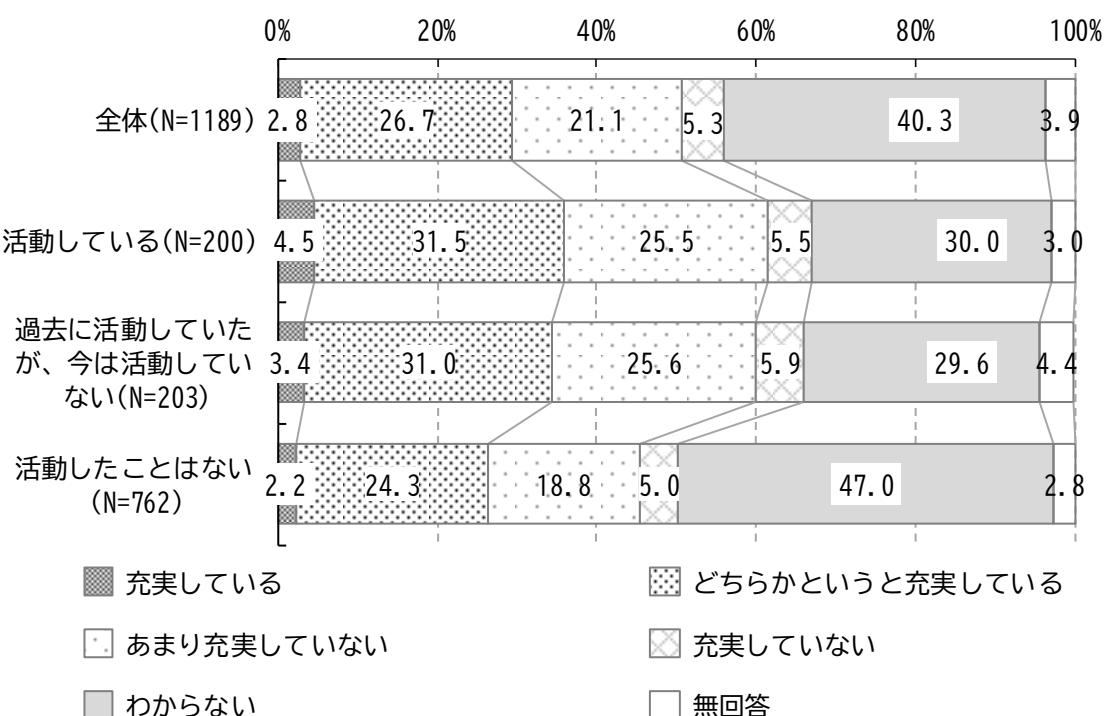


問12 大田区では、地域の様々な文化を保存・継承し、区の魅力として発信する取り組みを行っています。あなたは、次の①～③の取り組みについて、充実していると思いますか。（各取り組みについて○を1つ）

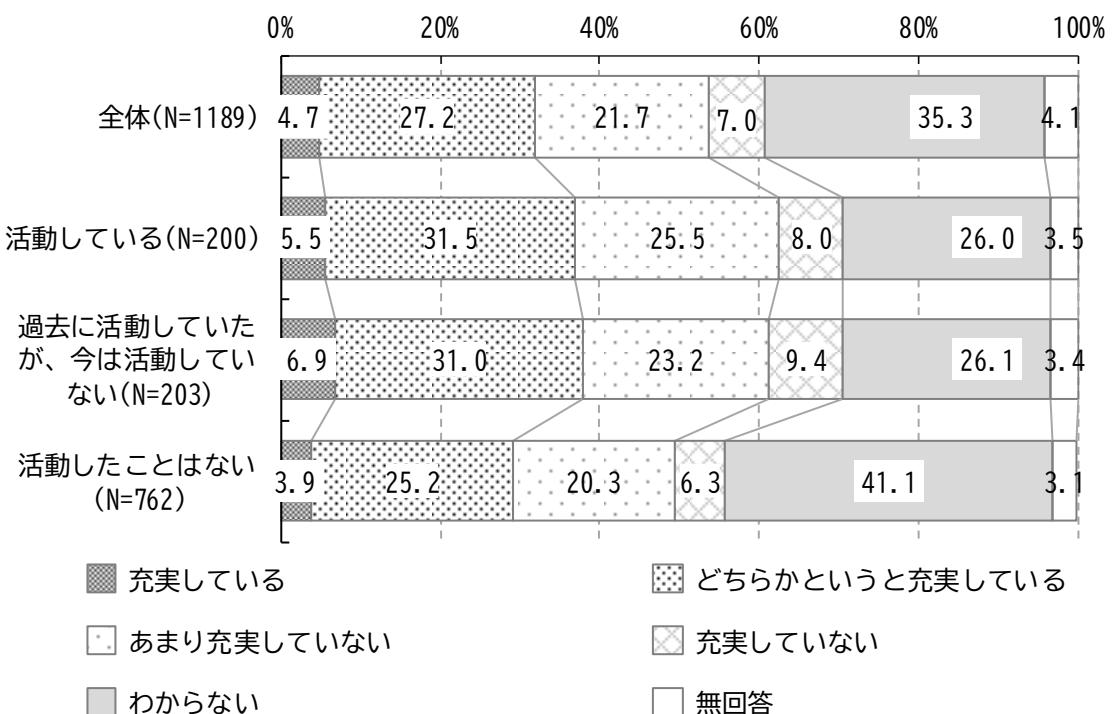
①区にゆかりのある人物や歴史、文化に触れる機会 × 問9（文化・芸術活動の有無）



問12 ②区内の有形無形の文化財や歴史的な建造物の保存・公開・継承事業 × 問9（文化・芸術活動の有無）



問12 ③区内の伝統工芸、ものづくり技術、工業技術の区内外へのPR × 問9（文化・芸術活動の有無）



(3) 区の文化・芸術を振興していくために重要なものの

文化・芸術の関心の有無（問6）や文化芸術鑑賞の有無（問8）に基づき、文化・芸術へ関心度や鑑賞行動の違いから回答者の属性を分類して分析する。

区の文化・芸術を振興していくために重要なものについて、文化・芸術に関心があり、鑑賞した層は、他の層と比べ「区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充」「こどもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出」が高くなっている。

問13 大田区が文化・芸術を振興していくために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。
(○はいくつでも) × 問6・問8（関心・鑑賞の有無）

			1	2	3	4	5	6
	N	こどもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出	区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充	文化拠点施設を通じて、文化活動の場を広く区民に提供	地域の文化・芸術の育成と展示等による区民への発信	文化の持つ力を教育や福祉など様々な分野への活用	区民の自主的な文化活動の積極的な支援	
	全体	1189	52.6	48.1	36.9	24.3	23.4	17.5
関心層	区立施設で鑑賞した	310	60.3	61.6	45.2	30.3	27.7	24.2
	区立施設以外で鑑賞した	314	60.2	57.6	39.8	24.2	23.6	16.2
	直接鑑賞したかったが、できなかった	274	49.3	47.8	41.2	29.2	25.5	19.0
	直接鑑賞は関心がなく、鑑賞しなかった	54	33.3	25.9	24.1	18.5	13.0	9.3
無関心層	直接鑑賞した	49	46.9	28.6	18.4	10.2	20.4	8.2
	直接鑑賞していない	164	37.8	17.7	17.7	9.8	13.4	8.5
		7	8	9	10	11	12	
		様々な団体とのネットワークの構築と区内文化団体の情報収集・発信	多様な文化活動の担い手をコーディネートする専門人材の育成・確保	地域文化資源の保全・活用、潜在する地域文化資源の掘り起こし	文化活動に関する相談窓口の充実	わからない	無回答	
	全体	17.2	17.0	14.6	12.6	9.7	2.3	
関心層	区立施設で鑑賞した	18.1	22.3	18.1	11.9	5.5	1.3	
	区立施設以外で鑑賞した	18.8	18.2	14.6	9.2	5.4	1.0	
	直接鑑賞したかったが、できなかった	17.2	17.2	15.7	10.6	10.6	3.6	
	直接鑑賞は関心がなく、鑑賞しなかった	18.5	9.3	9.3	9.3	16.7	3.7	
無関心層	直接鑑賞した	14.3	10.2	12.2	4.1	26.5	6.1	
	直接鑑賞していない	9.1	6.7	7.9	6.1	38.4	0.6	

区の文化・芸術を振興していくために重要なものについて、文化・芸術活動を活動している層は、他の層と比べ「区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充」「子どもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出」が高くなっている。

問13 大田区が文化・芸術を振興していくために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。
(○はいくつでも) × 問9 (文化・芸術活動の有無)

		1	2	3	4	5	6
	N	文化拠点施設を通じて、文化活動の場を広く区民に提供	区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充	子どもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出	地域の文化・芸術の育成と展示等による区民への発信	区民の自主的な文化活動の積極的な支援	様々な団体とのネットワークの構築と区内文化団体の情報収集・発信
全体	1189	36.9	48.1	52.6	24.3	17.5	17.0
活動している	200	50.5	64.5	57.5	32.0	29.0	19.5
過去に活動していたが、今は活動していない	203	36.9	54.2	61.1	29.1	22.7	18.7
活動したことはない	762	33.6	42.7	49.9	21.1	13.5	15.7

	7	8	9	10	11	12
	多様な文化活動の担い手をコーディネートする専門人材の育成・確保	文化活動に関する相談窓口の充実	地域文化資源の保全・活用、潜在する地域文化資源の掘り起こし	文化の持つ力を教育や福祉など様々な分野への活用	わからない	無回答
全体	17.2	9.7	14.6	23.4	12.6	2.3
活動している	24.0	12.0	18.5	27.5	4.0	0.5
過去に活動していたが、今は活動していない	21.7	13.3	16.7	29.1	7.4	2.0
活動したことはない	14.0	8.3	13.0	20.6	16.3	1.7

(4) 区が文化・芸術施策に力を入れることで期待する変化

区が文化・芸術施策に力を入れることで期待する変化として、文化・芸術に関心があり、区立施設で鑑賞した層からは、「子どもの心の豊かさや創造性が伸びる」「区民が地域の歴史・文化を知る」「生きがいにつながる」が他の層に比べて高くなっている。

問14 あなたは、大田区が文化・芸術施策に力を入れることで、人やまち、地域がどのように変化することを期待しますか。 (○はいくつでも) × 問6・問8 (関心・鑑賞の有無)

		N	1 子どもの心 の豊かさや 創造性が伸 びる	2 地域に対す る愛着が生 まれる	3 区民が地域 の歴史・文 化を知る	4 地域コミュ ニティが活 発になる	5 まちのイ メージがよ くなる	6 外出の機会 が増える	7 多様な価値 観があるこ とに気づく	8 誰もが参加 できる環境 がより充実 する
全体		1189	48.6	45.9	43.2	43.0	36.8	31.4	29.9	28.8
関心層	区立施設で鑑賞した	310	61.6	55.8	54.5	51.0	40.6	39.0	33.9	37.1
	区立施設以外で鑑賞した	314	55.7	51.6	43.6	42.7	43.6	36.0	37.9	27.4
	直接鑑賞したかったが、 できなかった	274	43.1	43.1	48.2	47.4	33.9	28.8	31.4	33.6
	直接鑑賞は関心がなく、 鑑賞しなかった	54	29.6	35.2	29.6	27.8	18.5	18.5	16.7	22.2
無関心層	直接鑑賞した	49	38.8	40.8	26.5	40.8	16.3	22.4	12.2	16.3
	直接鑑賞していない	164	28.7	24.4	22.0	26.8	31.1	18.3	12.8	12.8
		9 ものづくり・工業と 連携し、付 加価値が高 まる	10 生きがいに つながる	11 地域の商 業・経済が 活性化する	12 観光客や移 住者が増え る	13 その他	14 期待するこ とはない	15 わからない	16 無回答	
全体		28.7	26.6	26.2	12.2	1.0	1.4	7.0	1.1	
関心層	区立施設で鑑賞した	32.6	36.8	27.1	12.3	1.9	-	1.9	1.6	
	区立施設以外で鑑賞した	25.8	28.3	27.7	15.3	0.6	0.6	3.5	0.3	
	直接鑑賞したかったが、 できなかった	35.8	25.5	29.2	12.8	0.7	1.1	3.3	1.8	
	直接鑑賞は関心がなく、 鑑賞しなかった	25.9	20.4	13.0	7.4	-	1.9	11.1	1.9	
無関心層	直接鑑賞した	14.3	12.2	18.4	8.2	2.0	6.1	12.2	2.0	
	直接鑑賞していない	16.5	11.6	20.7	7.9	0.6	4.3	26.2	-	

区が文化・芸術施策に力を入れることで期待する変化として、活動している層からは、「子どもの心の豊かさや創造性が伸びる」「生きがいにつながる」が他の層に比べて高くなっている。

問14 あなたは、大田区が文化・芸術施策に力を入れることで、人やまち、地域がどのように変化することを期待しますか。（○はいくつでも） × 問9（文化・芸術活動の有無）

N	1	2	3	4	5	6	7	8	
	地域コミュニティが活発になる	地域に対する愛着が生まれる	区民が地域の歴史・文化を知る	多様な価値観があることに気づく	誰もが参加できる環境がより充実する	子どもの心の豊かさや創造性が伸びる	まちのイメージがよくなる	地域の商業・経済が活性化する	
全体	1189	43.0	45.9	43.2	29.9	28.8	48.6	36.8	26.2
活動している	200	53.0	55.5	51.5	39.0	38.5	59.0	42.0	27.5
過去に活動していたが、今は活動していない	203	46.3	52.7	50.2	35.5	40.4	59.1	41.4	30.5
活動したことない	762	40.3	42.0	39.6	26.4	23.5	43.7	34.9	24.8

ものづくり・工業と連携し、付加価値が高まる	9	10	11	12	13	14	15	16
	観光客や移住者が増える	生きがいにつながる	外出の機会が増える	その他	期待することはない	わからない	無回答	
全体	28.7	12.2	26.6	31.4	1.1	1.3	6.8	1.3
活動している	30.0	12.5	43.0	40.0	1.5	-	1.0	1.5
過去に活動していたが、今は活動していない	31.5	12.8	35.0	34.0	1.5	2.0	1.5	1.5
活動したことない	27.4	12.1	20.3	28.7	0.9	1.6	9.6	0.5

(5) 子どもの文化・芸術に関する鑑賞や体験・活動の有無

18歳未満のお子さんがいる方に、子どもの園や学校の授業、課外活動又は部活動以外の過去1年間に文化・芸術の鑑賞や体験、又は文化・芸術に関する活動について聞いたところ、回答者自身が鑑賞している方が子どもの鑑賞した割合も高くなっている、回答者自身が区立施設で鑑賞している方が「習い事をした」、「ワークショップに参加した」、「自分で作品を制作するなど、創作活動をした」などの活動した割合も高くなっている。

問16-1 あなたのお子さんは、園や学校の授業、課外活動又は部活動以外で、過去1年間に文化・芸術の鑑賞や体験、又は文化・芸術に関する活動をしましたか。（○はいくつでも） ×
 問6・問8（関心・鑑賞の有無）

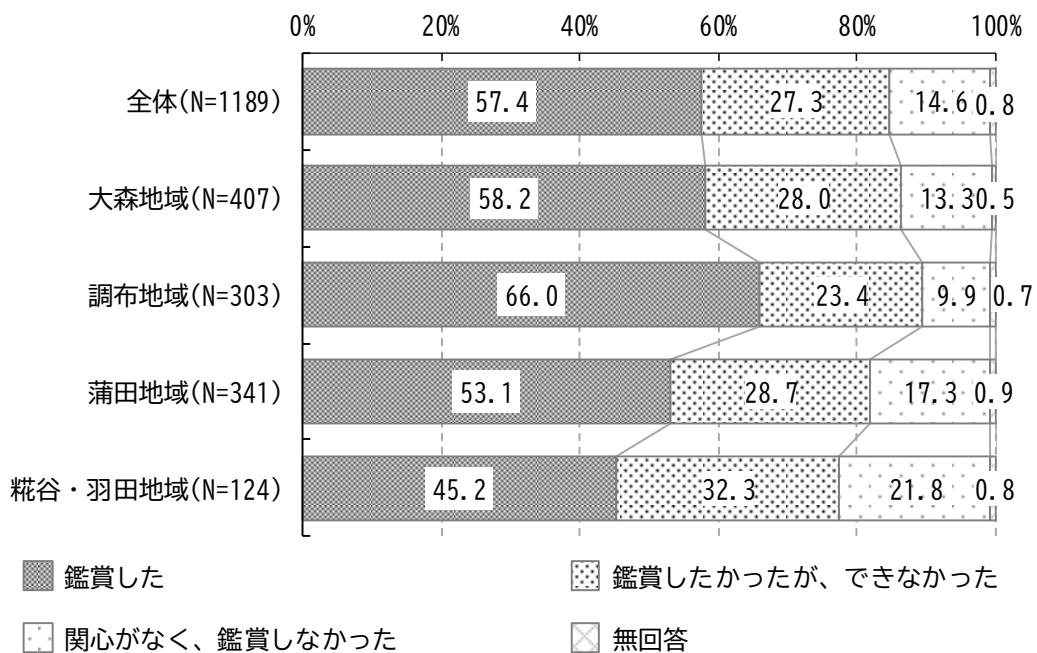
		N	鑑賞した	習い事をした	ワーク ショップに 参加した	自分で作品 を制作する など、創作 活動をした	鑑賞・体 験・活動を してほしい が、やって いない	鑑賞・体 験・活動は していない	わからない	無回答
	全体	212	42.9	23.6	19.8	18.9	10.4	20.8	8.5	0.9
関心層	区立施設で鑑賞した	65	58.5	33.8	32.3	27.7	12.3	6.2	3.1	1.5
	区立施設以外で鑑賞した	55	49.1	16.4	16.4	20.0	12.7	18.2	3.6	-
	直接鑑賞したかったが、 できなかった	37	35.1	16.2	24.3	10.8	8.1	35.1	2.7	-
	直接鑑賞は関心がなく、 鑑賞しなかった	6	16.7	33.3	-	-	33.3	16.7	16.7	-
無関心層	直接鑑賞した	10	40.0	50.0	10.0	30.0	-	10.0	10.0	-
	直接鑑賞もしていない	36	16.7	11.1	5.6	5.6	5.6	41.7	27.8	2.8

3. 地域別による分析

(1) 文化・芸術の鑑賞

過去1年間の文化・芸術を鑑賞した割合について、地域別でみると、「鑑賞した」は調布地域が最も高く、次いで大森地域、蒲田地域、糀谷・羽田地域となっている。

問8 あなたは、過去1年間に文化施設で文化・芸術を鑑賞しましたか。（○は1つ） × 問3
(居住地)



鑑賞のために利用したことのある施設・場所について、地域別にみると、「区立の文化施設」は調布地域が最も高くなっている。糀谷・羽田地域は、他の地域と比べて「区内にある民間の文化施設・場所」が高く、「区外の文化施設・場所」が低くなっている。

問8-1 鑑賞のために利用したことのある施設・場所をすべて選択してください。（○はいくつでも） × 問3 (居住地)

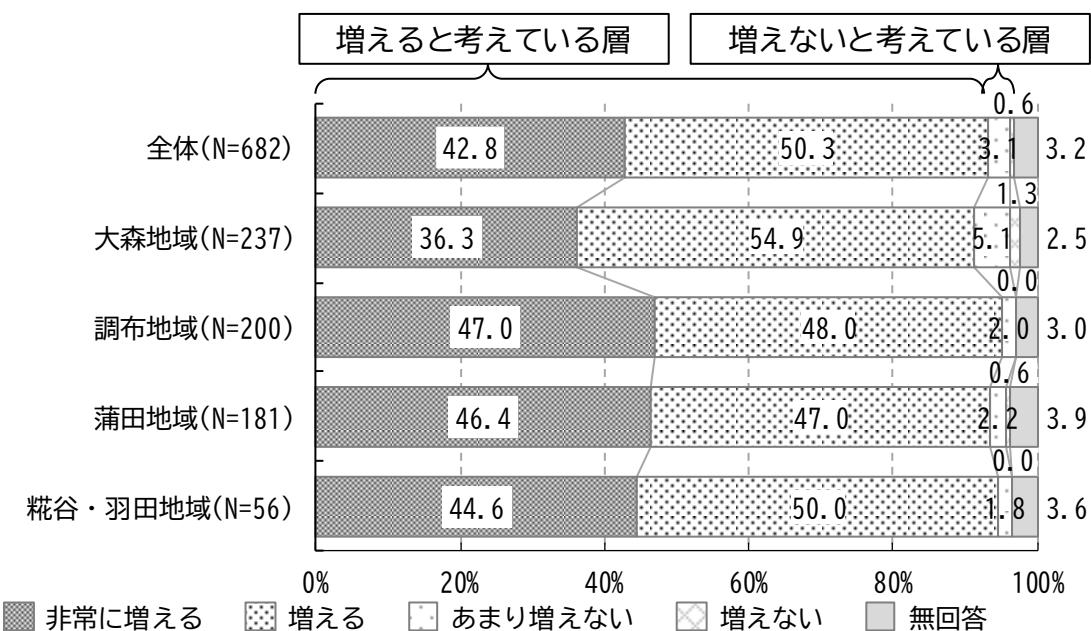
	N	区立の文化施設	区内にある民間の文化施設・場所	区外の文化施設・場所	無回答
全体	682	48.4	9.4	73.3	1.5
大森地域	237	45.1	11.4	72.6	0.8
調布地域	200	53.5	7.5	75.5	0.5
蒲田地域	181	47.0	6.1	74.6	2.8
糀谷・羽田地域	56	48.2	16.1	67.9	3.6

(2) 文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることによる影響

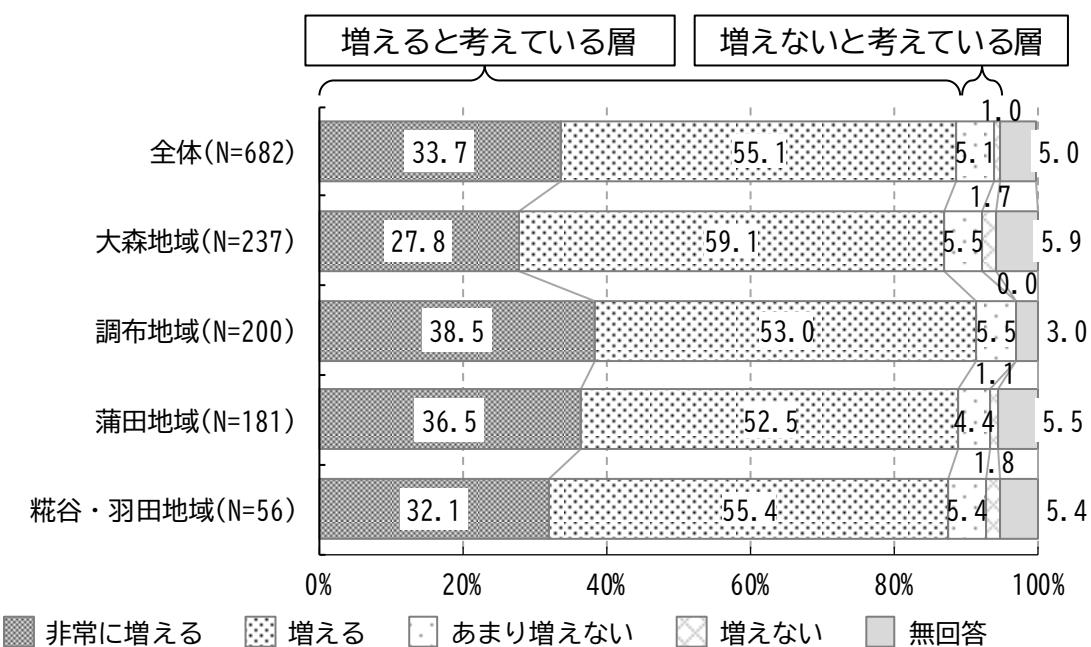
文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることによる影響について、地域別でみると、①楽しみ、②幸せ、④心身の健康について、調布地域の“増えると考えている層”的割合が最も高くなっている。③地域や人とのつながりについては、調布地域と糀谷・羽田地域が同率一位となっている。

問8-2 文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることで、以下の項目について、あなたにどのような影響があると思いますか。（それぞれ○は1つ）

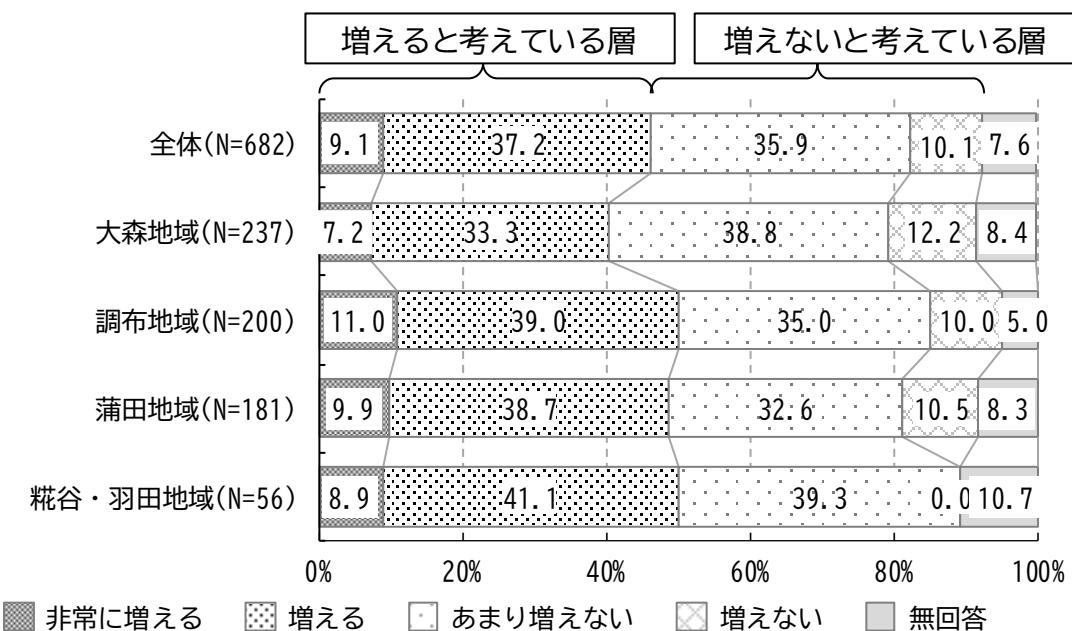
①楽しみ × 問3（居住地）



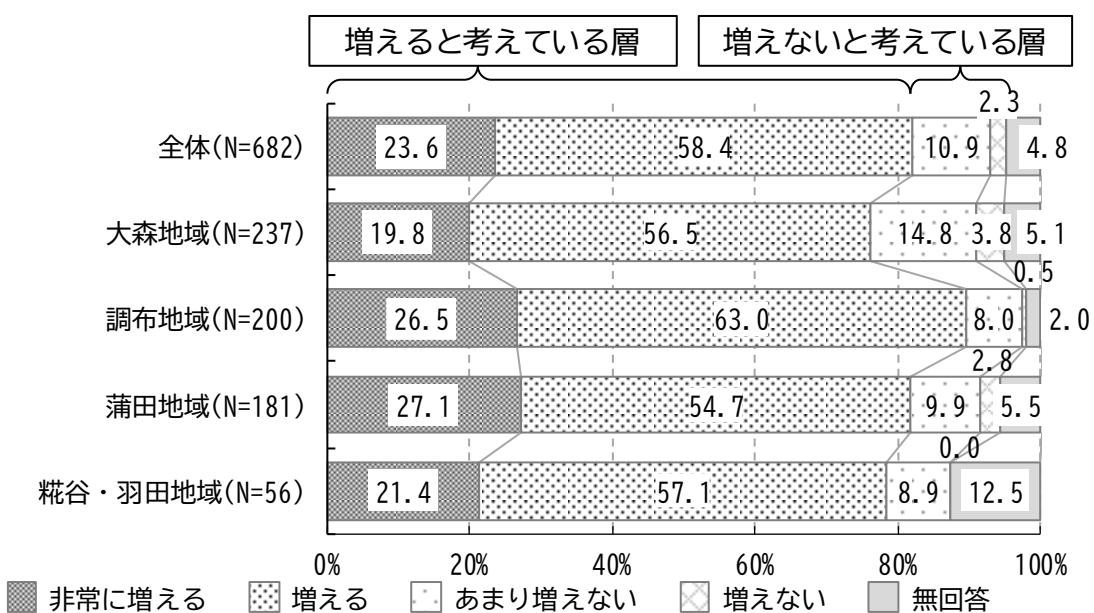
問8-2 ②幸せ × 問3（居住地）



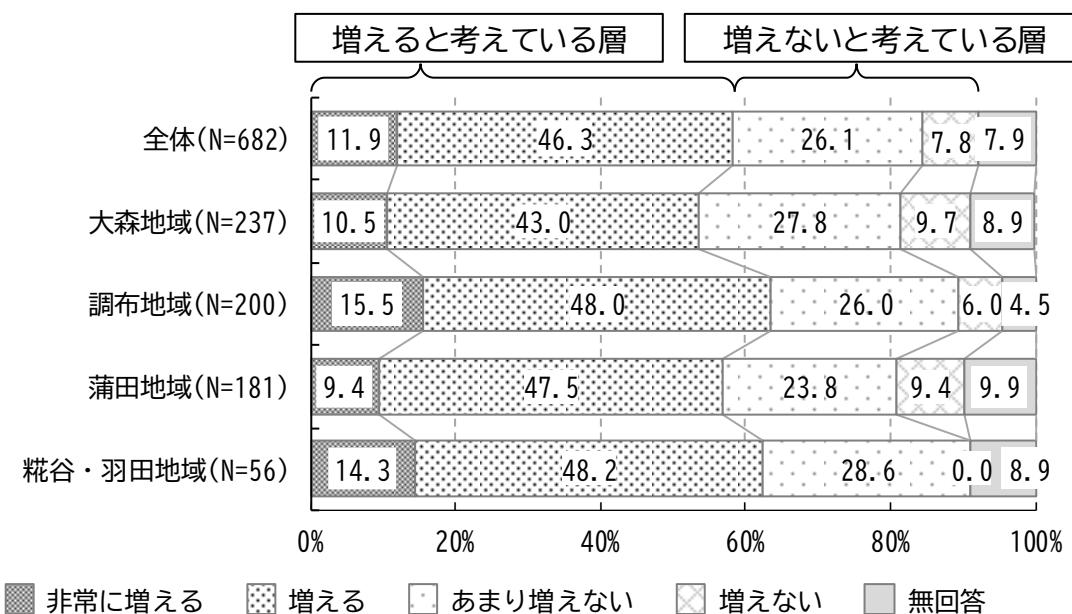
問8-2 ③地域や人とのつながり × 問3 (居住地)



問8-2 ④心身の健康 × 問3 (居住地)



問8-2 ⑤地域への愛着 × 問3（居住地）

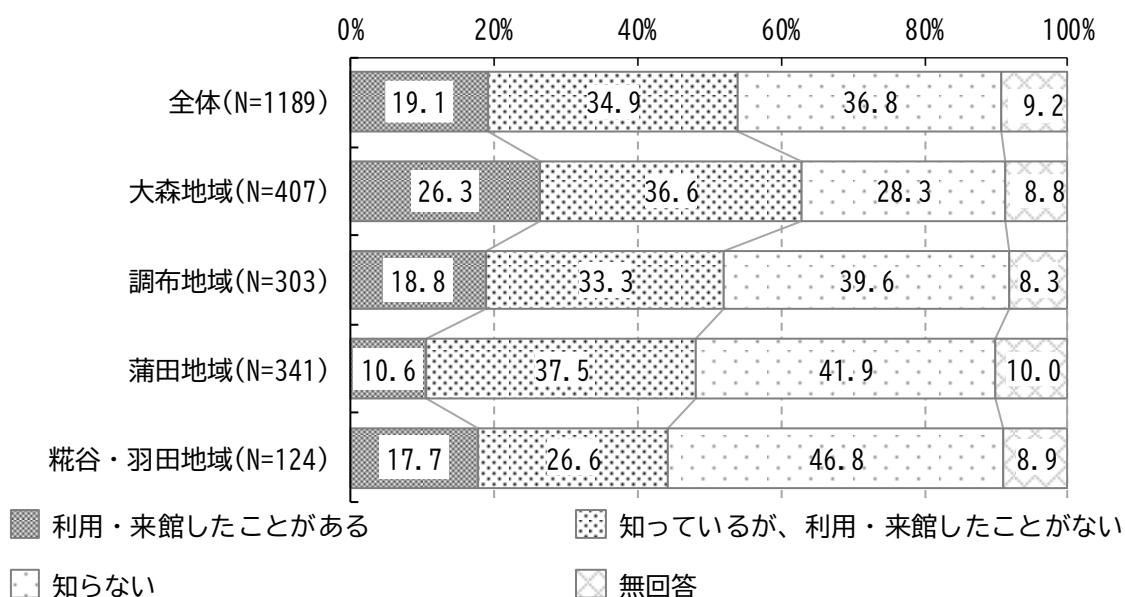


(3) 区の文化施設の利用・認知度

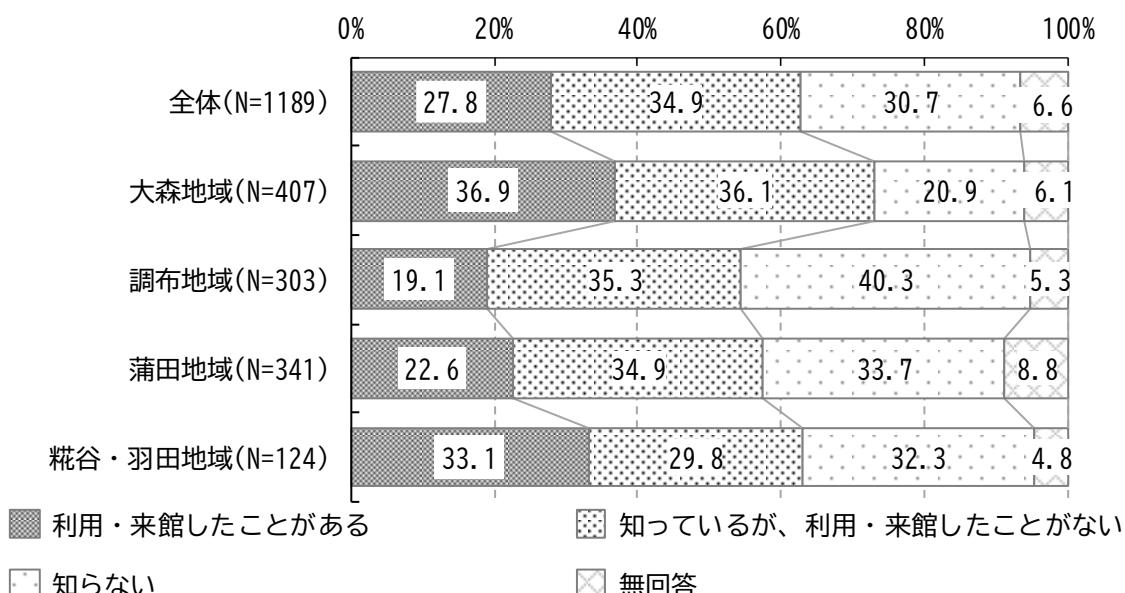
区の文化施設の利用・認知度について、地域別にみると、①郷土博物館、②大森 海苔のふるさと館、⑥大田文化の森、⑦熊谷恒子記念館、⑧龍子記念館、⑨尾崎士郎記念館、⑩山王草堂記念館で「利用・来館したことがある」は大森地域が最も高くなっている。③勝海舟記念館、④大田区民プラザは調布地域、⑤大田区民ホール・アプリコは糀谷・羽田地域が多くなっている。

問10 あなたは、次の①～⑩の区内の施設を知っていますか。（各施設について○は1つ）

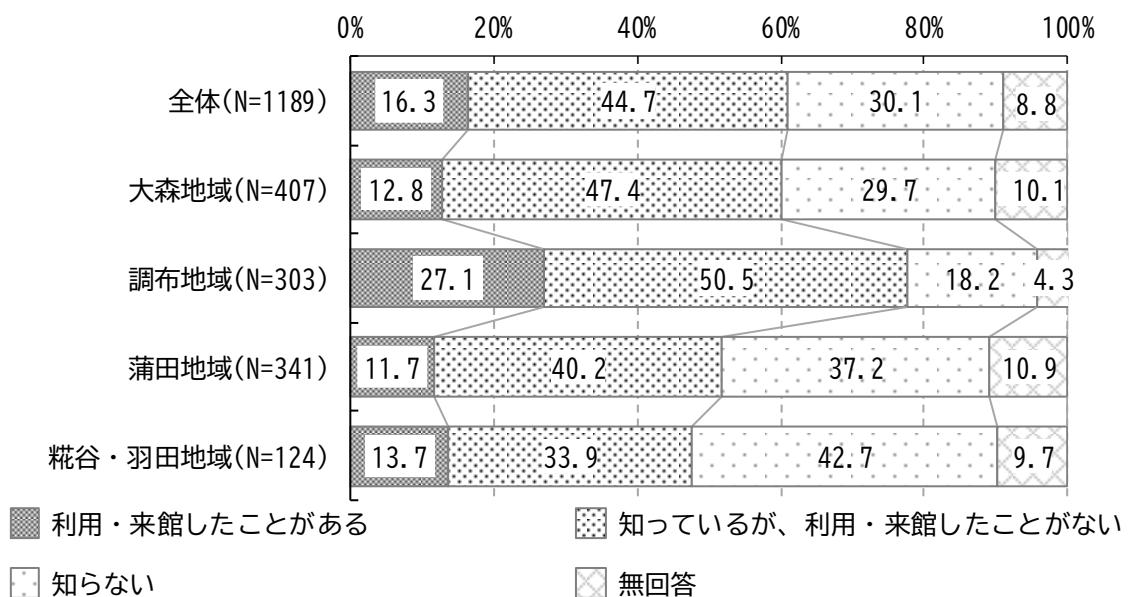
①郷土博物館 × 問3（居住地）



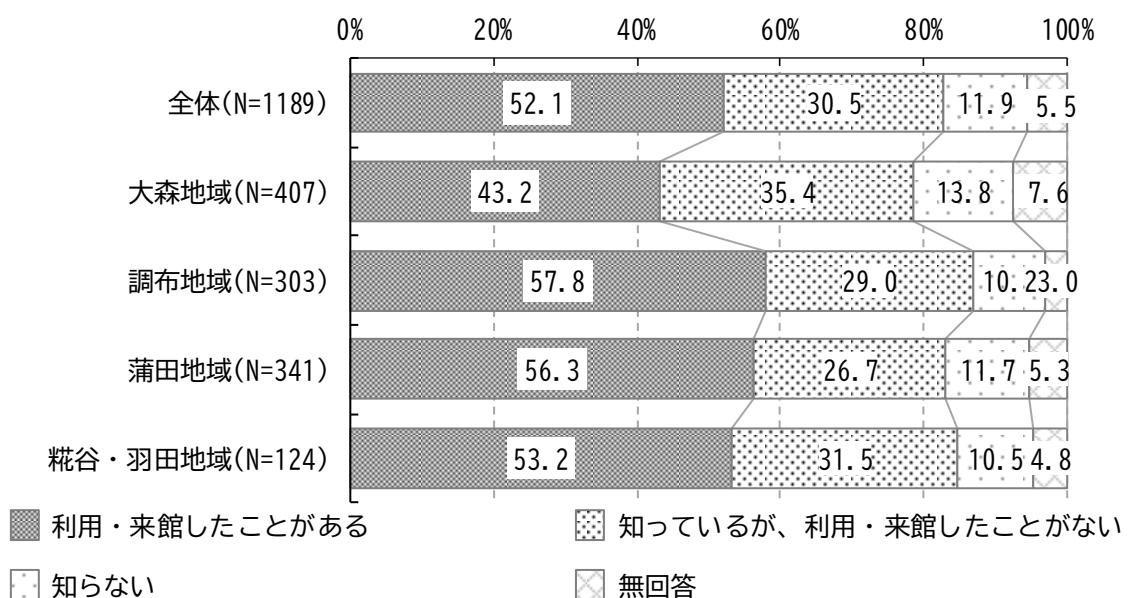
問10 ②大森 海苔のふるさと館 × 問3（居住地）



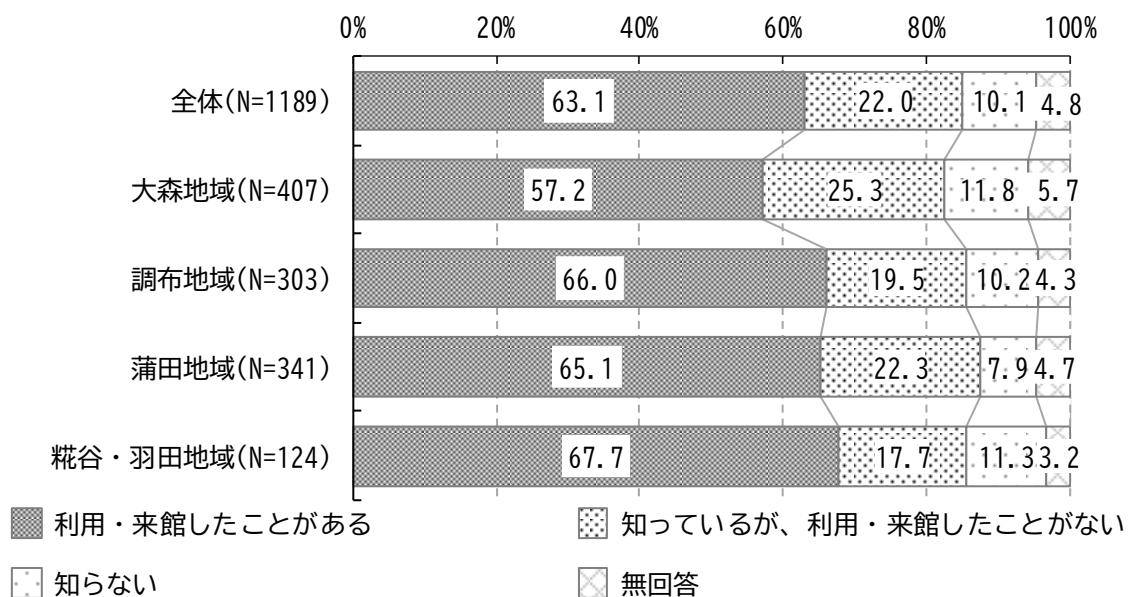
問10 ③勝海舟記念館 × 問3（居住地）



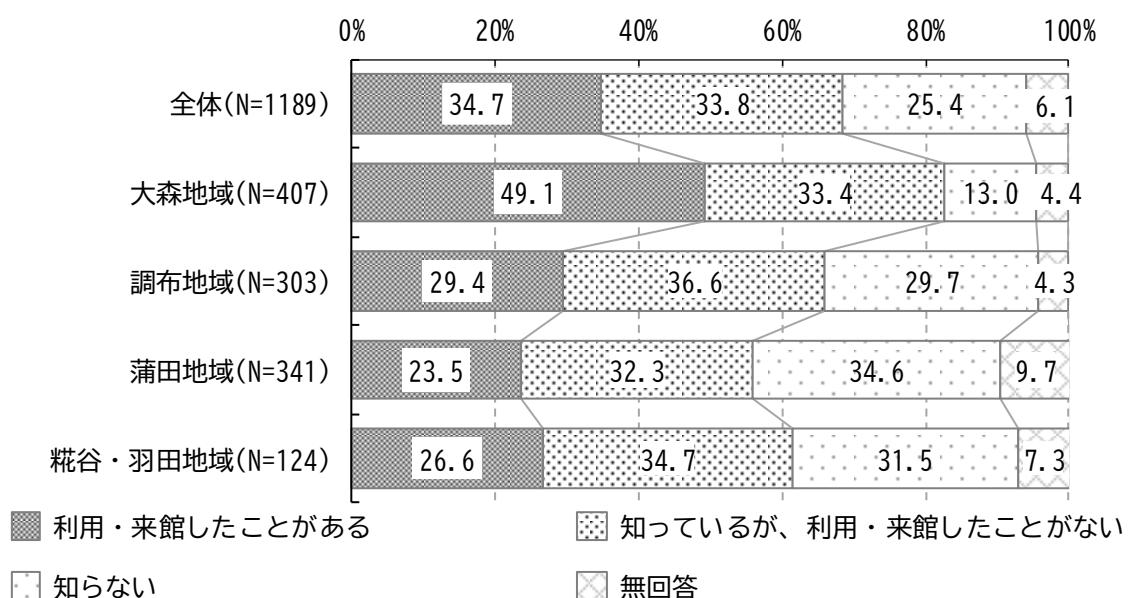
問10 ④大田区民プラザ × 問3（居住地）



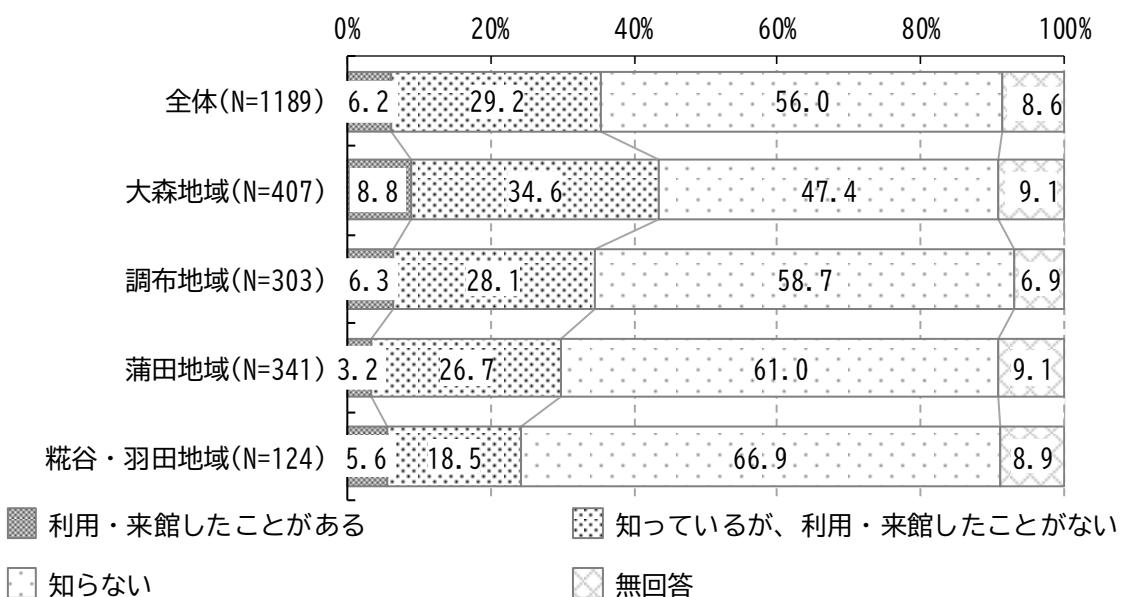
問10 ⑤大田区民ホール・アプリコ × 問3 (居住地)



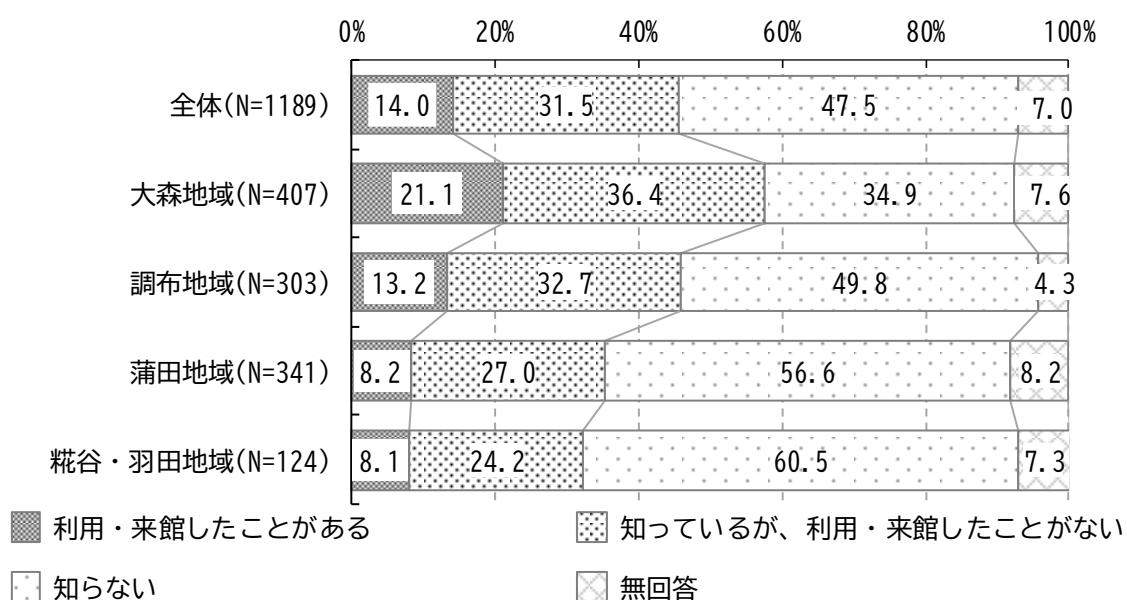
問10 ⑥大田文化の森 × 問3 (居住地)



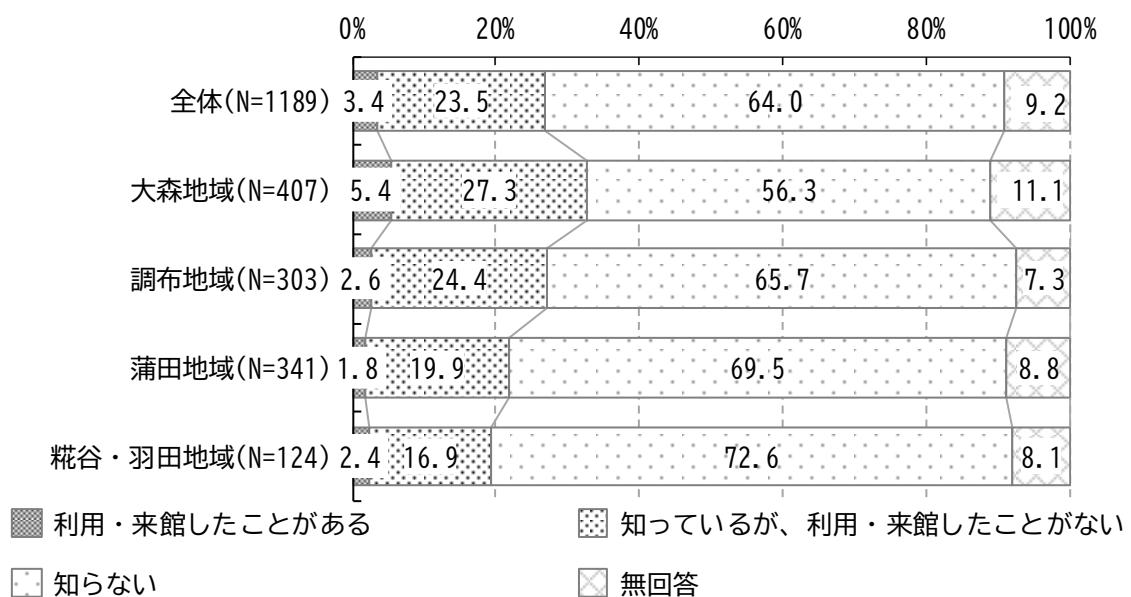
問10 ⑦熊谷恒子記念館 × 問3（居住地）



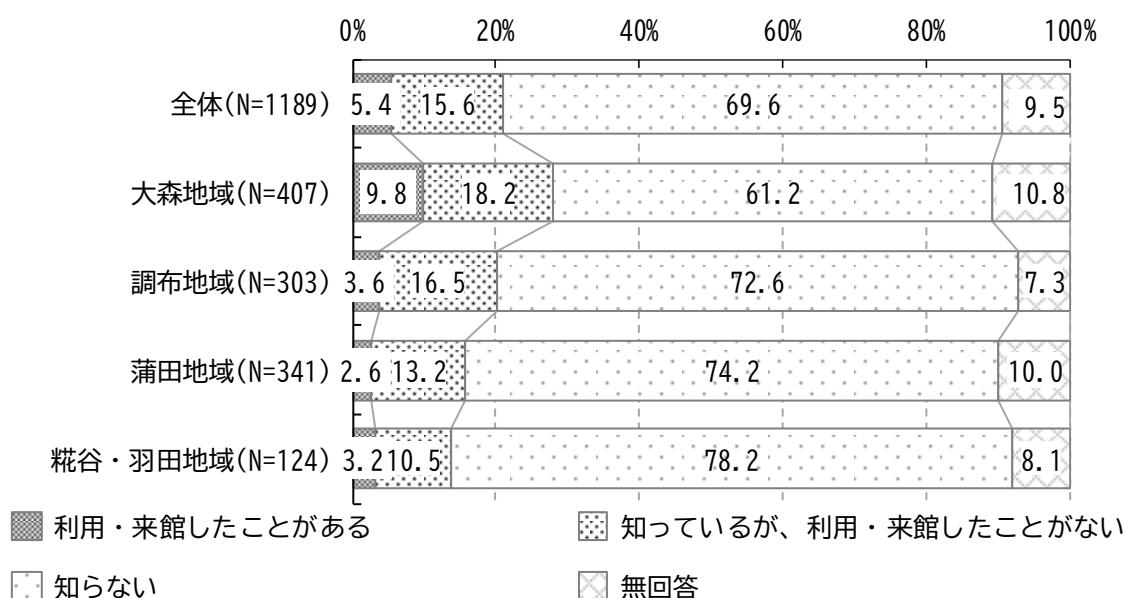
問10 ⑧龍子記念館 × 問3（居住地）



問10 ⑨尾崎士郎記念館 × 問3（居住地）



問10 ⑩山王草堂記念館 × 問3（居住地）

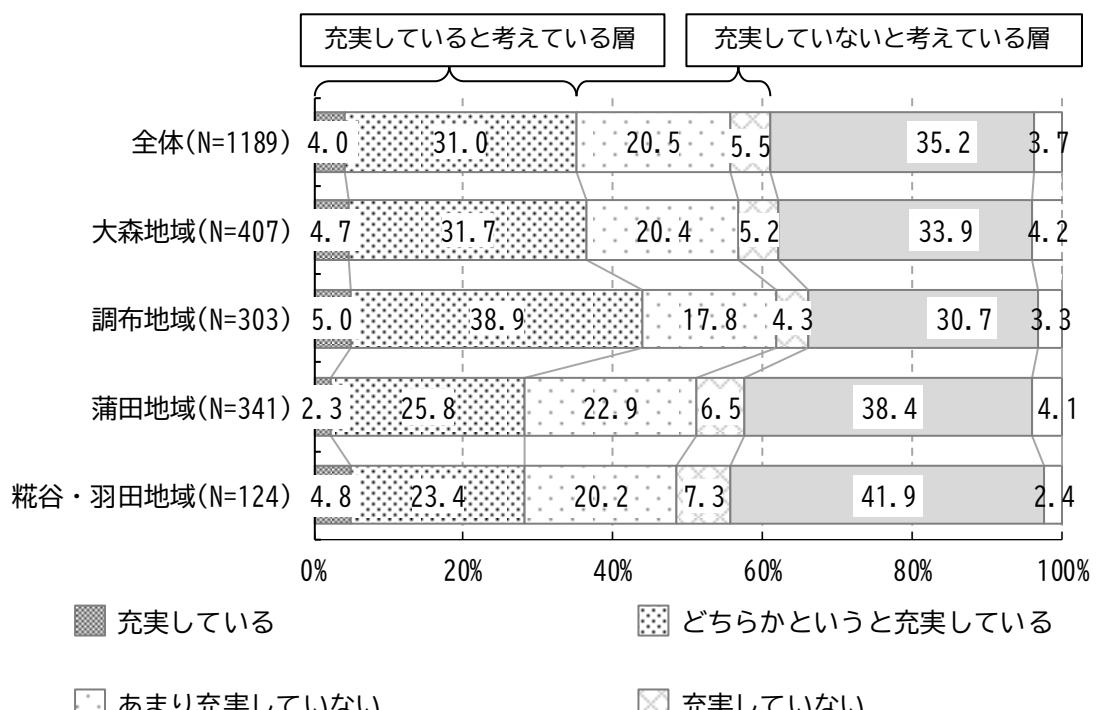


(4) 区の文化の保存継承や魅力発信の取り組みの充実度

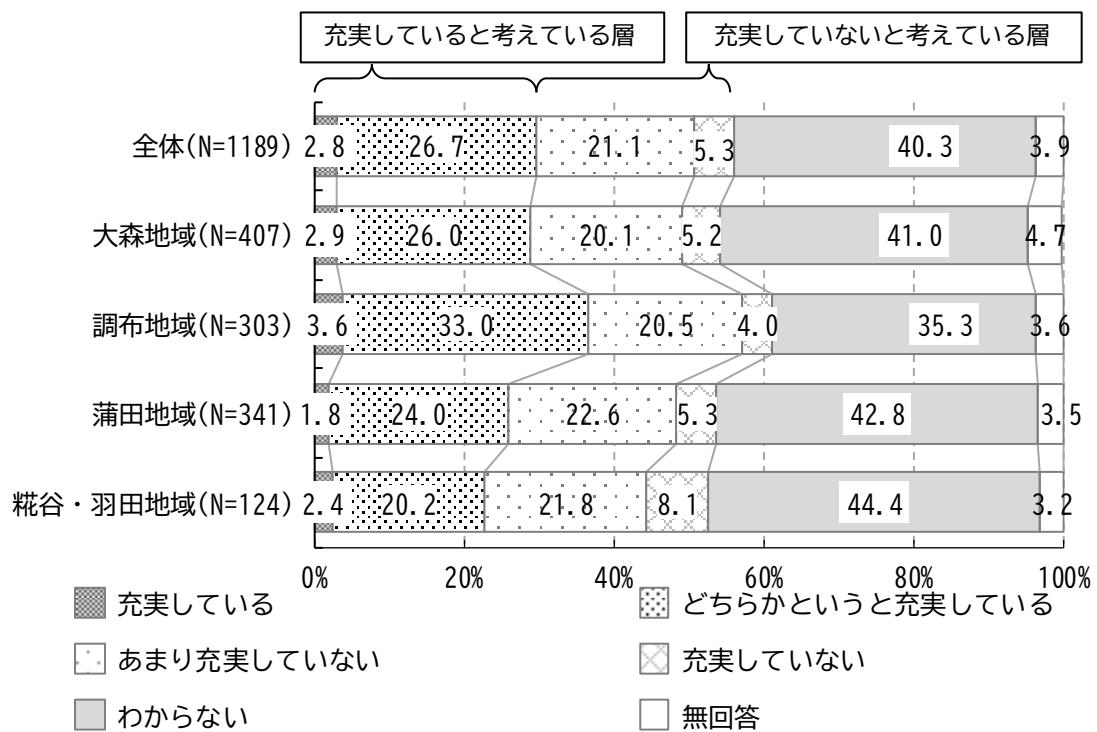
区の文化の保存継承や魅力発信の取り組みの充実度について、地域別にみると、①区にゆかりのある人物や歴史、文化に触れる機会、②区内の有形無形の文化財や歴史的な建造物の保存・公開・継承事業は“充実していると考えている層”的割合が調布地域で最も高くなっている。③区内の伝統工芸、ものづくり技術、工業技術の区内外へのPRは糀谷・羽田地域が高くなっている。

問12 大田区では、地域の様々な文化を保存・継承し、区の魅力として発信する取り組みを行っています。あなたは、次の①～③の取り組みについて、充実していると思いますか。（各取り組みについて○を1つ）

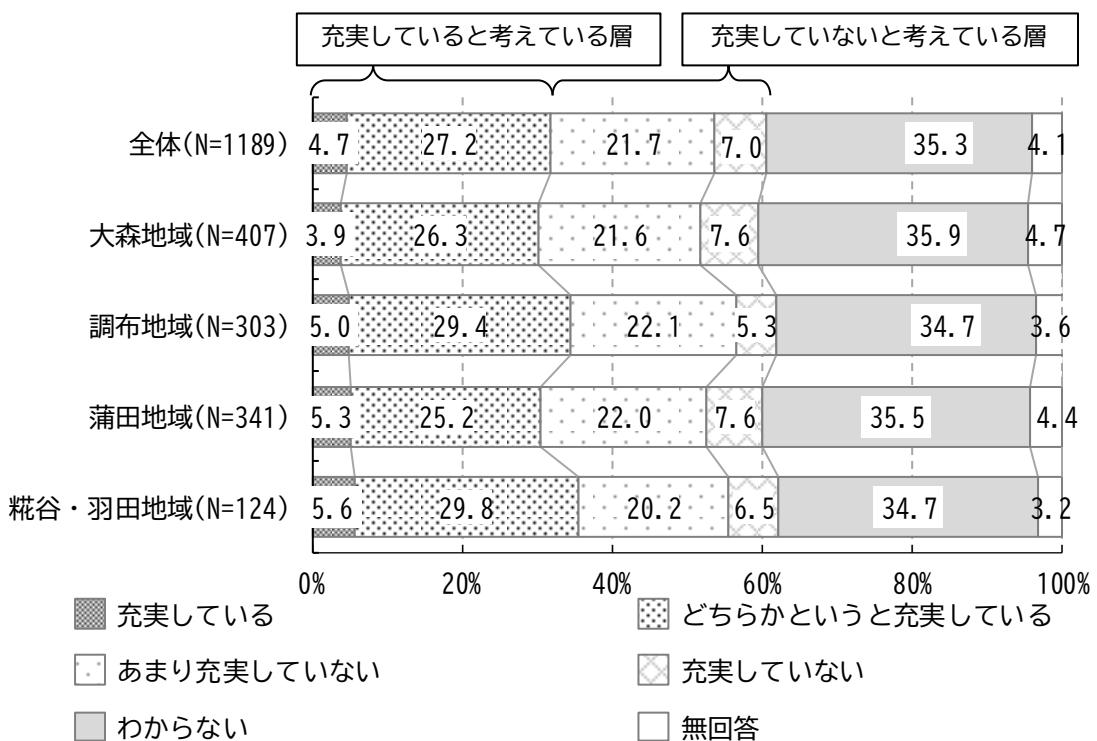
①区にゆかりのある人物や歴史、文化に触れる機会 × 問3（居住地）



問12 ②区内の有形無形の文化財や歴史的な建造物の保存・公開・継承事業 × 問3（居住地）



問12 ③区内の伝統工芸、ものづくり技術、工業技術の区内外へのPR × 問3（居住地）



大田区が文化・芸術を振興していくために、あなたが特に重要なものについて、地域別にみると、糀谷・羽田地域は他の地域にくらべ「文化の持つ力を教育や福祉など様々な分野への活用」、「文化活動に関する相談窓口の充実」、「区民の自主的な文化活動の積極的な支援」が高くなっている。

問13 大田区が文化・芸術を振興していくために、あなたが特に重要なものは何ですか。
(○はいくつでも) × 問3 (居住地)

N	1	2	3	4	5	6
	こどもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出	区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充	文化拠点施設を通じて、文化活動の場を広く区民に提供	地域の文化・芸術の育成と展示等による区民への発信	文化の持つ力を教育や福祉など様々な分野への活用	区民の自主的な文化活動の積極的な支援
全体	1189	52.6	48.1	36.9	24.3	23.4
大森地域	407	47.2	48.9	34.9	22.9	18.7
調布地域	303	58.4	49.5	38.0	25.1	24.1
蒲田地域	341	54.3	49.9	35.8	24.0	24.0
糀谷・羽田地域	124	51.6	37.9	41.1	27.4	32.3

	7	8	9	10	11	12
	多様な文化活動の担い手をコーディネートする専門人材の育成・確保	様々な団体とのネットワークの構築と区内文化団体の情報収集・発信	地域文化資源の保全・活用、潜在する地域文化資源の掘り起こし	文化活動に関する相談窓口の充実	わからない	無回答
全体	17.2	17.0	14.6	9.7	12.6	2.3
大森地域	17.7	16.5	14.3	9.3	16.0	2.2
調布地域	17.8	13.2	15.8	7.3	9.2	1.3
蒲田地域	16.1	19.1	15.0	9.4	11.7	2.9
糀谷・羽田地域	15.3	21.0	10.5	16.9	13.7	3.2

参考1　自由回答一覧

自由意見は69件ありました。

■自由回答分類

	分類	件数
1	事業について	10
2	子ども向け事業について	17
3	PR・情報発信について	13
4	施設について	9
5	まちの魅力・地域活性化について	8
6	活動やボランティア等の支援について	1
7	理想のまちについて	9
8	その他	2
合計		69

■自由回答抜粋　※原文のまま掲載。

1 事業について

- 若手の芸術作品を駅や公共施設、喫茶店等身近なところに展示すればよいと思います。（男性・70歳以上）
- 芸術鑑賞ができる劇場がもっと増えて、低料金でみられるうれしい。色々な情報がわかりやすく幅広く知れると良いですね。（女性・70歳以上）
- 小規模な映画館があると嬉しいです。テアトル蒲田が閉館して残念です。可能ならば再開してほしいです。大田区のものづくりの高度な技術、文化を伝えるイベントを継続して開催してほしいです。おおたオープンファクトリー2024は行けなかったので、次回行きたいです。（女性・50歳代）
- 大田区民ホールで若者が楽しめるようなライブなどを積極的に行うと良いと思います。また、大森のヤングフェスのように、中高生がダンスや音楽の発表ができるようなイベントにもっと力を入れたら良いと思います。地域のふれあい祭りで文化、芸術を広げる活動をこれからも続けていただきたいです。（女性・29歳以下）
- 駅の構内に誰でも弾くことのできるピアノが置いてあるような素敵な空間が増えるといいと思います。（女性・40歳代）

2 子ども向け事業について

- この街でしか催されていない「街、歴史、建築、文化」の繋がりを学べるような活動やワークショップが、子供向けには教育の場があると良いかもしれません。（男性・40歳代）
- 区民が文化的なものに触れる機会があればいいと思う。小学生など若い時に本物や文化に触れるのは素晴らしいことだと思うので、機会をつくってあげていただきたい。（女性・30歳代）

- 保育園で働いていますが、子どもたちにとって身近な文化に触れる機会をもっと周知して来園してほしいです。小さい子どもたちを連れだすことは難しいので…。例えば、大田区が仲介してくれると、生の音楽に触れたりしやすいです。（女性・40歳代）
- 子供達にもっと芸術や文化に触れる機会を増やした教育が必要。（男性・70歳以上）
- 気軽に親子で鑑賞、体験できる機会が増えると良いと思います。蒲田のグランデュオの連絡通路の展示やワークショップよく利用します。（女性・40歳代）

3 PR・情報発信について

- インフルエンサーラや有名な方で発信して広め、その後何をするかが重要で、キッザニアみたいなイベントを魅力的に行うとか。（男性・40歳代）
- アリコで開催するイベント情報をもっと発信（人通りの多いところに提示）してほしい。（女性・50歳代）
- もう少し関心を親子で共有できるよう宣伝してほしい。（女性・70歳以上）
- 大田区の文化について発信力を一層強化し、文化的に魅力のある町を目指して欲しい。（男性・60歳代）
- 大田区に住んで居ても知らない事が沢山有るので、積極的に発信して頂き、古い文化と新しい文化の両方が楽しめ、誰もが住みたくなる様な素敵なまちになると良いと思います。（女性・50歳代）

4 施設について

- 芸術にはぜひ力を入れてほしい。心安らかになる人が増えると思う。アリコは駅近なこともあります、もっと積極的に公演などが行われるとよいと思う。（女性・50歳代）
- 国内、海外の音楽家の演奏できるホールや劇場の施設が欲しい。（男性・70歳以上）
- 映像体験ができるスポットを充実させる。例えば、飛行機が撮影できるスポットを作ったり、MAPで紹介等、又、かつてあった蒲田撮影所に因み、子供達に動画編集を学ぶ機会を作ったり、撮影スタジオ等を充実させる。（女性・50歳代）

5 まちの魅力・地域活性化について

- 大田区には良い歴史があります。ギャラリーなどを増やし、博物館も増やし、観光客にも知ってもらいたい。フェスティバルもいいですね。（男性・60歳代）
- 元々持っている「ものづくり」を広げていくことを期待します。特に子供。日本の子は「ものを作る」をやりたがらない子が多いです。（女性・60歳代）
- 大田区には馬込文士村や蒲田撮影所といった文化面で豊かな歴史があります。それを区民が身近に感じられる町になってほしいです。文化人による講演会、セミナーなども積極的に開催してほしいです。（男性・20歳代）

6 活動やボランティア等の支援について

○文化人、芸術家、スポーツ選手等の支援と活用、区報等にのせるとか。マイナーな物ほどいいと思う。（男性・50歳代）

7 理想のまちについて

○年齢、性別、国籍、障害の有無他に関係なく、多くの人が色々な文化や芸術に親しみ、大田区で生き生きとした日々が送れるようになればと願っています。（女性・60歳代）

○古い文化と新しい文化の両方が楽しめ、誰もが住みたくなる様な 素敵なまちになると良いと思います。（女性・50歳代）

○未来ある子供達が自分の住む地域の歴史・文化などの情報や体験の場を通して、様々な創造性あふれる感性を育てられる大田区になることを楽しみにしています。（女性・70歳以上）

参考2 調査票

1. 個人向け調査表

個人向け調査

大田区 文化に関する意識調査

【ご協力のお願い】

日頃より、大田区の文化施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。区民の皆様の文化に対する関心やニーズを把握し、区の文化施策に活用していくための基礎資料とするため、アンケート調査を実施いたします。

調査にあたり、区内にお住まいの18歳以上の方を対象に、無作為に2,900名を抽出いたしました。調査は無記名で行い、結果は統計的に集計・分析いたしますので、個人が特定されることはございません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年11月吉日

大田区長

ご回答にあたってのお願い

1. アンケートは、封筒の宛名に記載されている方が回答してください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお考えを聞きながら記入してください。
2. 回答は、選択形式と自由記入形式があります。選択形式の設問は、1つ選ぶ場合と複数選ぶ場合とがありますので、あてはまる番号をご回答ください。
3. 「その他」など、選択肢に（ ）がついているものを選んだ場合は、（ ）の中にその内容を具体的に回答してください。

▼2つの方法から1つ選んでご回答ください。▼

インターネットの場合

- ①URLまたは、二次元コードから回答フォームにアクセスください。
- ②ID、パスワードを入力し、回答を入力してください。



回答フォーム：

<https://forms.gle/qWhQAxNK5RHobkv9>

ID :

パスワード：1226

郵送の場合

- ①本調査票に直接回答をご記入ください。
- ②同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。
※切手、差出人の記入は不要です。



ご回答期限

令和6年12月20日（金）まで

この調査票についてご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせください。

大田区 スポーツ・文化・国際都市部 文化振興課 文化振興担当
電話：03-5744-1226（9:00～17:00） FAX：03-5744-1539

1 あなた自身について

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1 男性

2 女性

3 その他

4 回答しない

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

1 29歳以下

3 40歳代

5 60歳代

2 30歳代

4 50歳代

6 70歳以上

問3 あなたの居住地を教えてください。(○は1つ)

1 大森地域（大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿特別出張所）

2 調布地域（嶺町、田園調布、鶴の木、久が原、雪谷、千束特別出張所）

3 蒲田地域（六郷、矢口、蒲田西、蒲田東特別出張所）

4 糀谷・羽田地域（糀谷、羽田特別出張所）

問4 大田区の居住年数を教えてください。(○は1つ)

1 1年未満

4 5年以上、10年未満

6 20年以上、30年未満

2 1年以上、3年未満

5 10年以上、20年未満

7 30年以上

3 3年以上、5年未満

問5 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

1 会社員（役員を含む）・公務員・団体職員

5 専業主婦・主夫

2 パート・アルバイト

6 学生

3 自営業

7 無職

4 芸術家（実演家含む）

8 その他

()



©Ota City

2 あなたの文化・芸術の鑑賞について

問6 あなたは、文化・芸術に関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 非常に関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 やや関心がある | 4 関心がない |

問6-1 あなたは、どの分野の文化・芸術に関心がありますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 文芸（詩や文芸作品） |
| 2 クラシック音楽 |
| 3 ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック |
| 4 合唱、歌唱 |
| 5 美術（絵画、彫刻、陶芸、工芸、版画、イラストなど） |
| 6 写真 |
| 7 映像（映画、アニメーションなど） |
| 8 演劇（ミュージカルを含む） |
| 9 舞踊（バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊など） |
| 10 生活文化（華道、茶道、書道、盆栽、園芸、手芸、ファッショニ、囲碁、将棋など） |
| 11 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、雅楽、文楽など） |
| 12 その他の演芸（講談、落語、浪曲、漫才、漫談など） |
| 13 デザイン（グラフィックデザイン、プロダクトデザインなど） |
| 14 歴史的な街並み、文化財、遺跡 |
| 15 サブカルチャー（マンガ、アニメ、コスプレなど） |
| 16 郷土芸能（お囃子、鳴物、和太鼓、三味線、民謡など）、地域の祭り（お神輿、お神楽など） |
| 17 伝統工芸 |
| 18 その他（ ） |
| 19 関心のあるものはない |

問7 あなたは、文化・芸術をどのように捉えていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 生きがいのひとつとして欠かせない | 7 良さや魅力がわからない |
| 2 生活や気持ちを豊かにする | 8 時間をかけるのはもったいない |
| 3 教養や感性を高めてくれる | 9 自分にとって意味がない |
| 4 見聞や視野を広げてくれる | 10 自分には縁遠い |
| 5 余暇・趣味として楽しむ | 11 関心を持つきっかけがない |
| 6 友だち、仲間とのつながりを生む | 12 お金がかかるイメージがある |
| | 13 その他（ ） |

問8 あなたは、過去1年間に文化施設で文化・芸術を鑑賞しましたか。(○は1つ)

※文化施設（ホール、劇場、映画館、美術館、博物館など）

- | |
|--------------------------|
| 1 鑑賞した（問8-1へ） |
| 2 鑑賞したかったが、できなかった（問8-3へ） |
| 3 関心がなく、鑑賞しなかった（問8-3へ） |

問8で「1 鑑賞した」を選択した方に伺います。

問8-1 鑑賞のために利用したことのある施設・場所をすべて選択してください。(○はいくつでも)

1 区立の文化施設

(大田区民ホール・アリコ、大田区民プラザ、図書館、区民センター、文化センター等)

2 区内にある民間の文化施設・場所 (施設名・場所:)

3 区外の文化施設・場所 (施設名・場所:)

問8で「1 鑑賞した」を選択した方に伺います。

問8-2 文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることで、以下の項目について、あなたにどのような影響があると思いますか。(それぞれ○は1つ)

回答例	④	3	2	1
①楽しみ	4	3	2	1
②幸せ	4	3	2	1
③地域や人とのつながり	4	3	2	1
④心身の健康	4	3	2	1
⑤地域への愛着	4	3	2	1

問8で「2 鑑賞したかったが、できなかった」、もしくは「3 関心がなく、鑑賞しなかった」を選択した方に伺います。

問8-3 文化・芸術を鑑賞しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 情報を知る機会がない

2 何を鑑賞してよいのかわからない

3 催しの時間帯に合わない

4 仕事・学業などで時間が取れない

5 育児・介護などで時間が取れない

6 経済的な余裕がない

7 身近に鑑賞できる場所がない

8 交通アクセスや施設のバリアフリーなどが不十分である

9 関心のある催しがない

10 一緒に鑑賞する仲間がいない

11 健康上、鑑賞に出かけることが難しい

12 感染症の影響で外出等を控えていたため

13 テレビやDVD、スマートフォンなどインターネット等による鑑賞で十分である

14 その他 ()

3 あなたの文化・芸術活動について

問9 あなたは、職業としてではなく、文化・芸術に関する活動を行っていますか。(○は1つ)

- 1 活動している (問9-1へ)
- 2 過去に活動していたが、今は活動していない (問9-6へ)
- 3 活動したことない (問9-6へ)

問9で「1 活動している」を選択した方に伺います。

問9-1 あなたは、どの分野で活動を行っていますか。(○はいくつでも) ※分類は問6-1と同様

- | | | |
|-----------------------|-----------|-------------------|
| 1 文芸 | 7 映像 | 13 デザイン |
| 2 クラシック音楽 | 8 演劇 | 14 歴史的な街並み、文化財、遺跡 |
| 3 ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック | 9 舞踊 | 15 サブカルチャー |
| 4 合唱、歌唱 | 10 生活文化 | 16 郷土芸能、地域の祭り |
| 5 美術 | 11 伝統芸能 | 17 伝統工芸 |
| 6 写真 | 12 その他の芸能 | 18 その他 () |

問9-2 あなたは、その活動をどのように行っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1 個人で | 4 イベント (ワークショップも含む) への参加 |
| 2 グループや団体に所属 | 5 オンライン形式 |
| 3 教室に通う | 6 その他 () |

問9-3 あなたが現在取り組んでいる活動を、より充実させるために必要なことは何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 活動資金 | 7 活動をPR・周知すること |
| 2 活動場所 | 8 他の団体・グループとの交流 |
| 3 区立施設の予約手続きのしやすさ | 9 子育てや介護環境の整備 |
| 4 一緒に活動する仲間 | 10 その他 () |
| 5 指導者との出会い | 11 特にない |
| 6 発表する場や機会の充実 | |

問9-4 あなたは、区内で文化・芸術に関する活動をする上で、練習や発表などの場所や機会が充実していると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 非常に充実している | 3 あまり充実していない |
| 2 やや充実している | 4 全く充実していない |

問9-5 文化・芸術活動をすることで、以下の項目にどのような影響があると思いますか。

(それぞれ○は1つ)

回答例	増える非常に	増える	い増えなり	ない増え
①楽しみ	(4)	3	2	1
②幸せ	4	3	2	1
③地域や人とのつながり	5	4	2	1
④心身の健康	5	4	2	1
⑤地域への愛着	5	4	2	1

問9で「2 過去に活動していたが、今は活動していない」、もしくは「3 活動したことはない」を選択した方に伺います。

問9-6 文化・芸術に関する活動をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1 情報を知る機会がない | 8 交通アクセスや施設のバリアフリーなどが不十分である |
| 2 何の活動をすればよいのかわからない | 9 関心のある活動がない |
| 3 活動の時間帯が合わない | 10 一緒に活動する仲間がいない |
| 4 仕事・学業などで時間が取れない | 11 健康上、活動を行うのが難しい |
| 5 育児・介護などで時間が取れない | 12 感染症の影響で外出等を控えていたため |
| 6 経済的な余裕がない | 13 その他（ ） |
| 7 身近に活動できる場所がない | 14 活動することに興味がない |

4 区の文化振興に関する取り組みについて

問10 あなたは、次の①～⑩の区内の施設を知っていますか。（各施設について○は1つ）

回答例	③ 利用・来館したことがある	2 利用・来館したがない	1 知っているが、利用・来館した	1 知らない
①郷土博物館	3	2	1	
②大森 海苔のふるさと館	3	2	1	
③勝海舟記念館	3	2	1	
④大田区民プラザ	3	2	1	
⑤大田区民ホール・アプリコ	3	2	1	
⑥大田文化の森	3	2	1	
⑦熊谷恒子記念館	3	2	1	
⑧龍子記念館	3	2	1	
⑨尾崎士郎記念館	3	2	1	
⑩山王草堂記念館	3	2	1	

問11 区内で鑑賞や活動する機会や場について、もっと充実させてほしい分野を選んでください。

(○はいくつでも) ※分類は問6-1と同様

- | | | |
|-----------------------|-----------|-------------------|
| 1 文芸 | 7 映像 | 13 デザイン |
| 2 クラシック音楽 | 8 演劇 | 14 歴史的な街並み、文化財、遺跡 |
| 3 ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック | 9 舞踊 | 15 サブカルチャー |
| 4 合唱、歌唱 | 10 生活文化 | 16 郷土芸能、地域の祭り |
| 5 美術 | 11 伝統芸能 | 17 伝統工芸 |
| 6 写真 | 12 その他の演芸 | 18 その他（ ） |

問12 大田区では、地域の様々な文化を保存・継承し、区の魅力として発信する取り組みを行っています。あなたは、次の①～③の取り組みについて、充実していると思いますか。
(各取り組みについて○を1つ)

	る充実してい	していいる	どうちらかと充実	していらない充実	ない充実してい	わからな
回答例	5	④	3	2	1	
①区にゆかりのある人物や歴史、文化に触れる機会	5	4	3	2	1	
②区内の有形無形の文化財や歴史的な建造物の保存・公開・継承事業	5	4	3	2	1	
③区内の伝統工芸、ものづくり技術、工業技術の区内外へのPR	5	4	3	2	1	

問13 大田区が文化・芸術を振興していくために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 文化拠点施設を通じて、文化活動の場を広く区民に提供
- 2 区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充
- 3 こどもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出
- 4 地域の文化・芸術の育成と展示等による区民への発信
- 5 区民の自主的な文化活動の積極的な支援
- 6 様々な団体とのネットワークの構築と区内文化団体の情報収集・発信
- 7 多様な文化活動の担い手をコーディネートする専門人材の育成・確保
- 8 文化活動に関する相談窓口の充実
- 9 地域文化資源の保全・活用、潜在する地域文化資源の掘り起こし
- 10 文化的持つ力を教育や福祉など様々な分野への活用
- 11 わからない

問14 あなたは、大田区が文化・芸術施策に力を入れることで、人やまち、地域がどのように変化することを期待しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 地域コミュニティが活発になる | 9 ものづくり・工業と連携し、付加価値が高まる |
| 2 地域に対する愛着が生まれる | 10 観光客や移住者が増える |
| 3 区民が地域の歴史・文化を知る | 11 生きがいにつながる |
| 4 多様な価値観があることに気づく | 12 外出の機会が増える |
| 5 誰もが参加できる環境がより充実する | 13 その他() |
| 6 こどもの心の豊かさや創造性が伸びる | 14 期待することはない |
| 7 まちのイメージがよくなる | 15 わからない |
| 8 地域の商業・経済が活性化する | |

5 こどもの文化・芸術の鑑賞や活動について

問15 こどもが文化・芸術にもっと親しむようになるために、あなたは大田区にどのような取り組みを期待しますか。(○はいくつでも)

- 1 こども向けの鑑賞・体験できる機会を充実させる
- 2 親子で一緒に鑑賞・体験できる機会をつくる
- 3 質の高い文化・芸術に触れる機会を充実させる
- 4 こどもの創造性を引き出す機会をつくる
- 5 こどもが地域で活躍できる発表などの機会をつくる
- 6 地域の歴史や文化財に親しむ機会をつくる
- 7 わかりやすく情報を伝える
- 8 親の興味・関心を引くような情報提供を行う
- 9 身近な施設や場所で事業を行う
- 10 低料金で参加できる事業を行う
- 11 学校での授業を充実させる
- 12 児童館等で文化・芸術に関するプログラムを充実させる
- 13 その他 ()
- 14 特にない

問16 あなたには、18歳未満のお子さんがいらっしゃいますか。あなたの一番下のお子さんは次のお子さんたちにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 未就学児（小学生未満） | 4 16歳以上、18歳未満 |
| 2 小学生 | 5 18歳未満のこどもはいない |
| 3 中学生 | |

18歳未満のお子さんがいる方に伺います。

問16-1 あなたの子さんは、園や学校の授業、課外活動又は部活動以外で、過去1年間に文化・芸術の鑑賞や体験、又は文化・芸術に関する活動をしましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 鑑賞した | 5 鑑賞・体験・活動をしてほしいが、やっていない |
| 2 習い事をした | 6 鑑賞・体験・活動はしていない |
| 3 ワークショップに参加した | 7 わからない |
| 4 自分で作品を制作するなど、創作活動をした | |

6 文化・芸術に関する自由意見

大田区が将来、文化的にどんなまちになっていくとよいと思いますか。自由に記入してください。

アンケートは以上です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

2. 団体向け調査

団体向け調査

大田区 文化に関する意識調査

【ご協力のお願い】

日頃より、大田区の文化施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
区内で活動する団体の皆様の文化に対する関心やニーズを把握し、区の文化施策に活用していくための基礎資料とするため、アンケート調査を実施いたします。

調査にあたり、区に団体登録をしている100団体を、無作為に抽出いたしました。調査は無記名で行い、結果は統計的に集計・分析いたしますので、団体が特定されることはありません。
お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年11月吉日

大田区長

ご回答にあたってのお願い

1. アンケートは、封筒の宛名に記載されている代表者が回答してください。なお、代表者が記入できない場合は、代理人などが代表者のお考えを聞きながら記入してください。
2. 回答は、選択形式と自由記入形式があります。選択形式の設問は、1つ選ぶ場合と複数選ぶ場合とがありますので、あてはまる番号をご回答ください。
3. 「その他」など、選択肢に（ ）がついているものを選んだ場合は、（ ）の中にその内容を具体的に回答してください。

▼2つの方法から1つ選んでご回答ください。▼

インターネットの場合

- ①URLまたは、二次元コードから回答フォームにアクセスください。
- ②ID、パスワードを入力し、回答を入力してください。



回答フォーム：

<https://forms.gle/xiBcmtbemo55CTdk6>

ID :

パスワード：1539

郵送の場合

- ①本調査票に直接回答をご記入ください。
- ②同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。
※切手、差出人の記入は不要です。



ご回答期限

令和6年12月20日（金）まで

この調査票についてご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせください。

大田区 スポーツ・文化・国際都市部 文化振興課 文化振興担当
電話：03-5744-1226（9:00～17:00） FAX：03-5744-1539

1 貴団体について

問1 貴団体の主な活動分野を教えてください。(○はいくつでも)

- 1 文芸（詩・俳句の創作、文芸誌・ミニコミ誌の執筆・編集・発行も含む）
- 2 クラシック音楽の演奏
- 3 ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロックなどの演奏・制作
- 4 合唱、歌唱
- 5 美術（絵画、彫刻、陶芸、工芸、版画、イラストなど）
- 6 写真
- 7 映像（映画、アニメーションなど）
- 8 演劇（ミュージカルを含む）
- 9 舞踊（バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊など）
- 10 生活文化（華道、茶道、書道、盆栽、園芸、手芸、ファッショニ、囲碁、将棋など）
- 11 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、雅楽、文楽など）
- 12 その他の演芸（講談、落語、浪曲、漫才、漫談など）
- 13 デザイン（グラフィックデザイン、プロダクトデザインなど）
- 14 歴史的な街並み、文化財、遺跡
- 15 サブカルチャー（マンガ、アニメ、コスプレなど）
- 16 郷土芸能（お囃子、鳴物、和太鼓、三味線、民謡など）、地域の祭り（お神輿、お神樂など）
- 17 伝統工芸
- 18 その他（ ）

問2 貴団体が主に活動している地域はどちらですか。(○は1つ)

- 1 大森地域（大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿特別出張所）
- 2 調布地域（嶺町、田園調布、鶴の木、久が原、雪谷、千束特別出張所）
- 3 蒲田地域（六郷、矢口、蒲田西、蒲田東特別出張所）
- 4 糀谷・羽田地域（糀谷、羽田特別出張所）
- 5 区外（具体的な地名： ）

問3 貴団体の活動年数を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 2年未満 | 4 10~15年程度 |
| 2 2~5年程度 | 5 15~25年程度 |
| 3 5~10年程度 | 6 25年以上 |

問4 貴団体の活動人数を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 5人未満 | 4 30人以上、50人未満 |
| 2 5人以上、10人未満 | 5 50人以上、100人未満 |
| 3 10人以上、30人未満 | 6 100人以上 |

2 貴団体の活動について

問5 貴団体は、どのような目的をもって活動をしていますか。(○はいくつでも)

- 1 自己表現のため
- 2 活動に関わる技術やスキル、知識を向上するため
- 3 会員同士で文化・芸術を楽しみ、交流するため
- 4 同じ趣味・活動を行う人や他団体と交流するため
- 5 地域の人々の交流の場をつくるため
- 6 活動を通じて他団体と交流するため
- 7 活動を通じて文化・芸術の魅力を発信するため
- 8 地域における文化・芸術に関する取り組みに協力するため
- 9 その他 ()

問6 貴団体が練習や創作活動など、定期的な活動でよく利用する施設・場所はどちらですか。(○はいくつでも)

- 1 区民センター（萩中集会所、大森東地域センター含む）
- 2 文化センター
- 3 池上会館
- 4 大田区民プラザ
- 5 大田区民ホール・アリコ
- 6 大田文化の森
- 7 区民活動支援施設大森（こうばおおもり）
- 8 新蒲田区民活動施設（カムカム新蒲田）
- 9 公園
- 10 町会・自治会館
- 11 専用の練習場（会員の自宅含む）
- 12 その他の区の施設・場所（施設名・場所：）
- 13 区内にある民間の施設・場所（施設名・場所：）
- 14 区外の施設・場所（施設名・場所：）

問7 貴団体が発表会や展示、公演などを行う施設・場所はどちらですか。(○はいくつでも)

- 1 区民センター
- 2 文化センター
- 3 池上会館
- 4 大田区民プラザ
- 5 大田区民ホール・アリコ
- 6 大田文化の森
- 7 その他の区の文化施設・場所（施設名・場所：）
- 8 区内にある民間の文化施設・場所（施設名・場所：）
- 9 区外の文化施設・場所（施設名・場所：）
- 10 発表会や展示、公演等の活動はしていない

- 問8 (1) 貴団体では、日常の活動や発表を行う際に、次のような取り組みを行っていますか。
(それぞれ1つに○)
(2) また、行っている場合は、具体的な取組内容についてお答えください。

回答例	はい ①	いいえ 2
①多言語での案内や情報提供	1	2
②国際的な文化交流を促進するための活動	1	2
③バリアフリーの会場や設備の選択や準備	1	2
④サポートが必要な方への配慮	1	2
⑤子どもが参加しやすいプログラムの提供	1	2
⑥子育て中の保護者が安心して参加できる環境づくり	1	2
⑦誰もが受け取りやすい情報発信の工夫	1	2

↓

具体的な取組内容：

- 問9 (1) 貴団体では、他の団体（企業・施設）や他ジャンルと連携した取り組みを行っていますか。
(2) また、行っている場合は、連携内容についてお答えください。

- 1 はい → 連携内容：
2 いいえ

- 問10 貴団体では、区民に向けて、次のような活動を行っていますか。（○はいくつでも）

- 1 発表会や展示、公演などを通じて、鑑賞の機会を提供している
2 ワークショップや体験会などを通じて、区民が団体の活動に参加したり、
体験する機会を提供している
3 ホームページやSNSなどを活用して、団体の活動に関する情報を発信している
4 その他（ ）
5 行っていない

問11 貴団体の活動は、大田区の文化振興として、人やまち、地域に対してどのような変化をもたらすと考えますか。（○はいくつでも）

- 1 地域コミュニティが活発になる
- 2 地域に対する愛着が生まれる
- 3 地域の歴史・文化を知る
- 4 多様な価値観があることに気づく
- 5 誰もが参加できる環境がより充実する
- 6 こどもの心の豊かさや創造性が伸びる
- 7 まちのイメージがよくなる
- 8 地域の商業・経済が活性化する
- 9 ものづくり・工業と連携し、付加価値が高まる
- 10 観光客や移住者が増える
- 11 生きがいにつながる
- 12 外出の機会が増える
- 13 その他（ ）
- 14 わからない

問12 貴団体が区内でより活発に文化・芸術活動をしていくために、大田区にどのような支援や役割を期待しますか？（○はいくつでも）

- 1 活動資金などの財政的な支援
- 2 他の団体や愛好者との交流・ネットワークづくり
- 3 団体に新しい会員、若い会員が増える
- 4 指導者や講師など、必要な人材とつながる
- 5 相談窓口や体制が整備されている
- 6 練習場所や発表の機会が確保される
- 7 区内の文化・芸術に関する情報提供がある
- 8 現在行っている活動をPRしてもらえる
- 9 施設の利用や運営に関する支援が得られる
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

問13 貴団体が区内で文化・芸術に関する活動をする上で、次の項目①～④について充実していると思いますか。（各項目に○は1つ）

	充実している	やや充実	あまりない充実	充実しない	わからない
回答例	5	④	3	2	1
①練習や発表のための施設	5	4	3	2	1
②文化団体や活動のPR	5	4	3	2	1
③講師等の人材の派遣	5	4	3	2	1
④他団体とつながるための機会	5	4	3	2	1

問14 貴団体は、大田区の文化振興として、今後どのような活動をしてみたいですか。（○はいくつでも）※現在取り組んでいる活動も含めて回答してください。

- 1 大田区文化祭などの文化・芸術事業への参加
- 2 学校での授業や課外活動への協力
- 3 児童館等で実施することも向けの事業への協力
- 4 こども向けの事業の実施
- 5 高齢者・障がい者福祉施設内で実施する事業への協力
- 6 高齢者・障がい者向けの事業の実施
- 7 高齢者・障がい者が活動する場を提供
- 8 商店街等で実施する事業への出演・出展
- 9 地域の歴史や文化の保存・継承
- 10 ものづくり産業と連携した取り組み
- 11 大田区の観光事業への協力
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

3 区の文化施設や施策について

問15 貴団体が活動する上で、区の文化施設である大田区民プラザ、大田区民ホール・アリコ、大田文化の森が、どのような施設になるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 部屋や機材など、施設・設備を充実させる
- 2 施設・設備をリニューアルする
- 3 施設利用料金を安くする
- 4 利用できる時間を増やす
- 5 施設の予約方法（予約確認や手続き）が簡便になる
- 6 施設や事業に関する情報をより積極的に発信する
- 7 事業の企画や運営に参加できるようにする
- 8 区内で文化芸術活動を行う区民や団体と連携した事業を増やす
- 9 その他（
）
- 10 特ない

問16 貴団体は、文化・芸術を鑑賞したり、活動する機会や文化資源の保存・整備など、大田区の文化的な環境に満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 やや満足している | 4 満足していない |
| | 5 わからない |

アンケートは以上です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。



©Ota City

第6章 ヒアリング調査について

1. 調査概要

(1) 目的

次期大田区文化振興プランの策定に向けた基礎資料とするため、文化活動団体等へのヒアリングを5団体程度実施する。

(2) 調査対象

- ①民間ギャラリーA・B
- ②地域を拠点にまちづくりを推進するNPO法人
- ③音楽団体A・B
- ④ものづくりに関わる地域交流拠点

(3) 調査期間

令和6年12月26日（木）～令和7年2月27日（木）

(4) 調査方法

対面による聞き取り調査

2. 調査結果

(1) 活動を通じた地域とのつながり（地域住民や企業との連携など）について

①民間ギャラリーA・B

- ・公園イベントへの参加：公園内の会場において、アーティストに講師を依頼し、フォトグラム体験のワークショップを実施した。
- ・大規模複合施設での展示企画を開催：区の提案で、大規模複合施設内アートボックス展示エリアにおいてスタジオで制作活動をしているアーティストによる作品展を実施。コワーキングスペースで働いている環境の中でアートによる影響を検証した。
- ・バスツアーの受入：鉄道会社の貸し切りバスで、公共交通機関では行くことが困難な人口島や市場、車両基地などを巡る見学ツアーに組み込んでもらう機会があり、見学者の受け入れを行った。
- ・オープンアトリエへの参加：区在住のアーティストのアトリエやギャラリースペースを2日間限定で一般公開するイベントに毎年参加している。2024年の開催日2日目にはアトリエツアーが実施され、23名の参加者がアート鑑賞やアーティストとの交流を楽しんだ。
- ・オープンファクトリーへの参加：区内の町工場を1日限りで一般公開するイベントに2015年から参加し、展示やスタジオ見学を実施した。
- ・ギャラリーの魅力は「空間」にあり、その雰囲気を気に入った人が借りる。利用者は主に関東近郊（東京、神奈川、埼玉など）からで、地元の利用者は少ない。企画展として、地元の作家を知る目的で2019年から地元作家展などを開催している。
- ・大田区は文化的な取り組みやアーティストの方も増えている印象があり、大田区文化振興協会なども尽力していると感じる。現代アートを中心に活躍する作家のアトリエとその日常を期間限定で一般公開するイベントにも参加しているが、地域のギャラリースペースやアーティストをつなぐ機会になっている。長く活動されているギャラリーのほか新しい拠点もできており、アーティストにとても良い刺激となり、活性化していると思う。
- ・大田区ではオープンファクトリーというイベントがあり、町工場を1日限定で公開し、ワークショップやライブなどを大田区観光協会などが中心となって実施している。参加者は町工場のものづくりを体験し、地域の工場文化を学ぶ場となっている。2016年から参加し、クリエイティブ拠点の一つに位置づけられながら、昼はワークショップ、夜はライブを実施した。ワークショップでは子どもと保護者の方で20名以上の方が集まるなど約10年の活動を経て、イベントの参加もスムーズになり、地域とのつながりも強まっている。
- ・展示の申し込みは少なく、ギャラリー主催で企画することが多い。一方で、コロナ禍以降は演劇の利用が増加し、特に舞台と客席を暗転できる設備が好評で

ある。地元や遠方の劇団が利用し、演劇のほかダンスや音楽イベントも行われる。演劇は1～2日間の公演から、稽古を含めて数週間利用するケースもある。施設には複数の出入口があり、団体ごとに工夫した使い方がされている。ただし、騒音に対する苦情が寄せられたこともあり、暗幕を活用するなど対策をしている。

②地域を拠点にまちづくりを推進するNPO法人

- 地域の文化資源を活用し、住民や企業と協力して街の魅力を発信する取り組みを行っている。特に、毎年開催するイベントでは、地域の喫茶店やギャラリーと連携し、ワークショップやライブの開催、アトリエの開放などを実施している。文化施設や地域のさまざまな団体・店舗の協力のもと、活動を盛り上げている。
- 開催にあたっては、地域の方に声掛けし、地域の文化資源を改めて見直しながら、住民や文化施設の協力を得て準備を進めている。駅前商業施設での広報や、街歩きコースの紹介を通じて、来場者が地域の魅力を再発見する機会にもなっている。また、期間中にはWEBギャラリーも実施し、オンラインでも楽しめる取り組みも実施している。
- 基本コンセプトは、まちの中にある文化的資源を掘り起こして、それを伝えることで、長く住みたいと思うまちをつくることがある。各店舗やギャラリーの参加を通じて広報効果を高め、地域の文化施設や店舗を知るきっかけにもなっている。協力者の入れ替えがあるものの、人脈を広げながら多くの人々の協力を得て、継続的な活動を展開している。

③音楽団体A・B

- 地域との関わりとして、大田区の住民を優先的に対象とした広報活動を行っている。
- これまでに、小学校での子ども向けコンサート、羽田空港での音楽イベント、保育園や福祉施設、JR蒲田駅での演奏、大田区役所のロビーコンサートなど、地域のさまざまな場で演奏活動を行ってきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの演奏活動が中止され、その後も再開されていない。特に、羽田空港での音楽イベントは地域の方、約150名が合唱として参加する大規模なものだったが、一度中止されるとなかなか再開が難しく、現在も実施に至っていない。小学校や保育園での演奏も同様に再開されていない。

④ものづくりに関わる地域交流拠点

- 区内の工場見学やものづくりのワークショップ体験ができるイベントでは、地元の企業、自治体、大学などの多様な団体と連携して運営している。大学生が工場の見学ツアーの企画・運営をサポートする事業など、教育機関との協力も

積極的に行っている。この取り組みは、地域の工場の技術や課題を可視化する役割を果たしている。また、工場の関係者にとっても、普段接する機会の少ない学生との交流が刺激となり、好意的に受け止められている。大学生が関わることで、デザインなどの分野においても新たなつながりが生まれる可能性があり、今後の展開が期待される。学生も、最初はイベントの運営に関わることが中心だったが、企業と直接コミュニケーションをとる機会を持つことで、より有意義な経験を得られるようになっている。

- 武蔵新田、下丸子の地域は、大田区の中でも「ものづくりのまち」としての認識が強い。工場が少ない地域でワークショップを開催することもあるが、「大田区=ものづくりのまち」という認識の有無によって、参加者の受け止め方に違いが見られる。
- 子どもを中心とした取り組みではないが、告知の方法として公共施設や小学校への直接配布、インスタグラムなどのSNSを活用していることから、小学生の参加が多い傾向にある。しかし、より幅広い層に広がることで、子どもたちにとっても良い刺激となると考えている。参加者の多くは生活圏内の住民であるが、他の地域でワークショップを体験した人がリピーターとなったり、隣接地域から訪れるケースも増えている。
- 施設で日替わりで運営するワークショップでは、子どもたちの気づきをサポートすることを重視している。プログラムによってはトライ＆エラーの過程が多く、子どもたちの「やりたい」という意欲が日に日に進化する様子が見られる。その姿を見た周囲の子どもたちも触発され、互いに刺激を与え合っている。最初は何を作るか迷っていた子どもも、実際に手を動かすことで、どんどん自分の作品を生み出す場となっている。
- ものづくりの街とのつながりを、より身近に感じられるようにするために、工場の廃材を活用して作品制作を実施している。工場の関係者自身も、これらの素材を活用したいと考えていたが、異なる視点を持つ人が関わることで、廃材が作品へと生まれ変わり、その価値が再認識される機会となっている。
- 大田区の高度な技術で生み出された材料を活用することで、技術との新たな触れ合いの場が生まれている。参加者が素材を見て感じたことが、まちへの関心や思考のきっかけにもなっている。工場から提供された素材を使って、子どもたちや作家が作品を制作し、その成果を報告することで、工場の関係者も制作の場に足を運ぶようになっている。こうした交流を通じて、地域全体でものづくりの魅力を共有し、新たな可能性を広げることを目指している。

(2) 国際交流やパラアートなど、インクルーシブな取り組みについて

①民間ギャラリーA・B

- ・ パラアートを主軸としたイベントの開催経験はないが、今後検討する。定期的にものづくり技術やアーティストの制作過程を体験できるワークショップを開催しており、年齢や性別を問わず老若男女が楽しめる内容となっている。
(例：金属工芸の鍛金を用いた豆皿作り、リンゴのデッサン、ミニジオラマづくりなど)
- ・ 2024年11月にインバウンド旅行者向けショートトリップツアーのモニターツアーに参加した。羽田空港周辺エリアでの回遊や消費拡大、地域経済の活性化を目的に、大田区の地場産業とアート・伝統芸能を組み合わせたツアーの見学ルートに組み込まれた。
- ・ 航空会社の機内誌のコラムに紹介記事が掲載されることをきっかけにインバウンド客の来場を期待している。
- ・ ギャラリー内では浮世絵を和紙に拡大印刷したタペストリー展示を行っており、日本を象徴する文化としても観光資源の要素になっている。
- ・ アフガニスタン難民の演奏家のドキュメンタリー報道番組を見て、日本での演奏活動を応援したいと思ったことが発端で特別慈善公演（スペシャルライブ）を企画した。日本人の演奏家も加わり、音楽を通じた交流の場となった。公演の収益の一部を難民支援団体に寄付し、演奏者たちの活動を継続的に支えるため、寄付と報酬のバランスを考えながら実施した。公演を通じて、日本語学校や宿舎関係者、NPO団体など、多くの人々が活動に関心を寄せ、新たな演奏の機会も生まれている。
- ・ ギャラリーを拠点に、地域住民が健康で文化的な生活の向上を図ることを目的に団体を設立。ギャラリー内外でさまざまな活動を展開し、地域の共同募金を原資とした社会福祉法人大田区社会福祉協議会の助成を受けて、介護漫談や三味線ライブなどを無料で実施している。音楽イベントでは、昼間の無料演奏と夜の有料公演を組み合わせ、その収益を演奏家の謝礼に充てる仕組みを導入。さらに、講師を招いたワークショップや子ども向けの無料ライブも開催している。加えて、地域包括支援センターと福祉施設と協力し、高齢者向けの「オレンジカフェ」を開催。展示会見学を兼ねたリフレッシュの場として、体操や感想共有の時間を設けるなど、地域の高齢者が気軽に楽しめる取り組みを行っている。

②地域を拠点にまちづくりを推進する NPO 法人

【アーティスト・イン・レジデンス事業】

- 2013 年と 2014 年には助成制度を活用し、国内外のアーティストを招聘して、大田区の施設に滞在してもらい、約 1 か月間のレジデンスを実施。滞在中に作品制作や地域住民との交流を行った。
- 本事業は、アーティストの活動支援にとどまらず、アートを通じた地域住民との交流や新たな気づきを促すことを目的としており、市民参加型の取り組みを重視。初年度は施設の一部をレジデンスとして活用し、海外から現代美術家や陶芸家を迎える、日本のアーティストと共にワークショップやコラボレーションを実施。2 年目には、対象地域を区内全域に広げ、伝統工芸を活かしたコラボレーションや、地域資源を活用したアート活動を展開した。例えば、伝統工芸の技術とアートを融合させた制作や、地域の銭湯や茶室を活用したパフォーマンスやワークショップなど、地域の特色を生かした取り組みを行った。

【ユニバーサル・ワークショップ事業】

- 2016 年から障がい者総合サポートセンターの協力を得て、障害の有無を問わず誰もが参加できるアートワークショップを展開し、表現を楽しむ場を提供している。創造的な体験を共有することを目的としている。
- 具体的なワークショップとしては、自由にリズムに合わせて踊るパフォーマンス、視覚障害者が触感を楽しみながら制作するステンドグラス製作、発達障害のある子どもも楽しめる楽器ワークショップなどを実施。そのほか、オリジナルマスク作成、切子ガラス体験、畳制作など、多様なプログラムを提供している。参加者の年齢や障害の有無を問わず、幅広い層が興味を持ち参加。必要に応じて、移動や会場でのサポートを行い、誰もが安心して楽しめる環境を整えている。

③音楽団体 A・B

- 機会があれば協力したいと考えている。福祉施設から区へ相談があり、そこから演奏につながることが多い。団体側から積極的に働きかけることはないが、協力には前向きである。
- クラシック音楽は敷居が高いと感じる人も多いため、気軽に触れられる機会があるとよいと考えている。特にホールの音響は非常に優れており、生の演奏を多くの人に体験してほしい。演奏会には 500~800 人が来場し、1,000 人を超えることもある。広報面で区の支援があるとより多くの人に届けられる。
- 定期演奏会では、未就学児の入場を遠慮いただいている。これはクラシック音楽をしっかりと楽しみたいという方のための配慮であり、他に区内で子ども向けの楽しい音楽を提供している団体もあるため、適切な機会での鑑賞を推奨している考え方である。

④ものづくりに関わる地域交流拠点

- 障害者サポートセンターから障害の有無に関わらず誰もが参加できるアートワークショップの実施について依頼があり、いくつかのプログラムを展開している。最近では、さまざまな材料をハンコにしてハンカチにスタンプを押すワークショップを実施し、小学生から高齢の方まで一緒に楽しんだ。また、タイルアートを取り入れたプログラムも実施している。「インクルーシブ」というテーマは、子どもたちも意識して取り組むことができていると感じる。
- 国際交流の観点では、大田区の姉妹都市であるアメリカ合衆国セーラム市の訪問団から、外国人向けのモノづくりワークショップができないかと問い合わせを受けている。海外の方がどのように取り組めるのか、必要なサポートを検討しながら進めていきたい。

(3) 今後の展望や活動継続する上での課題について

①民間ギャラリーA・B

- ・ 区との連携により、来年秋ごろに大規模複合施設内で開催されるイベントへの参加や展示などを予定している。
- ・ 教育面として、学生と連携した取り組みなどもできるとよいと考えている。アート鑑賞と感想の共有を通じた体験型の授業ができるとよいと考えている。
- ・ アーティストに提供している制作・活動スペースは3年を上限に卒業する制度があり、卒業時に活動できる場所を相談されるが、紹介できる場所がない。区内の空き家を活用したアートスペースやスタジオの情報があれば提供・共有してもらえるとよい。
- ・ これまでギャラリーの具体的な展望は特に持たず、出会いを大切にしながら活動を続けてきたが、無理のない範囲でできることを実施してきた。今後も無理なく続けながら、地域の若い人たちが新しい取り組みを始めたり、冒険心を持つ人が増えてくれたらと考えている。
- ・ 一人で頑張ってきたという思いもあるが、多くの人に支えられ、つながりも広がってきた。そのつながりがさらに深まり、このギャラリーを活用しながら活動が続いていると願っている。
- ・ 貸し館としてのシステムも、よりオープンにできるような仕組みを考えていきたい。

②地域を拠点にまちづくりを推進する NPO 法人

- ・ 現在もワークショップに近隣に住む外国籍の方が参加している。アートに関するワークショップであれば言葉の壁があってもみんなで制作しながら参加できる。子どもや外国人の方など、インクルーシブな取り組みは継続していくたい。
- ・ 2013 年のイベントで基調講演をお願いした有識者の方が、文化はかけがえのないものであると言っていたのが印象的である。文化は心の栄養であり、心を育てるこども大事であるという趣旨だった。文化を通して、喜びや癒しなど、人生に必要なものであると捉えられるようになるとよいと思っている。
- ・ 子どもに対する取り組みも、アート部門において大きな柱であると捉えている。子どもの頃に様々な経験をすることで、将来的な活動のきっかけになると思う。ワークショップ等を通じて、パフォーマンス、日本の伝統文化、自然保護など、多様なジャンルの文化と結びつけながら何かを感じてもらいたい。
- ・ 活動の継続や発展における最大の課題は資金の確保である。これまで活動を続けてこられたのは、助成金などの支援があったからである。活動の成果を正当に評価し、助成金や補助金による継続的な支援が必要である。特に、ボランティアが中心となっている現状では、交通費や最低限の謝礼があることで、より多くの人が関わりやすくなり、活動の幅も広がると考えられる。

- ・ 事務作業の負担も大きな課題の一つである。イベントの企画・運営に加え、申請手続きや運営管理にも多くの労力を要するが、それらに対する資金が十分ではない。こうした裏方の作業が滞ると、企画自体が実施できなくなるため、助成金の活用などによる支援が求められる。かつてステップアップ事業の助成を受けていた際は、適切な評価のもと資金を確保できていた。
- ・ 「アーティスト・イン・レジデンス」では、国内外のアーティストとのつながりを築くことができたものの、現在はこれまでの人脈も十分に活用できていない。一定規模のイベントを開催するためには、事務作業などの実務に対する人件費の確保が不可欠である。また、報告書の提出などの業務負担も大きい。
- ・ 近年、文化的な企画が減少していると感じるのは、他の活動団体も同様ではないか。現在、継続できているのはボランティアレベルで実施可能な企画に限られている。国際交流やパラアートなどの取り組みを進めるには、専門的な人材の確保が必要不可欠である。

③音楽団体A・B

- ・ SNS配信を始めたことで若い来場者が増加したものの、参加者の多くは依然として高齢層である。大学生など若い世代の参加が少ないため、彼らに届くような情報発信方法を模索している。仕事や子育てで一時的に活動を離れる団員もいるが、戻ってくるケースが多いため、まずは若い世代に興味を持ってもらい、参加してもらうことが重要だと考えている。
- ・ 会場の抽選時期が施設によって異なり、会場の確保が非常に困難である。日々の練習場確保や演奏会の会場確保が、数ヶ月先、一年先など抽選のタイミングも違うため、常に悩み続けている。
- ・ ケーブルテレビやコミュニティ紙などの発信は行っているが、継続的な発信方法が不足している。新しいメディアや発信方法を使って、より広い層に届けるための支援が必要と感じている。区の広報手段や、新たな方法での情報発信を期待している。

④ものづくりに関わる地域交流拠点

- ・ モノづくりをテーマにした地域のつながりを、他の地域でも広げられるのではないかと考えている。自分たちだけで進めるのは難しいため、その地域で課題意識を持つ方々とつながりながら取り組んでいきたい。地域交流拠点を中心としたつながりが他の地域でも生まれれば、新たな関係も生まれるだろう。基盤となるのはオープンファクトリーであり、そこからネットワークを築いていきたいと考えている。

(4) 区の文化施策への期待について

①民間ギャラリーA・B

- ・ 大田区は「ものづくりのまち」や羽田空港のイメージが強いが、アートスペースやアーティストも増えているため、地域で連携し、もっとアートを活性化していくことができればよいと思う。
- ・ オープンファクトリーやオープンアトリエに参加しているが、つながりや関係性が強固ではないため、連携した取り組みや企画ができないか模索したい。
- ・ 区に対して、より簡単な助成制度の導入をお願いしたい。現在、申請やプレゼンなどの手続きが多く、途中で諦めてしまっている。ギャラリーの企画は3か月前に決まることもあるが、助成を活用したくても申請期限が合わず、自費で開催せざるを得ない。例えば、「飛び入り助成」のように、5万円や10万円程度でも支援を受けられる制度があれば、さまざまな取り組みが発展しやすくなると考える。現状では、締め切りが早すぎることが大きな課題である。
- ・ 大田区は、空の玄関口や銭湯、町工場などをよくアピールしていると感じる。しかし、モノよりも、そこに住む人々の人柄に地域性を感じることが多く、そうした魅力を前面に出すと良いのではないか。飾らず、ありのまま、実利的で歯に衣着せぬ気質は、他の地域とは異なる特徴だと感じる。かつて蒲田の商店街は、路地にまで商品が並び、人で賑わっていた。現在は様変わりしたが、当時の活気の名残は今も地域に息づいていると思う。

③音楽団体A・B

- ・ 若い世代に向けた発信方法や、SNSなどを使った効果的な広報手段の提供を期待している。例えば、区民ホールのイベントカレンダーで、区民ホール主催ではないプログラムも掲載されることによって情報が分かりやすくなり反響があった。新しい情報発信の方法を区が支援していただければ、より多くの人に届けることができる。
- ・ SNS配信を通じて若い世代の来場者が増えているが、今後もより多くの若者に届くよう、区の広報がさらに支援してくれるとよい。また、区内で新しい広報手段やメディアを提供してくれることに期待している。
- ・ 地元のケーブルテレビや駅広告など、地域密着型の広報手段の活用をさらに進めてほしい。これにより、区内の人々にとって身近な存在になり、活動の認知度を高められると考えている。

④ものづくりに関わる地域交流拠点

- ・ 大田区観光協会では、銭湯・海苔・日本酒を組み合わせたツアーを企画している。町工場の方々とも協力し、ツアーに組み込めばと考えており、オープンファクトリーとのつながりを活用できるのではないかと思う。
- ・ 拠点があることで活動ができている強みがあることから、文化施設として支援

していただけだと非常にありがたい。取り組み自体は産業・観光・まちづくりといった視点に加え、今回、文化の側面からも初めてとらえてもらえたところだが、多様な要素を含む分、それぞれの分野で支援を受けづらい状況もあるようを感じる。行政の方でも各分野が連携して位置づけを明確にしていただければ、より誇りを持って活動に取り組めると思う。

- 抱点があることで活動しやすいという強みがあるが、建物が古くなっているため、今後も継続するために、利用可能な場所を検討している。例えば、区の会議室などを文化団体向けに割引で利用できると助かる。また、現在活用されていないスペースを開放して活用できるようになると、他の団体にとっても喜ばれると思う。
- 文化振興プランの中に「入浴文化」という視点は含まれていないのだろうか。大田区の観光資源として取り扱っているが、子どもたちに伝えるべき魅力ある文化として位置づけることができれば良いと考える。

大田区 文化に関する意識調査 報告書

令和7年3月発行

発 行 スポーツ・文化・国際都市部 文化振興課
〒144-8621
東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電 話 03-5744-1226
F A X 03-5744-1539
